

NEC

P C 9 8 -

NX

活用ガイド

本体の構成各部

周辺機器を利用する

システム設定

添付アプリケーションの
概要と削除/再追加

PC98-**NX** SERIES

Mate NX

MA33D/M, MA30D/M
MA23D/M
(Windows 95 インストール)



主な内容

このパソコンには、次のマニュアルが用意されています。

- 『活用ガイド』

このパソコンの取り扱い方法、添付されているアプリケーションについて説明しています。

- ・キーボード、ハードディスクドライブ、CD-ROMドライブなどの取り扱い
- ・周辺機器の接続と利用方法
- ・システム設定について
- ・添付アプリケーションの紹介
- ・お手入れの方法

- 『困ったときのQ&A』

さまざまなトラブルへの対応方法をQ&A形式で説明したマニュアルです。再セットアップの方法も説明しています。

- ・トラブル解決Q&A
- ・再セットアップの方法



はじめに

このマニュアルは、フォルダやファイル、ウィンドウなど、Windows 95 の基本操作に必要な用語とその意味を理解していること、また、それら进行操作するためのマウスの基本的な動作(ボタンクリックやドラッグなど)が一通りできることを前提に書かれています。

もし、あなたがコンピュータに初めて触れるのであれば、上記の基本事項を関連説明書などで一通り経験してから、このマニュアルをご利用になることをおすすめします。

この活用ガイドは、以下の機種について書いてあります。

PC98-NX SERIES Mate NX

MA33D/M、MA30D/M、MA23D/M

(Windows 95 インストール)

インストールアプリケーション、ディスプレイ、メモリ容量については、お客様が選択できるようになっているため、各モデルの仕様に併せてお読みください。尚、選択できる項目は、今後増える可能性があります。

型番と機能仕様についての詳細は、「PART5 付録」をご覧ください。

1997 年 10 月 初版

1998 年 1 月 二版

このマニュアルの表記について

このマニュアルで使用している記号

このマニュアルでは、パソコンを安全にお使いいただくための注意事項を次のように記載しています。



警告

人が死亡または重傷を負う可能性が想定されることを示します。



注意

人が傷害を負う可能性が想定されること、または物的損害のみ発生が想定されることを示します。



感電注意

注意事項を守っていただけない場合、発生が想定される障害または事故の内容を表しています。左記の記号の場合は、感電の可能性が想定されることを示します。感電注意のほかに、発火注意、けが注意、高温注意についても、それぞれのマークとともに記載しています。

このマニュアルで使用している記号や表記には、次のような意味があります。



チェック

してはいけないことや、注意していただきたいことを説明しています。よく読んで注意を守ってください。場合によっては、作ったデータの消失、使用しているアプリケーションの破壊、パソコンの破損の可能性があります。



用語

パソコンを使うときに知っておいていただきたい用語の意味を解説しています。

利用の参考となる補足的な情報をまとめています。

参照

マニュアルの中で関連する情報が書かれている所を示しています。

このマニュアルで使用している表記の意味

本機

次の機種を指します。

PC98-NX SERIES Mate NX
MA33D / M, MA30D / M, MA23D / M
(Windows 95インストール)

*本機がどのモデルに該当するかは、型番を調べればわかります。型番の調べ方・読み方については、『箱の中身を確認してください』と「PART5 付録」をご覧ください。

本体

ディスプレイやキーボードなどの周辺機器を含まない、MA33D / M、MA30D / M、MA23D / Mを指します。

一太郎モデル	・ MA33D/Mの場合 一太郎 8 Office Edition/R.2、三四郎 8/R.2、ATOK11 Ver1.1/R.2、FullBand/R.2が、インストールされた状態でご購入いただいたモデルです。 ・ MA30D/M、MA23D/Mの場合 一太郎 8 Office Edition、三四郎8、ATOK11 Ver1.1、FullBandがインストールされた状態でご購入いただいたモデルです。
一太郎Office8	・ MA33D/Mの場合 一太郎Office 8/R.2(一太郎 8 Office Edition/R.2、三四郎 8/R.2、ATOK11 Ver1.1/R.2、FullBand/R.2)、一太郎 8/レビューバックプラス(添付) ・ MA30D/M、MA23D/Mの場合 一太郎Office8(一太郎 8 Office Edition、三四郎8、ATOK11 Ver1.1、FullBand)、一太郎8/レビューバックプラス(添付)
Wordモデル	Word、Excel、Outlookがインストールされた状態でご購入いただいたモデルです。
Word & Excel	Microsoft® Excel 97 & Word 97 & Outlook™97 for Windows® (Service Release対応版)、Microsoft® /Shogakukan Bookshelf® Basic(添付)
一太郎 8 & 1-2-3 97モデル	一太郎 8/R.1 for Windows 95/NTとロータス1-2-3 97がインストールされた状態でご購入いただいたモデルです。
一太郎 8&1-2-3 97	一太郎 8/R.1 for Windows 95/NT、一太郎/レビューバック(添付)、ロータス1-2-3 97
【 】	【 】で囲んである文字は、キーボードのキーを指します。
「スタート」ボタン→「設定」 →「コントロールパネル」	「スタート」ボタンをクリックし、現れたポップアップメニューから「設定」を選び、横に現れるサブメニューから「コントロールパネル」を選ぶ操作を指します。

このマニュアルで使用しているアプリケーション名などの正式名称

本文中の表記	正式名称
Windows, Windows 95	Microsoft® Windows 95® Operating System
Windows NT, Windows NT 4.0	Microsoft® Windows NT® Workstation Operating System Version 4.0 および Microsoft® Windows NT® Server Network Operating System Version 4.0
Windows NT Workstation 4.0	Microsoft® Windows NT® Workstation Operating System Version 4.0

Windows NT Server 4.0 一太郎 8	Microsoft® Windows NT® Server Network Operating System Version 4.0 ・一太郎モデル(MA30D/M、MA23D/M)の場合 - 一太郎 8 Office Edition/R.2 ・一太郎モデル(MA33D/M)の場合 - 一太郎 8 Office Edition ・一太郎 8 & 1-2-3 97モデルの場合 - 一太郎 8/R.1 for Windows 95/NT
Excel, Word, Outlook 1-2-3 97	Microsoft® Excel 97 & Word 97 & Outlook™97 for Windows® (Service Release 対応版) ロータス1-2-3 97
Internet Explorer	・ MA33D/Mの場合 - Microsoft® Internet Explorer 4.01 for Windows® 95/Windows NT® 4.0日本語版 ・ MA30D/M、MA23D/Mの場合 - Microsoft® Internet Explorer 4.0 for Windows® 95/Windows NT® 4.0日本語版

このマニュアルで使用しているイラストと画面

- ・本機のイラストは、特にことわりのない場合、MA30D/Mのものを使用しています。
 - ・このマニュアルに記載の画面は、実際の画面とは多少異なることがあります。
-

■ 電波障害自主規制について

14.1インチ液晶ディスプレイ(F14T1)セットモデルは、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づく第一種情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

上記以外のモデルについては、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づく第二種情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としています。この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

■ 漏洩電流自主規制について

この装置の本体およびディスプレイは、社団法人日本電子工業振興協会のパソコン基準(PC-11-1988)に適合しております。

■ 瞬時電圧低下について

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。
電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをおすすめします。

(社団法人日本電子工業振興協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示)

■ レーザ安全基準について

この装置には、レーザに関する安全基準(JIS-C-6802、IEC825)クラス1適合のCD-ROMドライブが搭載されています。

■ 高調波電流規制について

この装置は、高調波ガイドライン適合品です。

ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしました。が、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、ご購入元、最寄りのBit-INN、またはNECパソコンインフォメーションセンターへご連絡ください。
- (4) 当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
- (5) 本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておられません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
- (6) 海外NECでは、本製品の保守・修理対応をしておきませんので、ご承知ください。
- (7) 本機の内蔵ハードディスクにインストールされているWindows 95および本機に添付のCD-ROM、フロッピーディスクは、本機のみでご使用ください。
- (8) ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。

Microsoft、MS、MS-DOS、Windows、Windows NT、NetMeeting、Outlook、およびWindowsのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Pentiumは、Intel Corporationの登録商標です。

一太郎、ATOKは、株式会社ジャストシステムの登録商標です。

「一太郎8」「一太郎Office8」は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、これにかかる著作権、その他の権利はすべて株式会社ジャストシステムに帰属します。

商標「三四郎」は、株式会社エス・エス・ビーの登録商標であり、株式会社ジャストシステムは商標使用許諾を受けています。

Lotusは、Lotus Development Corporationの登録商標です。

1-2-3は、Lotus Development Corporationの商標です。

McAfee、McAfee Associates、VirusScan、NetShieldは、米国McAfee Associates, Inc.の米国における登録商標です。

NIFTY MANAGERは、ニフティ(株)の登録商標です。

アメリカ・オンラインおよびAOLは、AOLの登録商標です。

Photo CD portions copyright Eastman Kodak Company 1995

RIVA128は、SGS THOMSON Microelectronics, Inc.の登録商標です。

OTi610は、(株)オーケテクノロジの登録商標です。

PC-VANナビゲータ、BIGLOBE Walkerは、NECの登録商標です。

その他、本マニュアルに記載されている会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。

© NEC Corporation 1997, 1998

日本電気株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。

■ 輸出する際の注意事項

本製品(ソフトウェアを含む)は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠しておりません。本製品は日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っておりません。

このマニュアルの構成

このマニュアルは次のような内容で構成されています。

PART1 本体の構成各部

本機の外観上に見えるものから内蔵されている機器まで、ハードウェア全般の機能と取り扱いについて説明しています。

PART2 周辺機器を利用する

周辺機器の概要とメモリやハードディスクドライブ、PCI ボードなどの内蔵機器を増設する方法について説明しています。

PART3 システム設定

本機を使用環境にあわせて設定するための、BIOS セットアップユーティリティの使い方を説明しています。

別売りの機器を利用するときにも、状況に応じて設定を変更できます。

PART4 添付アプリケーションの概要と削除 / 再追加

本機に添付されているアプリケーションソフトウェアの概要と削除及び再追加の方法について説明しています。

PART5 付録

本機の機能に関連した補足情報を記載してあります。

目 次

PART1 本体の構成各部

各部の名称	2
電源	9
キーボード	18
マウス	24
ディスプレイ	26
ハードディスクドライブ	29
フロッピーディスクドライブ	33
CD-ROM ドライブ	36
サウンド機能	38
LAN	39
運用管理機能	41
ヘルプの表示方法	44

PART2 周辺機器を利用する

接続できる周辺機器	46
接続にともなう注意点	48
内蔵機器の増設	52

PART3 システム設定

BIOS セットアップユーティリティについて	84
パスワードの設定	95

PART4 添付アプリケーションの概要と削除 / 再追加

この章の構成	102
知っておきたい便利な機能とツール	105
一太郎 Office8 (一太郎モデルのみ)	106
Word 97/Excel 97/Outlook 97(Word モデルのみ)	112
一太郎 8 (一太郎 8 & 1-2-3 97 モデルのみ)	116
ロータス 1-2-3 97 (一太郎 8 & 1-2-3 97 モデルのみ)	120

Internet Explorer	124
インターネットエクスプローラ関連プログラム	131
Outlook Express (Mail & News)	134
Microsoft NetMeeting	135
BIGLOBE Walker	136
PC-VAN ナビゲータ	138
VirusScan	141
NEC Soft MPEG1.0	149
DMITool	152
pcANYWHERE32 EX	156
Masty Data Backup	158
CyberTrio-NX	160
CyberWarner-NX	164
AOL	170
NIFTY MANAGER for Windows95	174
Timer-NX	178
プレーヤ-NX	187
英語モードフォントを使用する	190

PART5 付 録

Windows 95 で MS-DOS モードを利用する	194
Windows NT 4.0 を利用する	199
機能一覧	210
割り込みレベル一覧	213
DMA チャンネルの割り当て	214
本機のお手入れ	215
索引	218

本体の構成各部

本機の外観上に見えるものから、内蔵されている機器まで、ハードウェア全般の機能と取り扱いについて説明します。

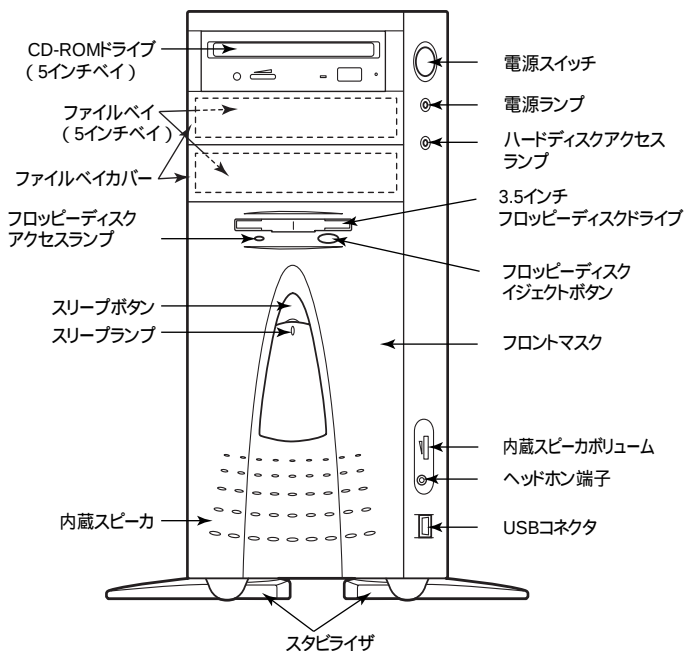
この章の内容

各部の名称	2
電源	9
キーボード	18
マウス	24
ディスプレイ	26
ハードディスクドライブ	29
フロッピーディスクドライブ	33
CD-ROM ドライブ	36
サウンド機能	38
LAN	39
運用管理機能	41
ヘルプの表示方法	44

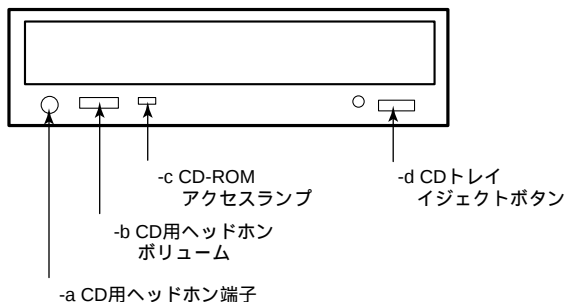
各部の名称

ここでは、本体の各部の名称とその役割について説明しています。各部の取り扱い方法や詳しい操作方法については、各項目にある参照ページをご覧ください。

本体正面



CD-ROMドライブ拡大図



電源スイッチ (I)

本体の電源を入れたり、切ったりするスイッチです。

- ✓ **チェック!!** 電源スイッチを入れたり、切ったりする操作はコンピュータに負担をかけるので、少なくとも5秒以上の間隔をあけてください。→「電源」(P.9)

電源ランプ (L)

電源の状態を表示するランプです。電源が入ると点灯します。

ハードディスクアクセスランプ (H)

ハードディスクドライブが動作しているときに点灯します。→「ハードディスクドライブ」(P.29)

- ✓ **チェック!!** 点灯中は電源スイッチを押さないでください。ハードディスクの内容が壊れることがあります。

3.5 インチフロッピーディスクドライブ

3.5 インチのフロッピー ディスクの読み書きをする装置です。→「フロッピーディスクドライブ」(P.33)

フロッピーディスクイジェクトボタン

フロッピーディスクを取り出すときに使います。

フロッピーディスクアクセスランプ

フロッピーディスクドライブが動作しているときに点灯します。

- ✓ **チェック!!** 点灯中は電源スイッチを押したり、フロッピーディスクを取り出したりしないでください。フロッピーディスクの内容が壊れることがあります。

内蔵スピーカ

音声を出力します。

ヘッドホン端子 (H)

ミニプラグのステレオ ヘッドホンを接続します。ヘッドホンを接続すると内蔵スピーカからの音は出なくなります。

内蔵スピーカボリューム (V)

内蔵スピーカまたはヘッドホン端子に接続したヘッドホンの音量を調節します。
→「サウンド機能」(P.38)

CD-ROMドライブ(5 インチベイ)

CD-ROM や音楽CD のデータを読み出す装置です。→「CD-ROMドライブ」(P.36)

CD-ROMドライブを取り外して、他のファイルベイ用内蔵機器に交換することができます。→「内蔵機器の増設」「5 インチベイ」(P.69)

-a CD用ヘッドホン端子(🎧)

ミニプラグのステレオ ヘッドホンを接続します。この端子で聞くことができるのは、音楽CD の再生音だけです。

-b CD用ヘッドホンボリューム

CD用ヘッドホンの音量を調節します。

-c CD-ROM アクセスランプ

CD-ROMドライブが動作しているときに点灯します。

 **チェック!!** 点灯中は電源スイッチを押したり、CD-ROM を取り出ししたりしないでください。CD-ROMドライブの故障の原因となります。

-d CDトレイジェクトボタン

トレイを出し入れするときに使います。

USB コネクタ(🔌)

USB 機器を接続します。

スリープボタン(🔌)

本機での作業を一時中断する際に、電力消費の少ないサスペンド状態に切り替えます。→「電源」(P.9)

スリープランプ

サスペンド状態のときに点灯します。

ファイルベイ(5 インチベイ)

ファイルベイ用内蔵機器を取り付けます。上からスロット#1、#2、#3と番号が割り当てられています。→「内蔵機器の増設」「5 インチベイ」(P.69)

ファイルベイカバー

ファイルベイにリムーバブルメディア用の内蔵機器を取り付けるときは、このファイルベイカバーを取り外し、別売のファイルベイカバーを取り付けます。

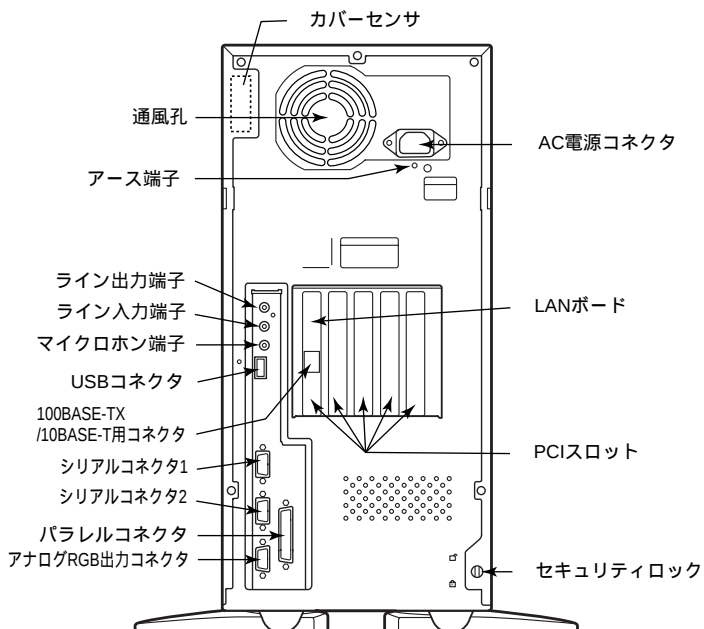
フロントマスク

本体前面のカバーです。ファイルベイ用内蔵機器を取り付ける際に取り外します。

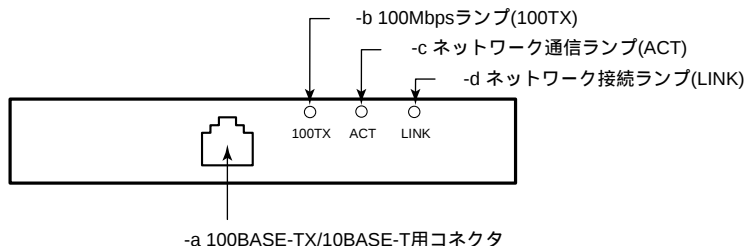
スタビライザ

本体を安定させるための脚です。

本体背面



LAN ボード拡大図



AC 電源コネクタ

ACコンセントから本体に100Vの電源を供給するためのコネクタです。添付の電源ケーブルを接続します。

USB コネクタ(・⇄)

USB 機器を接続します。添付のキーボードなどを接続します。→「キーボード」(P.18)

マイクロホン端子(ミニジャック)(🎧)

市販のマイクロホンを接続します。

ライン入力端子(ミニジャック)(🎵)

市販のオーディオ機器から音声信号を入力します。

ライン出力端子(ミニジャック)(🎵)

市販のオーディオ機器へ音声信号を出力します。

LAN ボード

LAN に接続するためのボードです。→「LAN」(P.39)

-a 100BASE-TX/10BASE-T 用コネクタ(📶)

100BASE-TX/10BASE-T のケーブルを接続します。

-b 100Mbps ランプ

100Mbps でネットワークが接続されているときに点灯します。

-c ネットワーク通信ランプ

ネットワーク上で読み込み / 書き込みが発生すると点灯します。
ただし、必ずしも本機の実読み込み / 書き込みとは限りません。

-d ネットワーク接続ランプ

ハブ(マルチポートリピータなど)から、リンクパルスを受信すると点灯します。

アナログ RGB 出力コネクタ ()

ディスプレイを接続します。→「ディスプレイ」(P.26)

パラレルコネクタ ()

プリンタなどの機器を接続します。

- ✓ **チェック!!**
- ・PC-9800シリーズ用のプリンタケーブルを接続する場合は、別売のプリンタイ
ンタフェース変換アダプタ(PK-CA101)が必要です。
 - ・パラレルコネクタには、D-Sub25ピンのシリアル機器を接続しないでください。

シリアルコネクタ 1,2 (1 , 2)

モデムや ISDN TA などの機器を接続します。

- ✓ **チェック!!**
- ・PC-9800シリーズ用の機器を接続する場合は、別売のRS-232C変換アダプ
タ(PK-CA102)が必要です。
 - ・RS-232C変換アダプタ(PK-CA102)は、シリアルコネクタ1のみで使用できま
す。
 - ・周辺機器によっては、変換アダプタを使用すると動作しないことがあります。

セキュリティロック ()

盗難防止用の錠を取り付けます。カバーがロックされるため、本体内部のハー
ドディスクドライブや増設 RAM サブボード等の盗難を防止できます。

セキュリティロックは、Kensington社製のマイクロセーバーセキュリティシス
テムに対応しています。入手方法については、次の日本国内総販売代理店
にお問い合わせください。

日本ポラロイト株式会社

電子映像事業部

〒105-0001 東京都港区虎ノ門3丁目2番2号第30森ビル

TEL : 03-3438-8879 FAX : 03-5473-1630

アース端子 (⊕)

アース線を接続します。

通風孔

本体内部の熱を逃がすための通風孔です。壁などでふさがないように注意してください。

PCI スロット

本体の機能を強化したり拡張したりするための、各種ボードを挿入するスロットです。

PCI スロットは本体背面から見て左から順番に #1、#2、#3、#4、#5 と番号が割りあてられています。→ 「内蔵機器の増設」「PCI ボードの取り付け」(P.62)

カバーセンサ

本体カバーが開けられたことを検知します。

→ 「運用管理機能」(P.41)

電源

ここでは電源の入れ方と切り方や省電力機能について説明します。電源の切り方を間違えるとデータやプログラム、本機が壊れてしまうことがあるので、特に注意してください。

電源の状態と操作方法

本体の電源の状態について、説明します。

- ・電源が入っている状態
通常、本体を使っている状態です。
- ・電源が切れている状態
Windowsを終了したり、電源スイッチを切ったりして、本体の使用を終了している状態です。
- ・サスペンド(省電力)状態
消費電力を一部抑えている状態です。電源は入っていますが、本体のさまざまな機能を制御して、通常より電力を節約します。

電源の状態により、ランプとディスプレイの表示は、次のようになります。

電源の状態	電源ランプ	スリープランプ	ディスプレイの表示	ディスプレイの電源ランプ
入っている	点灯する	点灯しない	表示される	緑色に点灯する
切れている	点灯しない	点灯しない	表示されない	オレンジ色に点灯
サスペンド	点灯する	点灯する	表示されない	オレンジ色に点灯

使用するディスプレイによっては、黄色に見える場合があります。

本機の電源操作方法は、手動操作と自動操作があります。

- ・手動操作の場合は、電源ボタンとスリープボタンを利用します。
- ・自動操作の場合は、タイマー(自動スリープ制御、Timer-NX)、リモートパワーオン機能、及び別売のFAXモデムを利用する方法があります。

- ✓チェック!!
- ・工場出荷時の状態では、「自動スリープ制御」を「使用する」に設定されており、約20分間、マウスやキーボードからの入力及びハードディスクへのアクセスなどがなければ、自動的にサスペンド状態になるように設定されています。
 - ・サスペンド状態では、ネットワーク機能が一旦停止します。従って、ネットワークを使用するアプリケーションによっては、サスペンド状態になったときに、データが失われることがあります。ネットワークを使用するアプリケーションを実行する場合は、システム管理者に確認のうえ、サスペンド機能を使用してください。

- ・自動スリープ制御を行わないようにする場合や、自動スリープ開始時間を変更する場合は、「BIOSセットアップユーティリティ」「省電力の設定」(P.93)と「サスペンド/レジューム機能の使用を停止する場合の注意事項」(P.15)をご覧ください。

電源の入れ方 / 切り方(電源の手動操作)

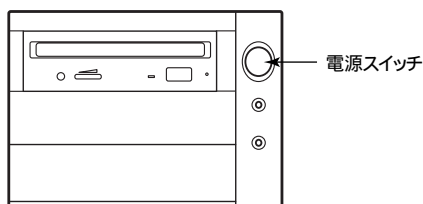
電源を入れる

- 1 フロッピーディスクドライブに何もセットされていないことを確認する
- 2 ディスプレイなど、周辺機器の電源を入れる

一部の周辺機器では、本体より先に電源を入れないと正しく認識されないことがあります。

✓ **チェック!!** プリンタの電源は本体の電源より後で入れてください。

- 3 本体の電源スイッチを押す



✓ **チェック!!** メモリを増設した場合、初期化のため、電源投入後ディスプレイの画面が表示されるまで時間がかかることがあります。(384MB 実装時で30秒程度)

電源を切る

- ✓ チェック!!** ・電源投入後、Windows 95の起動中やアプリケーションの起動中には、電源を切らないでください。マウスポインタが、砂時計表示されていないこと、およびハードディスク、フロッピーディスクアクセスランプが点灯していないことを確認してから電源を切るようにしてください。
- ・プリンタの電源は本体の電源より先に切ってください。

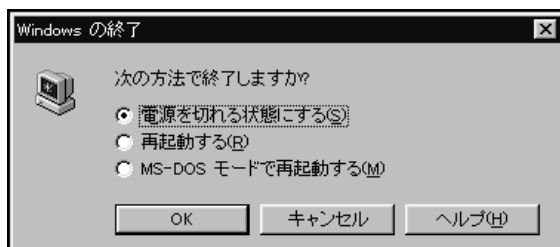
1 作業中のデータを保存してアプリケーションを終了する

2 「スタート」ボタン→「Windows の終了」を選ぶ



3 「電源を切れる状態にする」を選び、「OK」ボタンをクリック

■ 本体の電源はソフトウェアによって自動的に切れます。



4 ディスプレイおよび周辺機器の電源を切る

誤って電源を切ってしまうことがないように、本機では電源スイッチを押してもすぐには電源が切れないようになっています。ソフトウェアのエラーなどで、Windows 95の操作ができなくなってしまった場合は、まず【Ctrl】と【Alt】を押しながら【Delete】を押してアプリケーションの強制終了ができるかどうかを試してください。この方法でアプリケーションを強制終了できない場合は、電源スイッチを約4秒以上押し続けることによって、強制的に電源を切ることができます。

なお、強制的に電源を切った場合は、本機の電源を入れ直して、Windows 95を起動させ、再度、正常な方法で電源を切ってください。

 **チェック!!** アプリケーションを強制終了した場合や、強制的に電源を切った場合は、アプリケーションで作成中のデータ(ワープロの文書など)は保存されず消えてしまいます。

 **参考** 電源スイッチを押して電源を切る方法

作業中のデータを保存してアプリケーションを終了する。→電源スイッチを押す→「Windowsを終了します。よろしいですか?OK/キャンセル」→「OK」ボタンを選ぶ→自動的に電源が切れます。

サスペンド/レジューム(電源の手動操作)

本機での作業を一時中断する場合は、サスペンド状態にすることによって電力の消費を節約することができます。

用語 サスペンド

CPUのクロックを下げ、内蔵HDD、FDD、CD-ROMドライブのモータを止めて、ディスプレイを省電力状態にし、本機の主要な部分への電源供給を停止します。

用語 レジューム

サスペンド状態から復帰することをいいます。Windows 95を起動し直す必要がないので、素早く作業を再開できます。

 **チェック!!** 工場出荷時の状態では、「自動スリープ制御」を「使用する」に設定されており、約20分間、マウスやキーボードからの入力及びハードディスクへのアクセスなどがなければ、自動的にサスペンド状態になるように設定されています。

自動スリープ制御を行わないようにする場合や、自動スリープ開始時間を変更する場合は、「BIOSセットアップユーティリティ」「省電力の設定」(P.93)と「サスペンド/レジューム機能の使用を停止する場合の注意事項」(P.15)をご覧ください。

サスペンド状態にする

電源が入っている状態から、手動で、サスペンド状態にするには、次のように操作します。

1 スリープボタンを押す

電源ランプが点灯したまま、スリープランプが点灯し、サスペンド状態になります。

 **チェック!!** スリープボタンを押しながら、電源スイッチを押すと、サスペンド状態にならずに、電源が切れます。

「スタート」ボタン→「サスペンド」を選んでも、サスペンド状態にすることができません。ただし、出荷時の状態では、スタートメニュー内に「サスペンド」は表示されません。「コントロールパネル」→「パワーマネージメント」→「詳細」で、「スタートメニューのサスペンドコマンドの表示」チェックボックスにチェックをつけてから再起動すると、スタートメニュー内に「サスペンド」が表示されます。

サスペンド状態から復帰(レジューム)する

サスペンド状態から、手動で、電源が入っている状態に復帰するには、次のように操作します。

1 スリープボタンを押す

電源ランプが点灯したまま、スリープランプが点灯しなくなります。

 **チェック!!** サスペンド状態から、元の状態に復帰する(レジューム)ときは、本機に負担がかかることを避けるため、スリープランプが点灯してから少なくとも5秒以上待ってから操作してください。

サスペンド/レジュームするときの注意

サスペンド/レジューム機能を使用するときには、次のような注意が必要です。これを怠ると、サスペンドの内容が失われたり、サスペンド内容が復元できないこともあります。

● サスペンド / レジューム機能が使用できないとき

使用するアプリケーションソフトによっては、レジュームができなかったり、アプリケーションソフトが正常に動作しないことがあります。このようなアプリケーションの使用時には、サスペンド / レジューム機能を使用しないでください。また、使用する周辺機器によっては、レジュームできないことがあります。

● サスペンド内容が失われるとき

サスペンド中に次のことが起きますと、サスペンド内容は失われます。

- ・ 電源ケーブルが本体や AC コンセントからはずれたとき
- ・ 停電が起きたとき

- ・ 電源スイッチを約4秒以上押し続けて、強制的に電源を切ったとき

このような場合は、次に電源を入れたときに、「Windowsが正しく終了されませんでした...」と表示されますので、画面の指示に従ってください。

● サスペンド内容の復元が保証されない場合

次のような場合は、サスペンド内容は保証されません。

- ・ サスペンド内容の記憶中、または復元中にフロッピーディスクを入れ替えたとき
- ・ サスペンド内容の記憶中、または復元中に CD-ROM を入れ替えたとき
- ・ サスペンド内容の記憶中、または復元中に PC カードの抜き差しをするなど、本機の環境を変更したとき
- ・ サスペンド状態のときに本機の機器構成を変更したとき

また、次のような状態でサスペンド機能を起動しても、サスペンド内容は保証されません。

- ・ プリンタへ出力中のとき
- ・ 音声または動画を再生しているとき
- ・ フロッピーディスク、ハードディスクを読み書き中のとき
- ・ CD-ROM を読み取り中のとき
- ・ サスペンド機能に対応していないアプリケーションソフトを使用中
- ・ サスペンド機能に対応していない拡張機器を使用中
- ・ Windows 95 の起動処理中、終了処理中
- ・ 通信用アプリケーションソフトを実行中
- ・ モデムなどを使って通信中のとき
- ・ 本機に NEC 製キーボード以外のキーボードを接続しているとき

● レジューム機能が正しく実行されない場合

次のような場合には、レジューム機能が正しく実行されなかったことを表しています。

- ・ アプリケーションソフトが動作しない
- ・ サスペンド内容を復元できない

- ・スリープボタンを押してもレジュームされない

このような状態になるアプリケーションソフトを使用中には、サスペンド / レジューム機能は使わないでください。万一、スリープボタンを押してもレジュームできなかったときには、電源スイッチを約4秒以上、押し続けてください。電源ランプが消え、電源が強制的に切れます。この場合、BIOS セットアップユーティリティの内容が、ご購入時の状態に戻っていることがあります。必要な場合は、再設定してください。

●その他の注意

- ・通信ソフトを使用中の場合は、通信ソフトを終了させてから、サスペンド状態にしてください。通信状態のままサスペンドすると、回線が接続されたままになり、電話料金が加算される場合があります。
- ・CD-ROMドライブにフロッピーCDが入っているときにサスペンド状態にした場合は、レジュームに多少の時間がかかることがあります。
- ・CDの再生中にサスペンドした場合、CDは再生され続ける場合があります。サスペンドする前にCDの再生を止めてください。

サスペンド / レジューム機能の使用を停止する場合の注意事項

- ・「自動スリープ制御」を「使用しない」に設定したいときや、スリープボタンによるサスペンドを停止したいときは、必ずBIOS セットアップユーティリティを使って次のように設定してください。
 「自動スリープ制御」(P.93) : 使用しない
 「スリープボタン」(P.94) : 使用しない
- ・Windows 95 の「Windows でコンピュータの電源管理をする」のチェックボックス(「コントロールパネル」→「電源のプロパティ」→「パワーマネージメント」で表示)は、はずさないでください。本機が正常に動作しなくなります。

電源の自動操作

タイマーやネットワーク、回線からのアクセスによって、自動的に電源の操作を行うことができます。

タイマー

「BIOS セットアップユーティリティ」で、「自動スリープ制御」を「使用する」にし、「自動スリープ開始時間」を設定しておくと、設定した時間を経過しても、マウスやキーボードからの入力およびハードディスクへのアクセスなどがない場合、自動的にサスペンド状態にすることができます。
工場出荷時の設定は、「自動スリープ制御」が「使用する」、「自動スリー

ブ開始時間」が「20分」となっています。

自動スリープ制御を行わないようにする場合や、自動スリープ開始時間を変更する場合は、「BIOSセットアップユーティリティ」「省電力の設定」(P.93)と「サスペンド/レジューム機能の使用を停止する場合の注意事項」(P.15)をご覧ください。

「Timer-NX」のタイマー機能を使って、指定した時刻に電源を入れる/切る、またはサスペンド/レジュームを行うことができます。詳しくは「Timer-NX」(P.178)をご覧ください。

リモートパワーオン機能

「運用管理機能」(P.41)の「リモートパワーオン機能」をご覧ください。

リモートパワーオン機能を使って、サスペンド/レジュームを行うことはできません。

FAX モデムによる電源の自動操作

FAX モデムを取り付けることで、受信した場合に電源を入れる、またはレジュームを行うことが可能です。詳しくは、別売のFAX モデムのマニュアル、「Timer-NX」(P.178)をご覧ください。

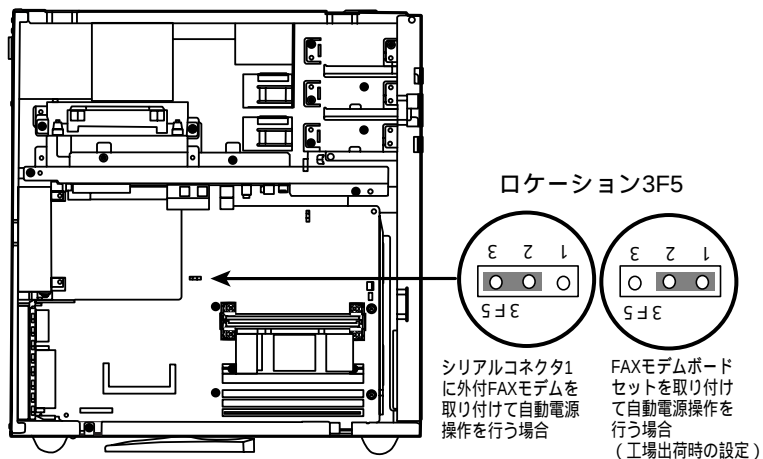
「Timer-NX」を使って、電源を入れる、またはレジュームを行うことができるのは、FAX モデムボードセット(PK-UG-X001)を利用した場合です。

● ストラップスイッチ

シリアルコネクタ1に外付けFAX モデムを取り付ける場合と、FAX モデムボードセット(PK-UG-X001)を取り付ける場合の2通りがあります。工場出荷時の設定は、FAX モデムボードセット(PK-UG-X001)を取り付けて、自動電源操作を行う場合になっています。シリアルコネクタ1に外付けFAX モデムを取り付けて、自動電源操作を行う場合には、ストラップスイッチを変更する必要があります。ストラップスイッチの変更方法は次の通りです。

1 「ルーフカバーの取り外し」の手順でルーフカバーを取り外す (P.52)

2 ストラップスイッチを変更する



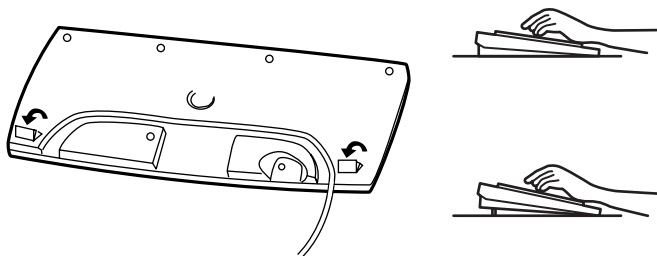
3 ルーフカバーを取り外したときと逆の手順で取り付ける

キーボード

ここでは、キーボード(109 キーレイアウト)を使った文字入力や、キーボードの設定、調整の方法を説明します。

角度調整

キーボードの裏側には角度調節用の脚があります。脚を立てるとキーボードの角度が変わります。設置状況に応じて使いやすい角度を選んでください。



キーの使い方

1つのキーにいくつかの文字や記号が印されているキーがあります。これらの文字や記号は、【Shift】や、日本語入力モードと組み合わせて使うことで入力することができます。これらの操作方法は、使用する日本語入力プログラムによって異なります。

(例)【A ち】と【?/・め】のキーに割り当てられた個々の文字や記号を打ち分けるには



他のキーと組み合わせず単独で押すと、小文字a。
【Shift】と【Caps Lock】を押した後だと大文字A。
【Alt】と【半角/全角/漢字】を押した日本語入力モードにした後、【Alt】と【カタカナひらがな/ローマ字】を押した後に入力

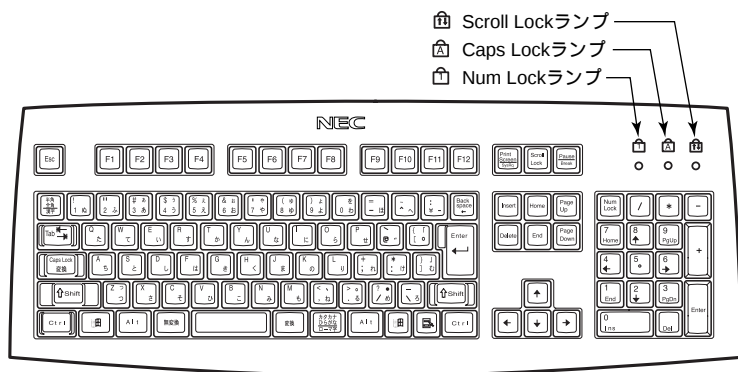


【Shift】を押しながら、このキーを押す
【Alt】と【半角/全角/漢字】を押した日本語入力モードにした後に押す
(上記のキーで(ち)を入力するときと同じ)
他のキーと組み合わせず単独で押す

以上の手順は、日本語入力モードの設定が全てデフォルト(ローマ字入力)の状態からの操作方法です。

便利なキーの名称と使い方

キーボード上には、文字を入力するキーの他に、プログラムの操作に使う特殊なキーがあります。これらのキーの機能は使用するプログラムによって異なります。



Esc : エスケープキー

F1 ~ F12 : ファンクションキー

Print Screen : プリントスクリーンキー

Scroll Lock : スクロールロックキー
一度押すと、Scroll Lockランプが点灯します。
→「キーをロックする」(P.20)

Pause Break : ポーズ / ブレークキー

半角 / 全角 / 漢字 : 半角 / 全角 / 漢字キー

Tab : タブキー

Caps Lock 英数 : キャプスロック / 英数キー
【Shift】を押しながら【Caps Lock / 英数】を押すとキャプスロックし、Caps Lockランプが点灯します。
→「キーをロックする」(P.20)

⇧ Shift : シフトキー

Ctrl : コントロールキー

Windows キー

アプリケーション キー

Windows キーとアプリケーションキーはWindowsによって機能を割り当てることができます。

Alt : オルトキー

無変換 : 無変換キー

スペース : スペースキー

変換 : 変換キー

カタカナ ひらがな ローマ字 : カタカナひらがな / ローマ字キー

Enter : エンターキー

Back space : バックスペースキー

Insert : インサートキー

Delete : デリートキー

 : ホームキー

 : エンドキー

 : ページアップキー

 : ページダウンキー

 : カーソル移動キー

 : ニューメリックロックキー

一度押すとニューメリックロックし、Num Lock ランプが点灯します。→「キーをロックする」

キーをロックする

【Caps Lock】【Num Lock】【Scroll Lock】は、ロックされているときと、ロックされていないときでキーの機能が異なります。

それぞれのキーがロックされているときはキーボード上部のランプが点灯します。

	ロックされているとき	ロックされていないとき
【Caps Lock】	英字が大文字で入力されます	英字が小文字で入力されます
【Num Lock】	テンキーから数字が入力されます	テンキーの数字の下に表示されている機能が使えます
【Scroll Lock】	アプリケーションによって機能が異なります。	

アプリケーションキーとWindows キーについて

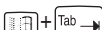
アプリケーションキーとWindows キーはWindows 95 で使用できるキーです。アプリケーションによってどのように利用するかは異なりますが、標準で次のような機能が割り当てられています。

アプリケーションキー ()

アプリケーションキーを押すと、マウスで右クリックしたときと同じ状態になります。

Windows キー ()

Windows キーだけを押すと、「スタート」メニューを表示します。
Windows キーを押しながら次のキーを押すと、次のような機能を利用することができます。

	「ファイル名を指定して実行」ウインドウを表示する
	現在起動しているウインドウをすべてアイコン化する
 + 	 +  でアイコン化しているウインドウを元に戻す
	Windows のヘルプを起動する
	ファイルやフォルダを検索するウインドウを表示する
 + 	コンピュータを検索するウインドウを表示する
	タスクバーに表示されているボタンを順番に切り替える
	「システムプロパティ」ウインドウを表示する

日本語入力

漢字やひらがななどの日本語を入力するには、日本語入力プログラムを使います。一太郎モデルと一太郎 8& 1-2-3 97 モデルは、ATOK11とMS-IME97が使用でき、工場出荷時はATOK11になっています。その他のモデルは、MS-IME97のみ使用できます。

日本語入力のオン / オフ

日本語入力のオン / オフを切り替えるには2つの方法があります。

- ・キーボードの【Alt】を押したまま【半角 / 全角 / 漢字】を押す。
- ・タスクバーの右下の  をクリックし、表示されるメニューから選ぶ。

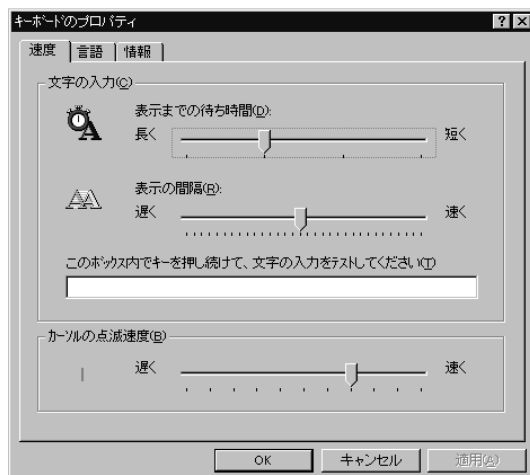
日本語変換の手順

日本語の変換にはさまざまな方法があります。ここでは、最も簡単な手順を示します。詳しくは、MS-IME97またはATOK11のヘルプをご覧ください。

● MS-IME97 の場合

- 1** MS-IME97ツールバーの一番左のアイコンをクリックして入力する文字の種類を選ぶ
- 2** 文字を入力する(この段階では未確定の仮の状態)
- 3** 【変換】を押す(変換の結果が正しくない場合は、正しく変換されるまで繰り返す)

2 「キーボード」をダブルクリック この操作で次のようなウィンドウが表示されます。



詳しくは Windows 95 のヘルプを参照してください。

使用上の注意

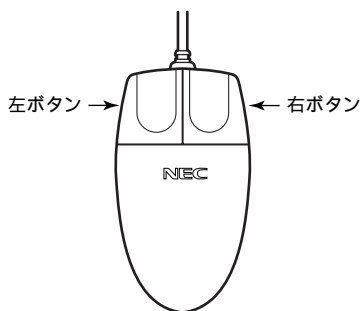
■ N キーロールオーバー

N キーロールオーバーとは、複数のキーを同時に押した場合に、最後に入力したキーが有効となる機能です。但し、本機のキーボードは、疑似 N キーロールオーバーのため、複数のキーを同時に押した場合には、正常に表示されないことや、有効にならないことがあります。

- ✓ **チェック!!** ・「コントロールパネル」→「システム」→「デバイスマネージャ」でユニバーサルシリアルバスコントローラの「NEC 109 日本語 USB キーボード」を削除しないでください。もし、削除してしまった場合は、キーボードを本体から一度抜いて再度接続しなおしてください。
- ・「コントロールパネル」→「パワーマネジメント」で「Windows でコンピュータの電源管理をする」のチェックボックスをオフに変更しないでください。変更するとサスペンド / レジューム後、USB キーボードが動作しなくなります。

マウス

マウスについて



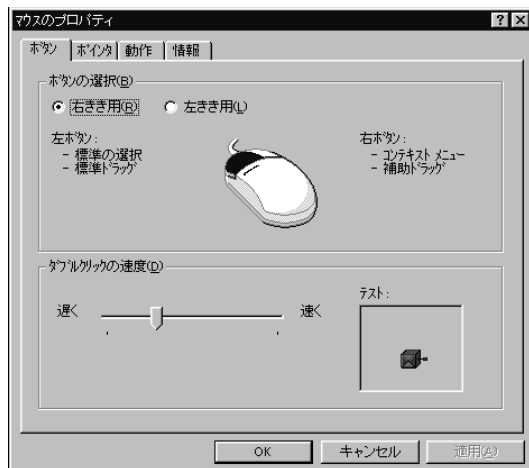
マウスのクリックとは、マウスのボタンを押して放す操作です。特に指定が無い場合は左ボタンを使います。

設定を変更する

マウスの応答速度やマウスポインタの形などを設定することができます。

1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリック

2 「マウス」をダブルクリック この操作で次のようなウィンドウが表示されます。



詳しくは Windows 95 のヘルプを参照してください。

使用上の注意

マウスを使うときは、次のことに注意してください。注意を守らずに使用すると、マウスの故障の原因となります。

- ・ほこりや消しゴムのかすなどのある場所で使わない
- ・コードを引っかけない
- ・コードを強く曲げたり、引っ張ったりしない
- ・裏面のネジを外さない、分解しない
- ・コネクタ内のピンに直接ふれない
- ・動きが悪くなってきたら、ボールとローラの汚れを掃除する
→ 「PART5 付録」の「本機のお手入れ」(P.215)



チェック!! ・「コントロールパネル」→「パワーマネージメント」で「Windowsでコンピュータの電源管理をする」のチェックボックスをオフに変更しないでください。変更するとサスペンド/レジューム後、マウスが動作しなくなります。

ディスプレイ

本機には、ウィンドウアクセラレータ機能が標準で搭載されています。お使いの用途に応じた解像度や表示色に切り換えて使用できます。

ディスプレイセットモデルの解像度と表示色について

ディスプレイがセットになっているモデルは、以下の解像度と表示色を表示できます。

解像度 (ドット)	表示色	水平走査 周波数 [KHz]	垂直走査 周波数 [Hz]	14.1インチ液晶 ディスプレイ (F14T1) (F14T2)	15インチCRT ディスプレイ (DV15A1)	17インチCRT ディスプレイ (DV17B1)
640 × 480	256色	37.5	75.0	○	○	○
	32,768色 1,677万色	31.5	59.9	○	○	○
800 × 600	256色	46.9	75.0	○	○	○
	32,768色 1,677万色	37.9	60.3	○	○	○
1,024 × 768	256色	60.0	75.0	○	○	○
	32,768色 1,677万色	56.5	70.1	○	○	○
1,280 × 1,024	256色	80.0	75.0	×	×	×
	32,768色	64.0	60.0	×	×	○

増設VRAM(2MB)PK-UG-M004を増設することで表示できます。(VRAMの増設方法については、増設VRAMのマニュアルをご覧ください。)

✓チェック!! 14.1インチ液晶ディスプレイ(F14T1、F14T2)は、1024 × 768の解像度で最も鮮明に表示できるよう設計されていますので、Windows 95のセットアップが完了しましたら、再度Windows 95を立ち上げ、表示解像度を1024 × 768に設定してご利用ください。

くわしくは、14.1インチ液晶ディスプレイに添付の取扱説明書をご覧ください。F14T1の場合、表示解像度によっては、お客様による画面の位置、サイズなどの調整が必要です。

画面の位置、サイズなどの調整は、F14T1のOSD(オン・スクリーン・ディスプレイ)機能で調整できます。

OSD機能には、表示位置やサイズを簡単に調整する自動調整メニューもあります。詳細は、F14T1に添付の取扱説明書をご覧ください。

ディスプレイの表示の設定を変更する

ディスプレイの解像度やデスクトップの配色などを設定することができます。

- 1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリック
- 2 「画面」をダブルクリック
- 3 「ディスプレイの詳細」タブをクリック

この操作で次のようなウィンドウが表示されます。



詳しくはWindows 95 のヘルプをご覧ください。

別売のディスプレイを使う

本機には、別売のディスプレイを接続することもできます。
別売のディスプレイを使用する場合は、「ディスプレイセットモデルの解像度と表示色について」を参考に解像度と周波数を選んでください。

- ✓ **チェック!!**
- ・ Windows 95 を使用する場合は、640 × 480 ドット以上の解像度に対応したディスプレイを使用してください。
別売のディスプレイを使用する場合は、ディスプレイに合わせて、本体の設定を変更する必要があります。
 - ・ 本体が、ディスプレイに合わせて正しく設定されていないと、ディスプレイに何も表示されないことがあります。
 - ・ 別売のディスプレイを使用する場合は、解像度、走査周波数の条件を満たしていることを確認してください。
 - ・ ディスプレイによっては、特定の表示ができなかったり、ディスプレイ側の微調整が必要な場合もあります。
 - ・ 次の別売のディスプレイは使用できません。
 - ・ PC-KM212
 - ・ PC-KM174

ハードディスクドライブ

ハードディスクドライブは、プログラムやデータを保存する非常に精密な装置です。コンピュータの使用中に、ハードディスクドライブで障害が発生することもあります。軽い障害であれば、スキャンディスクを使って修復することができます。

ドライブ番号の割り当て

ハードディスクドライブやフロッピーディスクドライブには、それぞれ呼び名が割り当てられています。これを「ドライブ番号」といいます。本機のハードディスクドライブは、工場出荷時に複数の領域に分割されており、それぞれの領域にドライブ番号が割り当てられています。

アイコン	ドライブ番号	ドライブ
	Aドライブ	フロッピーディスクドライブ
	Cドライブ	ハードディスクドライブ
	Dドライブ	ハードディスクドライブ
	Qドライブ	CD-ROMドライブ

スキャンディスクの操作手順

Windows 95 が起動している場合（通常の場合）

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」→「システムツール」→「スキャンディスク」をクリック
- 2 エラーをチェックするドライブを選ぶ
- 3 「チェック方法」で「標準」を選ぶ
- 4 「エラーを自動的に修復」を選ぶ

- 5 「開始」ボタンをクリック
- 6 「結果レポート」が表示されたらレポートを読み、エラーが発見されなかった場合は、「閉じる」ボタンをクリック
エラーが発見された場合は、画面の指示に従ってください。
- 7 もう一度「閉じる」ボタンをクリック

Windows 95 が起動できなかった場合（異常があった場合）

- 1 本体の電源を入れる
- 2 「Starting Windows 95」のメッセージが表示されたら、すぐに【F8】を押す
- 3 「Startup Menu」が表示されたら「6.Command prompt only」を選んで【Enter】を押す
- 4 コマンドプロンプトから scandisk と入力し、【Enter】を押す
- 5 エラーが発生した場合は「ファイルに変換する」等を選んで修復する
- 6 「クラスタスキャンを実行しますか？」のメッセージが表示されたら矢印キーで「いいえ」を選んで【Enter】を押す
- 7 【X】を押してスキャンディスクを終了する

 **チェック!!** 定期的にスキャンディスクを起動して、ハードディスク上にエラーが無いことを確認してください。
スキャンディスクの結果、システムに重大な問題が発見された場合は再セットアップが必要になります。その場合は『困ったときの Q&A』をご覧ください。

デフラグの操作手順

ハードディスク(またはフロッピーディスク)を長い間使っていると、データがディスクの空いている場所に、ばらばらに保存されるようになります。データが連続していないと、データを読み書きする時間が長くなります。デフラグを使うと、このようなばらばらになったデータを、最適な場所に整理することができます。

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」→「システムツール」→「デフラグ」をクリック
- 2 「ドライブの選択」でデフラグを実行するドライブを選ぶ
- 3 「OK」ボタンをクリック
- 4 「開始」ボタンをクリック
- 5 「ディスクの最適化」ダイアログボックスが表示されたら「はい」ボタンをクリック

✓**チェック!!** デフラグ実行中は、絶対に本機の電源を切らないでください。

使用上の注意

振動や衝撃を加えない

ハードディスクドライブは、たいへん精密な機械です。次のことに注意してください。

- ・電源が入っているときは、本体に振動や衝撃を加えたり、持ち運んだりしないでください。
- ・電源を切って本体を運ぶときでも、できるだけ慎重に扱ってください。

バックアップはこまめにとる

本機に内蔵されているハードディスクドライブは、非常に精密に作られています。毎分数千回転するディスク面と情報を読みとる磁気ヘッドの間は、わずか数ミクロン(1000分の数ミリ)しか空いていません。このため、データを読み書きしていることを示すハードディスクアクセスランプの点灯中には、少しの衝撃を与えても故障の原因となることがあります。ハードディスクドライブが故障すると、大切なデータが一瞬にして使えなくなってしまうです。大切なデータは、バックアップをこまめにとることをおすすめします。

不良セクタ、スキップセクタ

ハードディスクは、きわめて精密に製造されますが、データが高密度で記録されるため、読み出しエラーの起こりやすい場所があることがあります。これを「不良セクタ」、または「スキップセクタ」といいます。パーソナルコンピュータは、このような場所にはデータを記録しないようにしています。

ハードディスクに対して、Windows 95の「スキャンディスク」などを実行すると、「不良セクタ」または「スキップセクタ」と表示されることがありますが、これは、不良セクタ、スキップセクタを使わないように予防されていたことを表しており、異常ではありません。

また、「不良セクタ」または「スキップセクタ」が表示された場合でも、「全ディスク領域」または「全ディスク容量」のバイト数が次の表の値であれば不良ではありませんので、正常にお使いいただけます。

内蔵ハードディスク	正常値
4.3 G バイト	4,300,000,000 バイト以上

内蔵ハードディスクは、2つの領域に分けられています。表の正常値は、2つの領域のバイト数を合計した値です。

ハードディスクの記憶容量は、1M バイト = 1,000,000 バイト、1G バイト = 1,000,000,000 バイトで計算したときのM、G バイト値を示してあります。OSによっては、1M バイト = 1,048,576 バイトでM バイト値を、1G バイト = 1,073,741,824 バイトでG バイト値を計算していますので、この値より小さな値で表示されます。

■ 本機で利用できる内蔵ハードディスクのセクタ長は、512 バイトです。

ハードディスクドライブの動作音について

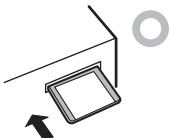
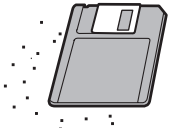
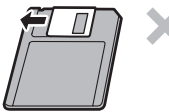
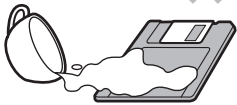
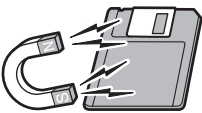
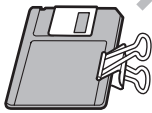
ハードディスクドライブの動作中、本機より小さな音がする場合がありますが、異常ではありません。

フロッピーディスクドライブ

コンピュータに入力したプログラムやデータは、フロッピーディスクに書き込んで保存することができます。

フロッピーディスクを取り扱うときの注意

フロッピーディスクが壊れると、大切なデータやソフトウェアが使えなくなります。次の点に注意して大切に取扱いください。

フロッピーディスクドライブには、正しい位置に奥まで静かに挿入してください。 	ラベルは正しい位置に貼ってください。 	使用後は収納箱へ入れて保管してください。 
ゴミやホコリの多い場所での使用、保管は避けてください。汚れたフロッピーディスクの使用は避けてください。 	鉛筆での記入や消しゴムの使用は避けてください。 	シャッターは開けないでください。 
フロッピーディスクの上にもものをのせないでください。 	直射日光の当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が高くなる場所に置かないでください。 	飲食、喫煙しながらの使用は避けてください。 
溶剤類、飲み物等はフロッピーディスクに近づけないでください。 	フロッピーディスクに磁石などを近づけないでください。 	クリップ等ではさんだり、投げたり、落としたりしないでください。 

フロッピーディスクのフォーマット

市販のフロッピーディスクには、フォーマット済みのものと、未フォーマットのものがあります。未フォーマットのフロッピーディスクを購入した場合は、使用する前にフォーマット処理（初期化）を行う必要があります。

本機では 1.44MB、720KB の2種類のフォーマットができます。

- ✔ **チェック!!** 1.2MBのフロッピーディスクは、読み書きできますがフォーマット、ディスクコピーはできません。

フォーマットの手順

- 1 フロッピーディスクをドライブにセット
- 2 Windows 95のデスクトップで「マイコンピュータ」をダブルクリック
- 3 「3.5 インチ FD」をクリック
- 4 「ファイル」→「フォーマット」をクリック
「フォーマット」ウィンドウが表示されます。
- 5 「通常のフォーマット」を選んで「スタート」ボタンをクリック
- 6 「フォーマット結果」が表示されたら「閉じる」ボタンをクリック
- 7 「フォーマット」ウィンドウで「閉じる」ボタンをクリック

使用できるフロッピーディスクについて

本機で読み込み / 書き込みできるフロッピーディスクは次のとおりです。

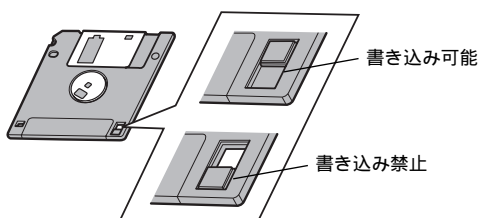
・1.44MB、1.2MB、720KB のいずれかの容量でMS-DOS、Windowsを利用してフォーマットされたもの。

- ✔ **チェック!!** 1.2MBのフロッピーディスクは、Windows 95の「ディスクのコピー」でバックアップが取れません。

フロッピーディスクの内容の保護

フロッピーディスクは保存したデータを誤って消してしまわないようにするために、ライトプロテクト(書き込み禁止)ができるようになっています。ライトプロテクトされているフロッピーディスクは、データの読み出しはできますが、フォーマットやデータの書き込みはできません。重要なデータの入っているフロッピーディスクはライトプロテクトしておく習慣をつけましょう。

ライトプロテクトノッチを、図のように穴の開く方にスライドさせると、書き込み禁止になります。

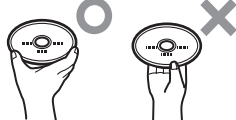
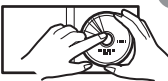
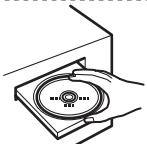
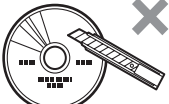
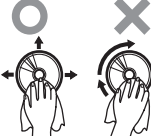
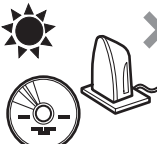
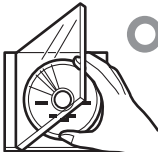


CD-ROMドライブ

CD-ROMはデータやプログラムが書き込まれているCDです。本機では音楽用のCDを再生することもできます。

CD-ROMを取り扱うときの注意

CD-ROMを破損しないように、次の点に注意して大切に扱ってください。

信号面（文字などが印刷されていない面）に手を触れないでください。 	ケースの中央を押しながら取り出してください。 	文字の書かれている面が見えるように、CDトレイに正しい向きにはめ込んでください。 
CD-ROMの上にものをのせたり曲げないでください。 	ラベルなどを貼らないでください。 	キズをつけたりボールペンなどで文字を直接書いたりしないでください。文字を書く場合は、フェルトペンなどを使ってください。 
落として強い衝撃を与えたり、キズをつけないでください。 	指紋やホコリが付いたときは、乾いた柔らかい布で、内側から外側に向けて拭いてください。 	掃除の際は、CD専用のクリーナーをお使いください。レコード用のスプレー、クリーナーペンジン、シンナーなどは、使わないでください。 
ゴミやホコリの多い場所での使用、保管は避けてください。 	直射日光の当たる場所や、暖房器具の近くなど、温度が高くなる場所に置かないでください。 	使用後は収納ケースへ入れるようにしてください。 

CD-ROMドライブの使用上の注意

- ・ CD TEXTのTEXTデータ部及びCD-RW (Rewritable)は、読み出せません。

非常時のディスクの取り出し

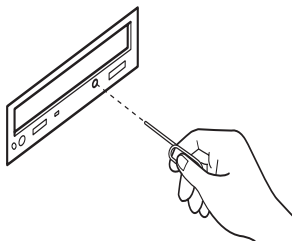
停電やソフトウェアの異常動作などにより、CDトレイジェクトボタンを押してもCDトレイが出てこない場合は、次の手順で強制的に取り出すことができます。

✓チェック!! 本体の電源が切れていることを確認してから行ってください。

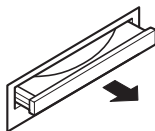
- 1 細くて丈夫な針金を用意(大きめのペーパークリップを伸ばしたものが使えます)



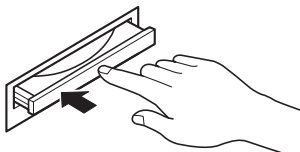
- 2 CDトレイの下穴(直径約2mm)に針金を差し込み、強く押す
CDトレイが15mmほど飛び出します。



- 3 CDトレイを手で引き出し、ディスクを取り出す



- 4 CDトレイをドライブの中に押し込む



サウンド機能

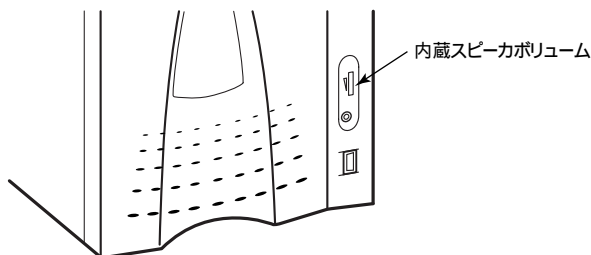
本機には音声を録音、再生するためのサウンド機能が内蔵されています。音声は内蔵スピーカまたは外部のオーディオ機器から再生することができます。

音量の調節

音量の調節には2通りの方法があります。どちらかの方法で音量が最小になっていると、音が出ないので注意してください。

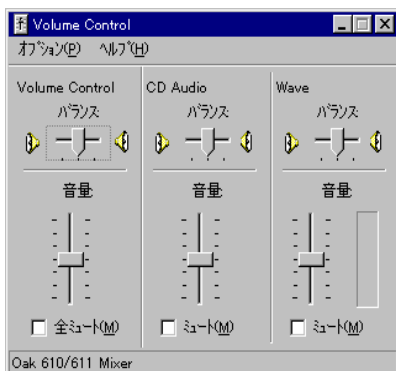
内蔵スピーカボリューム

本体の内蔵スピーカボリュームを上へ回すと音が大きくなり、下に回すと小さくなります。



ボリュームコントロール

「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」→「マルチメディア」→「ボリュームコントロール」をクリックすると、次のようなウィンドウが表示されます。



詳しい使い方についてはWindows 95 のヘルプを参照してください。

LAN

本機には100BASE-TX/10BASE-T自動切換えのLANアダプタが標準で装備されています。ここでは本機をネットワークに接続する手順を簡単に説明します。

リンクケーブルの接続

本機をネットワークに接続するには、マルチポートリピータ(HUB)と専用ケーブルが必要です。100BASE-TXまたは10BASE-Tに対応したものをご用意ください。100BASE-TXに対応したものの方が、より高速です。

100BASE-TXで使用するためには、カテゴリ5のリンクケーブル(別売)が必要です。

 **チェック!!** 本機を稼働中のネットワークに接続するには、ネットワーク管理者の指示に従って、リンクケーブルの接続を行ってください。

ネットワークの設定

ここではネットワークソフトウェアのセットアップ方法を簡単に説明します。詳しくは『Microsoft® Windows® 95 ファーストステップガイド』の「第3章 ネットワークの基礎知識」をご覧ください。

ネットワークソフトウェアのセットアップ

- 1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリック
- 2 「ネットワーク」をダブルクリック
- 3 「ネットワーク設定」タブの「追加」ボタンをクリック
- 4 必要な機能を追加

ネットワーク上で自分のコンピュータを認識させる

- 1** 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリック
- 2** 「ネットワーク」をダブルクリック
- 3** 「ユーザ情報」タブをクリック
- 4** 「コンピュータ名」、「ワークグループ」、「コンピュータの説明」に、必要な情報を入力
- 5** 「OK」ボタンをクリック

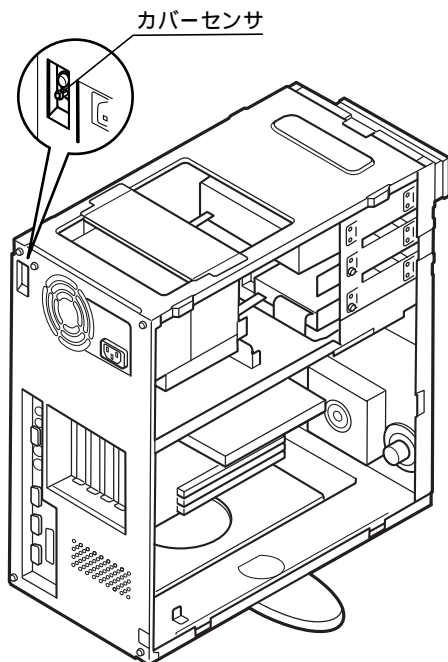
 **チェック!!** 設定方法がわからない場合は、ネットワーク管理者に相談してください。

運用管理機能

本機は、システム管理者が効率よくクライアントを運用、管理するための、セキュリティ、障害管理、資源管理および遠隔操作・保守を行うための機能を備えています。

セキュリティ

- ・パスワード、I/Oロック→「システム設定」(P.83)
- ・セキュリティロック→「各部の名称」(P.2)
- ・ルーフカバーオープン検知：カバーセンサにより、ルーフカバーの開閉を監視します。



リモートパワーオン機能

ネットワーク経由で、離れたところにあるパソコンの電源を入れる機能です。本体およびLANボードがリモートパワーオン機能に対応しているシステムでは、本体の電源が切れているときも、リモートパワーオン用の専用コントローラは通電されています。管理パソコンはDMIToolからのリモートパワーオンのコマンド指示を受けると、パワーオンを指示する特殊なパケットを離れたところにあるパソコンに送信します。そのパケットを離れたところにあるパソコンの専用コントローラが受信すると、専用コントローラはパワーオン動作を開始します。これにより離れたところにある管理パソコンから、LAN接続された本機の電源を入れることができます。

- ✔ チェック!! ・ 以下の場合、リモートパワーオン機能にて電源を入れることはできません。一度電源スイッチを押して、Windows 95を起動させ、再度、正常な方法で電源を切ってください。

前回のシステム終了が正常に行なわれなかった場合。

ブレーカを落とす、電源ケーブルを外す、停電など、主幹電源断後。

- ・ 本機がサスペンド状態のとき、リモートパワーオン機能によるレジュームはできません。

参照 ▶ 「PART4 添付アプリケーションの概要と削除 / 再追加」の「DMITool」(P.152)

障害管理機能

本機には、次のような障害管理機能があり、異常を検出すると、DMIToolの状態監視機能へ異常を通知します。

- ・ メモリ：エラーの自動検出 / 訂正を行うECC機能に対応しています。
- ・ ハードディスクドライブ：ハードディスクドライブの異常を監視します。標準装備されているハードディスクドライブは、S.M.A.R.T.(Self-Monitoring, Analysis and Reporting Technology)に対応しています。
- ・ 温度：内部の温度を監視します。
- ・ 電圧：内部で使用されているさまざまな電圧を監視します。
- ・ ファン：電源、CPUなどの空冷用ファンの回転数を監視します。

資源管理・状態監視機能

参照 「PART4 添付アプリケーションの概要と削除 / 再追加」の「DMITOOl」
(P.152)

資源管理

本機のメモリ容量、PCIスロットの使用状況などのハードウェア構成およびインストールされているソフトウェアについての情報が得られます。また、離れたところにあるマシンから、本機の情報を知ることができます。

状態監視

障害管理機能が異常値を検出すると、本機の状態監視アイコンやポップアップメッセージにより異常を通知し、バックアップツールの連携操作などができます。また、離れたところにあるマシンから、本機の状態を知ることができます。

遠隔操作・保守機能

参照 「PART4 添付アプリケーションの概要と削除 / 再追加」「pcANYWHERE32 EX」(P.156)

本機のデータやシステムファイルなどのバックアップ、ファイル配布、ソフトのインストール、アプリケーションの実行などの操作を、離れたところにあるシステム管理者のマシンから、あたかも本機を操作しているように自由に行えます。その際には、システム管理者のマシンに、下記のDMITOOl(別売)、または「pcANYWHERE」(Symantec社製)が必要です。

- ・ PC98-NX シリーズ、PC-9800 シリーズ用
DMITOOl(Ver4.1)(pcANYWHERE32 EX コンプリート版付)
PS-NX9217-C1

ヘルプの表示方法

ここではヘルプの表示方法について説明します。Windows 95のヘルプの詳細は『Microsoft® Windows® 95 ファーストステップガイド』「第1章 基本的な操作」の「ヘルプを表示する」をご覧ください。

特定の操作手順についてのヘルプ

目次またはキーワードを入力して操作手順を探す

- 1 「スタート」ボタン→「ヘルプ」をクリック
- 2 ヘルプウィンドウ内の  または  をダブルクリック

 のアイコンをダブルクリックすると、さらに細かな項目が表示されます。

 のアイコンをダブルクリックすると、項目の内容を説明する画面が表示されます。

設定項目のヘルプ(画面に表示されている項目についてのヘルプ)

設定方法が分からない場合に、ヘルプ画面を表示してその項目の説明を読むことができます。

設定項目に関する説明を表示する

- 1 ダイアログボックスのタイトルバーにある  アイコンをクリック
カーソルが  になります。
 - 2 説明が必要な項目をクリック
- 説明が必要な項目を選択して【F1】を押しても同様の画面が表示されます

周辺機器を利用する

ここでは、接続できる周辺機器や内蔵機器の取り付け方法について説明します。

この章の内容

接続できる周辺機器	46
接続にともなう注意点	48
内蔵機器の増設	52

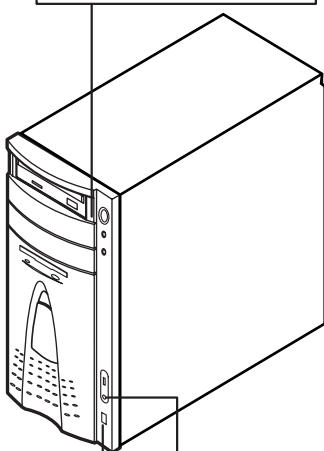
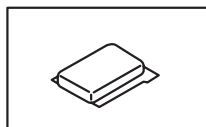
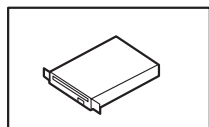
接続できる周辺機器

本機には、次のような別売の周辺機器を接続できます。

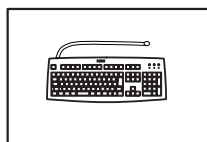
ファイルベイ(5インチベイ)

フロッピーディスクドライブ

ハードディスクドライブ

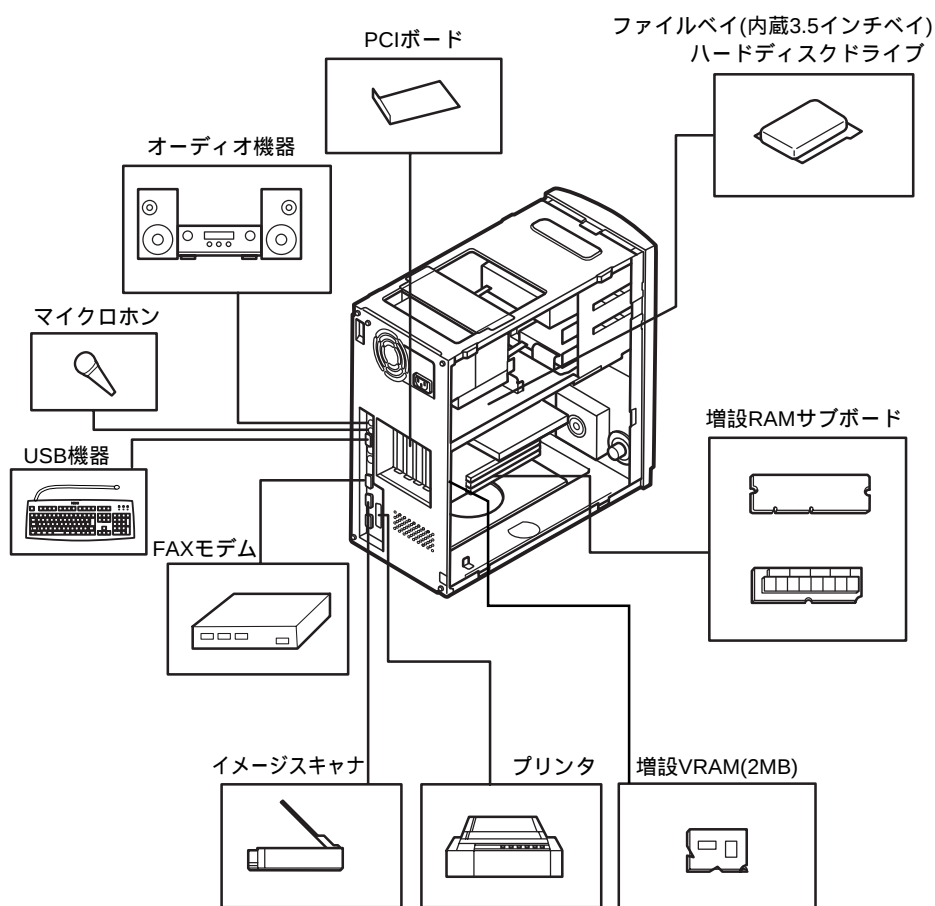


USB機器



ヘッドホン





接続にともなう注意点

周辺機器を取り付ける場合、次のようなことに注意してください。

接続前の確認

- 取り付けたい周辺機器は、このパソコンで使えるものですか？

取り付けたい周辺機器がこのパソコンで使えるものかどうか、周辺機器のマニュアルで確認するか、製造元に問い合わせてください。

- リソースは確保されていますか？

周辺機器を使うには、「リソース」が必要です。まず、「デバイスマネージャ」でその周辺機器が使うリソースがあいているかどうか確認してください。リソースが足りない場合は、使わない機器や機能のリソースを空けて、その分を取り付けたい周辺機器が使えるように設定を変更します。

プラグ & プレイ セットアップについて

周辺機器の中には、ドライバプログラムのセットアップが必要なものがあります。プラグ&プレイとは、接続したハードウェアを自動的に検出してセットアップを行うWindows 95の機能です。

新しいハードウェアを接続すると、次に電源を入れたときにWindows 95が自動的に新たなハードウェアを検出し、必要に応じてデバイスドライバウィザードが起動します。外付けの周辺機器を接続した場合は、本体の電源を入れる前に周辺機器の電源を入れてください。



周辺機器にドライバのフロッピーディスクまたはCD-ROMが添付されている場合は、周辺機器の取扱説明書の指示に従ってセットアップを行ってください。

接続時に注意すること

⚠ 注意



感電注意

- ・雷が鳴り出したら、本機や電源ケーブルに触れたり、周辺機器の取り付け/取り外しをしたりしないでください。
落雷による感電のおそれがあります。
- ・濡れた手で触らないでください。
電源ケーブルがACコンセントに接続されているときに、濡れた手で本体に触ると、感電の原因になります。
- ・電源のケーブルがACコンセントに接続されているときは、本体のカバー類を外さないでください。
感電の原因になります。
- ・周辺機器の取り付け/取り外しをするときは、必ず電源ケーブルのプラグをACコンセントから抜いてください。
電源ケーブルがACコンセントに接続されたまま周辺機器の取り付け/取り外しをすると、本機や周辺機器の故障、場合によっては感電の原因となります。



けが注意

- ・本体内部に手を入れるときは、指をはさんだりぶついたりしないように注意してください。



高温注意

- ・本機の使用直後は、CPUやCPUの周辺に触れないでください。
CPUが高温になっていますので、手を触れるとやけどをすることがあります。ルーフカバーを外す場合は、電源を切ったあと、30分以上たってから行うことをおすすめします。



感電注意

- ・本体を、ルーフカバーを外した状態で使用しないでください。
感電や火災の原因となります。



発火注意

- ・周辺機器は、この活用ガイドや周辺機器のマニュアルに従って正しく取り付けてください。
正しく取り付けられていないと、発煙や火災の原因となります。



発火注意

接続がうまくできない場合

- ケーブルは正しく接続されていますか？

見落としがちなことですが、パソコンや周辺機器を動かしたときなどに、ケーブルが外れたりすることはよくあります。ケーブルがきちんと接続されているか、確認してください。

- 本体内部のケーブル類はきちんと接続されていますか？

本体内部に機器を取り付けたときには、気づかないうちに内部の信号ケーブルなどを引っばってしまって、接続がゆるんでしまうことがあります。本体内部のケーブル類がきちんと接続されているかどうか、確認してください。

- ドライバは組み込みましたか？

周辺機器によっては周辺機器を取り付けてもドライバが組み込まれていないと、使うことはできません。周辺機器のマニュアルをご覧ください、ドライバを組み込んでください。

- ドライバは最新のものですか？

周辺機器のドライバは、知らないうちに改善されて新しくなっていることもあります。「ドライバの組み込み方は正しいのに、うまく動かない」といった場合は、ドライバを最新のものにするとうまく動くようになることもあります。周辺機器の製造元に問い合わせ、最新のドライバを入手してください。

- 周辺機器を複数取り付けたため、何が原因が分からなくなっていますか？

このような場合は、取り付けた機器をいったん全部外します。その後、一つずつ取り付けてはパソコンを起動するという作業を繰り返します。パソコンが起動しなくなるなどの現象が起きる機器があったら、その機器に問題があります。リソースの設定やドライバの設定などが正しくできているか、確認してください。

チェック!! リソースの競合が起こったら

PCIボードは、プラグ&プレイに対応しているため、基本的には設定不要ですが、動作しない場合はリソースの競合が起こっているかもしれませんので、ここをお読みください。

最も競合を起こしやすいのは、本機に新しい機器を追加するときです。また、通常Windows 95は、新しい機器を検知した際にシステムの状態を調べます。新しい機器がプラグ&プレイに対応している場合は、リソースが競合しないように自動的に設定されます。新しい機器がプラグ&プレイに対応していない場合でも、リソースが競合する場合にはドライバを組み込みません。本機が起動しなくなるような競合に対しては、二重三重の保護機能が働いています。

リソース競合の発生は、「コントロールパネル」の「デバイスマネージャ」で確認することができます。ドライバの異常、リソースの競合など何らかの障害があると、アイコンに黄色い「!」や赤い「×」マークが表示されます。

(注)スタンダードPS/2 ポートマウスに黄色い「!」がついていますが、異常ではありません。

異常が表示された場合は、まずその機器のプロパティを開いてください。「デバイスの状態」の欄に、異常の原因が表示されます。異常の原因がリソースの競合であった場合は、次の方法で解決することができます。

- 1 「リソース」タブを開く
- 2 「自動設定」の欄にチェックマークがついていたら、☒をクリックし
☐にする
- 3 「リソースの種類」から競合しているリソースを選び、ダブルクリック
- 4 表示されたリソースの設定値を変更

選択した機器やリソースの種類によっては、設定値を変更できない場合があります。その場合、競合を起こしているもう一方の機器の設定値を変更してください。なお、本機のリソースについては、「PART5 付録」「割り込みレベル一覧」、「DMA チャンネルの割り当て」をご覧ください。

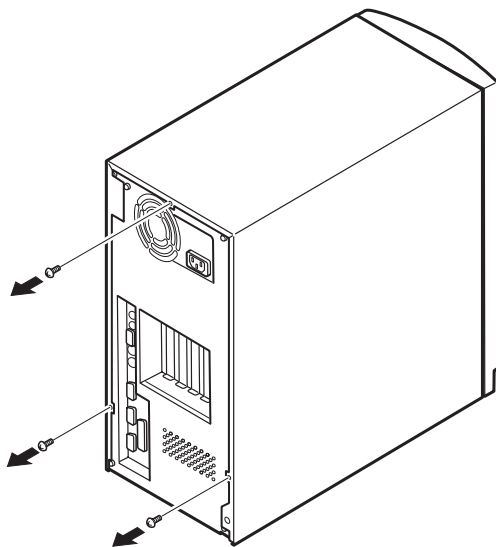
内蔵機器の増設

ここでは、ルーフカバーの取り外し方や内蔵機器の取り付け方について説明します。

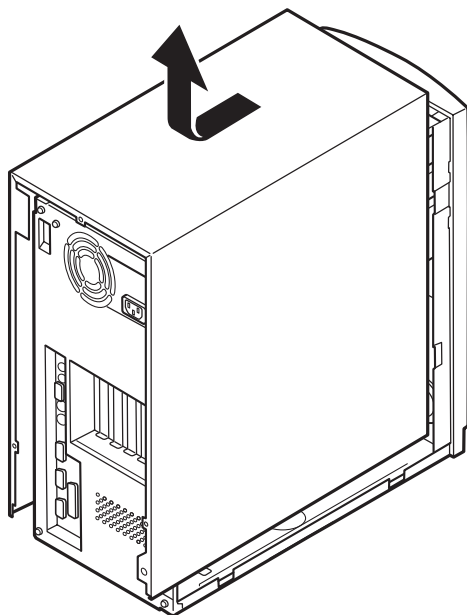
ルーフカバーの取り外し

メモリやハードディスクドライブ、PCIボードなどの内蔵機器を増設する場合は、本体のルーフカバーを取り外す必要があります。

- 1** 本機の電源を切る
- 2** 本体に接続しているすべてのケーブル(電源ケーブル、アース線など)を取り外す
- 3** 盗難防止用の錠を使用している場合は、取り外す
- 4** 本体背面のネジ3本を外す



- 5 ルーフカバーを少し後方へ引き出してから、上方向に持ち上げて取り外す

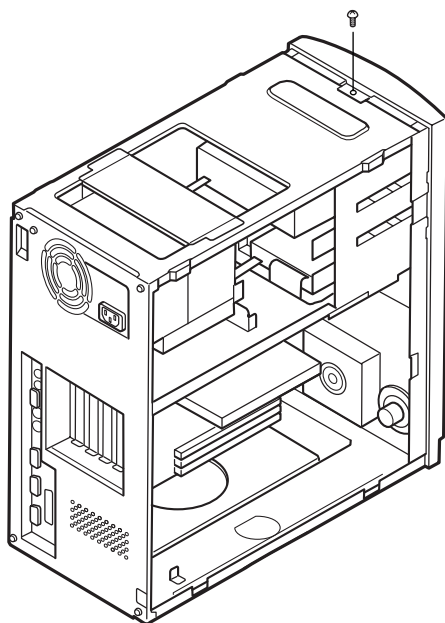


✓**チェック!!** 取り外したネジは紛失しないように、手近な箱や袋などに保管してください。

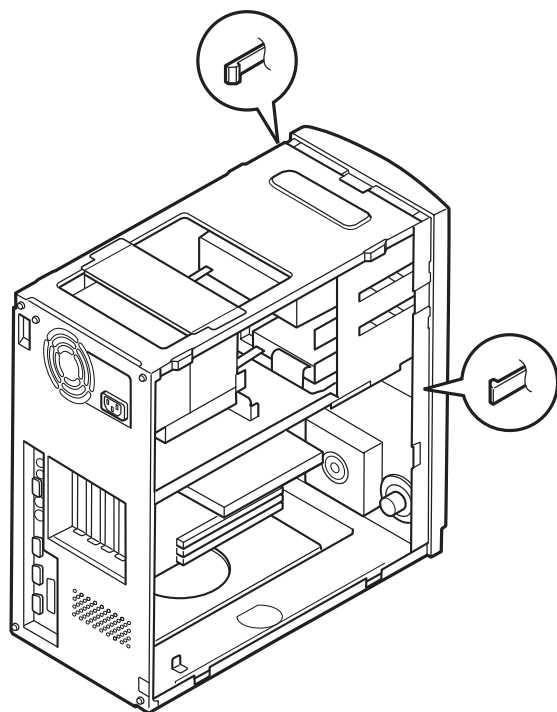
フロントマスクの取り外し

増設ハードディスクドライブ、増設フロッピーディスクドライブやPCカードドライブなど、ファイルベイ(5インチベイ)に内蔵機器を取り付ける場合は、ルーフカバーとフロントマスクを取り外す必要があります。

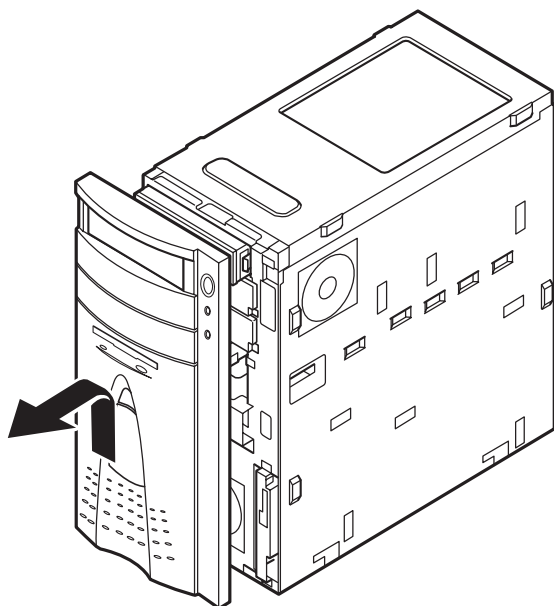
- 1 「ルーフカバーの取り外し」の手順でルーフカバーを取り外す
(P.52)
- 2 フロントマスクを止めているネジ1本を外す



3 フロントマスク裏側のツメ2箇所を、ドライバの先などで押して外す



4 フロントマスクを少し上に持ち上げてから、手前に引いて取り外す

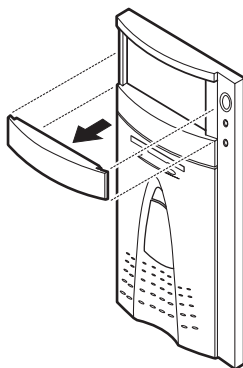


ファイルベイカバーの取り外し

増設フロッピーディスクドライブや PC カードドライブのリムーバブルメディアの内蔵機器を、ファイルベイ(5 インチベイ)に取り付ける場合は、ファイルベイカバーを取り外す必要があります。

- 1 「ルーフカバーの取り外し」の手順でルーフカバーを取り外す
(P.52)
- 2 「フロントマスクの取り外し」の手順でフロントマスクを取り外す
(P.54)

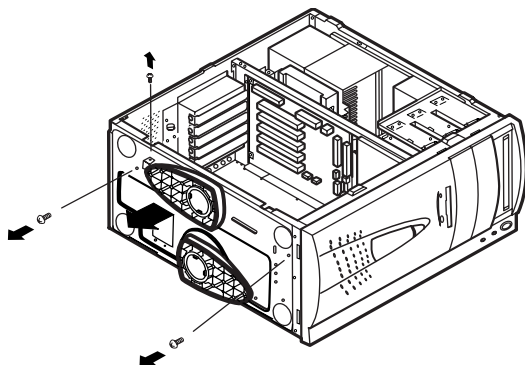
3 ファイルベイカバーを矢印の方向に押して、取り外す



アンダーカバーの取り外し

マザーボードを取り外す場合は、アンダーカバーを取り外す必要があります。

- 1 「ルーフカバーの取り外し」の手順でルーフカバーを取り外す (P.52)
- 2 スタビライザをたたみ込み、本体を左側面が上になるように、ゆっくり横に倒す
- 3 アンダーカバーを止めているネジ3本を外す



- 4 アンダーカバーを少し上に持ち上げてから、手前に引いて取り外す

増設 RAM サブボードの取り外しと取り付け

取り付け前の確認

本機には32Mまたは、64M バイトのメモリが標準で搭載されており、最大で384M バイトまで増設することができます。大量のメモリを必要とするアプリケーションを使用する場合には、別売の増設RAM サブボードを取り付けることで、メモリを増やすことができます。

スロットへの取り付け順序

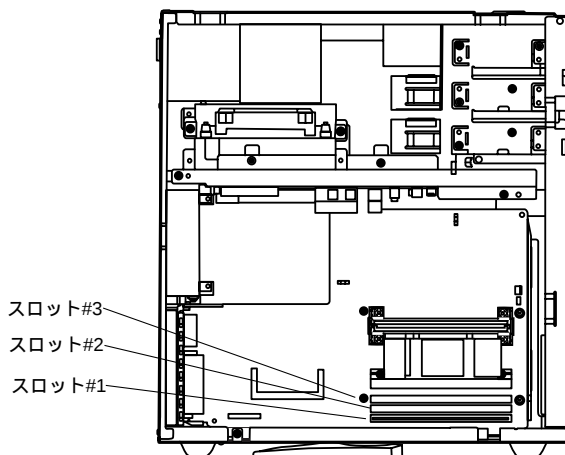
必ずスロット #1、#2、#3 の順に取り付けてください。スロットに取り付ける順序は変更してもかまいません。

例:64MB・32MB・32MB と取り付ける代わりに32MB・32MB・64MB と取り付けることもできます。

増設 RAM サブボード組合せ一覧

合計容量	スロット # 1	スロット # 2	スロット # 3
32MB	32MB	———	———
64MB	64MB 32MB	——— 32MB	——— ———
96MB	64MB 32MB	32MB 32MB	——— 32MB
128MB	128MB 64MB 32MB	——— 64MB 32MB	——— ——— 64MB
160MB	128MB 64MB	32MB 64MB	——— 32MB
192MB	128MB 128MB 64MB	64MB 32MB 64MB	——— 32MB 64MB
224MB	128MB	64MB	32MB
256MB	128MB 128MB	128MB 64MB	——— 64MB
288MB	128MB	128MB	32MB
320MB	128MB	128MB	64MB
384MB	128MB	128MB	128MB

スロットの位置



取り付けられる増設 RAM サブボード

本機には、次の増設RAMサブボードを1枚単位で最大3枚まで取り付けることができます。

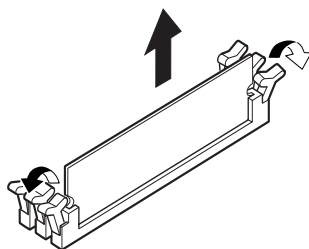
型 名	メモリ容量	ECC対応
PK-UG-M005	32Mバイト	○
PK-UG-M006	64Mバイト	○
PK-UG-M007	128Mバイト	○

☑ **チェック!!** PK-UG-M001、-M002、-M003 は使用できません。

増設 RAM サブボードの取り外し

☑ **チェック!!** 増設RAMサブボードは、静電気に大変弱い部品です。身体に静電気を帯びた状態で増設RAMサブボードを扱うと、増設RAMサブボードが破損する原因となります。増設RAMサブボードに触れる前に、身近な金属(アルミサッシやドアのノブなど)に手を触れて、身体の静電気を取り除くようにしてください。また、増設RAMサブボードを持つときは、ボードの縁の部分を持ち、金属の部分には触れないようにしてください。特に、端子の部分を手で触れないように注意してください。

- 1 「ルーフカバーの取り外し」の手順でルーフカバーを取り外す (P.52)
- 2 スタビライザをたたみ込み、本体を左側面が上になるように、ゆっくり横に倒す
- 3 増設 RAM サブボードの左右のレバーを外側に広げる



- 4 増設 RAM サブボードを上へ引き抜く
取り外した増設RAMサブボードは静電気防止用の袋などに入れて保管してください。
- 5 静かに本体を縦置きに戻し、スタビライザを引き出す
- 6 ルーフカバーを取り外したときと逆の手順で取り付ける

増設 RAM サブボードの取り付け

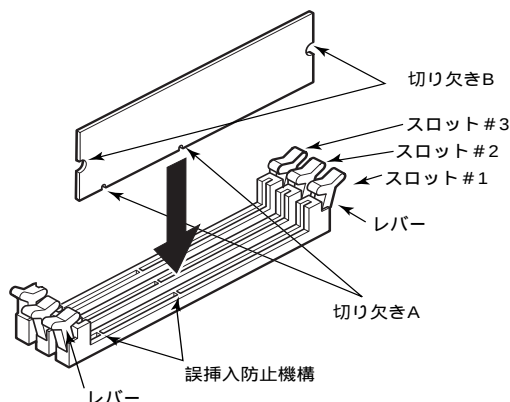
✓チェック!! 増設RAMサブボードは、静電気に大変弱い部品です。身体に静電気を帯びた状態で増設 RAM サブボードを扱うと、増設 RAM サブボードが破損する原因となります。増設RAMサブボードに触れる前に、身近な金属(アルミサッシやドアのノブなど)に手を触れて、身体の静電気を取り除くようにしてください。また、増設RAMサブボードを持つときは、ボードの縁の部分を持ち、金属の部分には触れないようにしてください。特に、端子の部分を手で触れないように注意してください。

- 1 「ルーフカバーの取り外し」の手順でルーフカバーを取り外す (P.52)

2 スタビライザをたたみ込み、本体を左側面が上になるように、ゆっくり横に倒す

3 増設RAMサブボードを、切り欠きAの位置と誤挿入防止機構の位置を確認し、増設RAMサブボード用コネクタに垂直に差し込む
スロット# 1、# 2、# 3 の順番に取り付けてください。

✓チェック!! 増設RAMサブボードには向きがあります。逆には差さらないようになっていますが、向きをまちがえたまま無理に差し込むと故障の原因になりますので注意してください。



4 左右2カ所のレバーが切り欠きBに掛るように、増設RAMサブボードをしっかりと押し込む

5 静かに本体を縦置きに戻し、スタビライザを引き出す

6 ルーフカバーを取り外したときと逆の手順で取り付ける

メモリ容量の確認方法

Windows 95を起動し、デスクトップ上で「マイコンピュータ」を右クリックし、「プロパティ」を選択してください。「システムのプロパティ」の「全般」タブの中にメモリの容量が表示されます。

✓チェック!! メモリを増設した場合、初期化のため、電源投入後ディスプレイの画面が表示されるまで時間がかかることがあります。(384MB 実装時で30秒程度)

表示されたメモリ容量が正しくない場合は、メモリが正しく取り付けられているか、本機で使えるメモリを取り付けているかを確認してください。

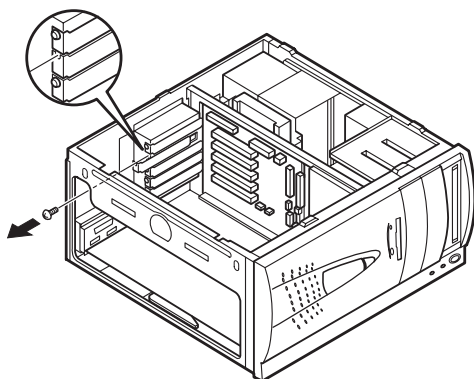
PCI ボードの取り付け

PCI スロットには、SCSI インタフェースなどのPCI ボードを取り付けることができます。ただし、LAN が標準で取り付けられているPCI スロット#1には取り付けられません。

✓チェック!! アクセラレータボードや地上波データ放送/TV 受信ボードを取り付ける場合は、PCI スロット #3 に取り付けてください。

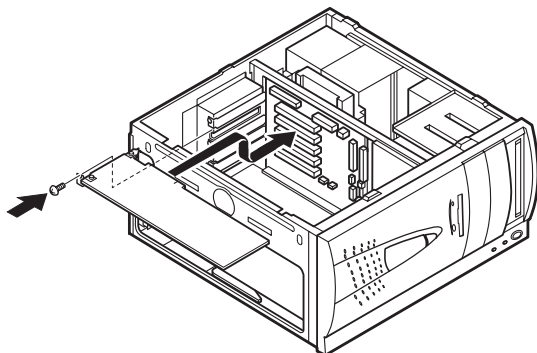
PCI ボードの取り付け

- 1 「ルーフカバーの取り外し」の手順でルーフカバーを取り外す (P.52)
- 2 スタビライザをたたみ込み、本体を左側面が上になるように、ゆっくり横に倒す
- 3 「アンダーカバーの取り外し」の手順でアンダーカバーを取り外す (P.57)
- 4 PCI スロットのネジを 1 本外し、PCI スロットカバーを引き抜く



PCI スロット#2 に横幅が約 17 cm(ハーフサイズ)以上の PCI ボードを取り付ける場合は、マザーボードを途中まで取り外すと作業がしやすくなります。
→ 「マザーボードの取り外しと取り付け」(P.63)

5 PCI ボードを取り付ける



6 手順4で取り外したネジを取り付ける

7 アンダーカバーを取り外したときと逆の手順で取り付ける

8 静かに本体を縦置きに戻し、スタビライザを引き出す

9 ルーフカバーを取り外したときと逆の手順で取り付ける

マザーボードの取り外しと取り付け

PCI スロット#2 に、横幅が約 17 cm(ハーフサイズ)以上の PCI ボードを取り付ける場合に、作業をしやすいするため、マザーボードを途中まで取り外します。

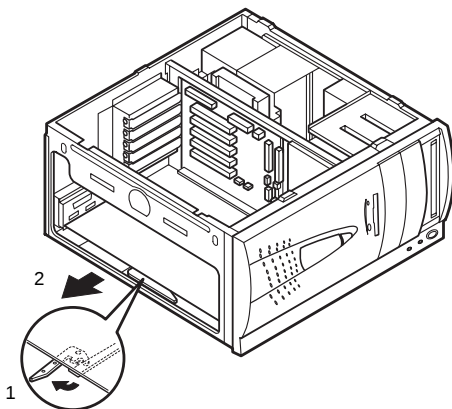
- ✓ **チェック!!** マザーボードは、静電気に大変弱い部品です。身体に静電気を帯びた状態でマザーボードに触れると、ボードが破損する原因となります。ボードに触れる前に、身近な金属(アルミサッシやドアのノブなど)に手を触れて、身体の静電気を取り除くようにしてください。

マザーボードの取り外し

1 マザーボードに付いているレバーを回し、マザーボードの固定を外す

✓**チェック!!** マザーボードを引くとき、ケーブル等がマザーボードに引っかからないよう注意してください。マザーボードを引いた時、マザーボードの端子部分や部品をさわらないように注意してください。

2 マザーボードを引く

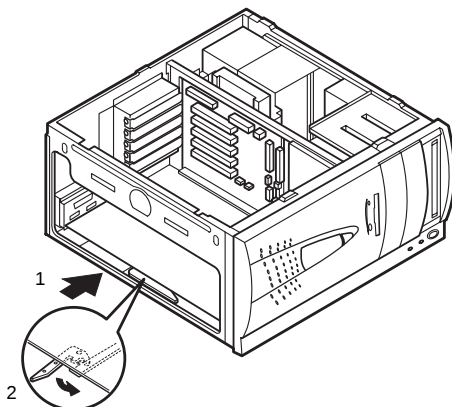


マザーボードの取り付け

✓**チェック!!** マザーボード上の部品(CPU やメモリボードなど)を押さないでください。

1 両脇のレール(溝)に合わせて、ゆっくり静かにマザーボードを差し込む

2 マザーボードが奥まで入ったら、マザーボードのレバーを回してマザーボードを固定する



ファイルベイ用内蔵機器の増設

増設前の確認

スロットの種類と数

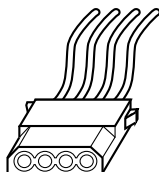
- ・本機は、増設用のファイルベイとして、内蔵 3.5 インチベイを 1 スロット、5 インチベイを 3 スロット (1 スロットは CD-ROM ドライブが実装済) 装備しています。

電源ケーブル

- ・ファイルベイ用の電源ケーブルは 2 種類あり、本体に装備されています。

電源ケーブルコネクタ (大) 3 本

- ・内蔵 3.5 インチベイ用
- ・5 インチベイスロット # 2 用
- ・5 インチベイスロット # 3 用



電源ケーブルコネクタ (小) 1 本 (5 インチベイ用)



信号ケーブル

- ・信号ケーブルは、別売になっていますので、増設する場合にご購入ください。

ドライブの設定

- ・標準で内蔵されているハードディスクドライブ、CD-ROMドライブ、フロッピーディスクドライブの設定は次の様になっていますので、ファイルベイに増設する内蔵機器のマニュアルをご覧のうえ、正しく設定してください。

- ・ハードディスクドライブ Master (Slave への変更は不可)
- ・CD-ROMドライブ Master (Slave への変更は不可)
- ・フロッピーディスクドライブ ユニットアドレス = 0 (0 以外への変更は不可)

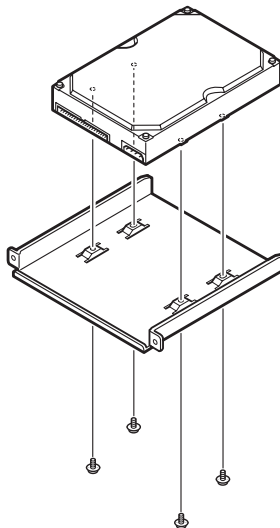
■ 内蔵 3.5 インチベイ

内蔵 3.5 インチベイには、ハードディスクドライブなどを増設して容量を増やすことができます。

ハードディスクドライブの増設

-  **チェック!!** ここからは、増設用ハードディスクドライブのマニュアルをいっしょに見ながら増設してください。

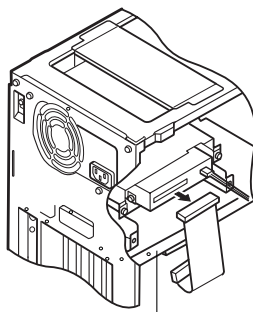
- 1** 増設用ハードディスクドライブに添付されているブラケットとネジ4本をハードディスクドライブに取り付ける
すでに取り付けられている場合もあります。



- 2** 「ルーフカバーの取り外し」の手順でルーフカバーを取り外す
(P.52)

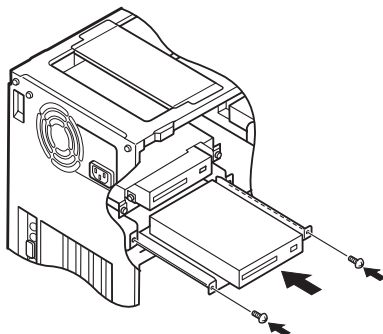
チェック!! SCSI インタフェース機器を増設する場合は、手順4へ進んでください。

- 3** 標準で内蔵されているハードディスクドライブ、およびライザボード上のコネクタから信号ケーブルのコネクタを慎重に抜き、信号ケーブルを取り外す



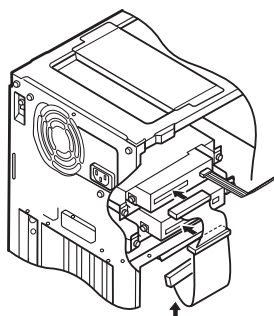
ライザボード

- 4** 増設用ハードディスクドライブを内蔵3.5インチベイに挿入し、増設用ハードディスクドライブに添付されているネジ2本で固定する



チェック!! SCSIインタフェース機器を増設する場合は、増設用ハードディスクドライブおよびSCSIケーブルのマニュアルに従い信号ケーブルの接続を行い、手順6へ進んでください。

- 5** 標準で内蔵されているハードディスクドライブと増設用ハードディスクドライブ、およびライザボード上のコネクタに増設用ハードディスクドライブに添付されている信号ケーブルのコネクタをしっかりと差し込む



- 6** 標準で内蔵されているハードディスクドライブの電源ケーブルから分岐している電源ケーブル(電源ケーブルコネクタ(大))を増設用ハードディスクドライブのコネクタに接続する

7 ルーフカバーを取り外したときと逆の手順で取り付ける

増設したハードディスクドライブを確認する

ハードディスクドライブにはフォーマットが必要なものもあります。ハードディスクのフォーマット方法は、増設用ハードディスクドライブのマニュアルをご覧ください。増設したハードディスクドライブは、例えば次のような方法で確認することができます。

1 本機の電源を入れ、Windows 95 を起動する

2 Windows 95のデスクトップの画面の「マイコンピュータ」をダブルクリック

増設した分だけ、ハードディスクアイコンも増えて表示されています。また、増設したハードディスクドライブが一つでも、フォーマットする際に、ハードディスクを分割した場合は、その分だけハードディスクアイコンが増えています。増設したハードディスクドライブに、領域が一つも確保されていない場合は、「マイコンピュータ」のドライブアイコンは増えません。

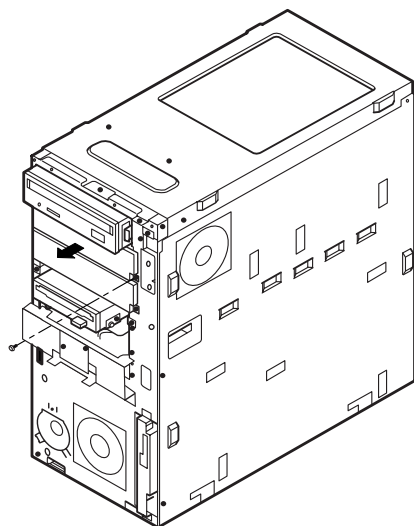
■ 5 インチベイ

5 インチベイ用内蔵機器の増設

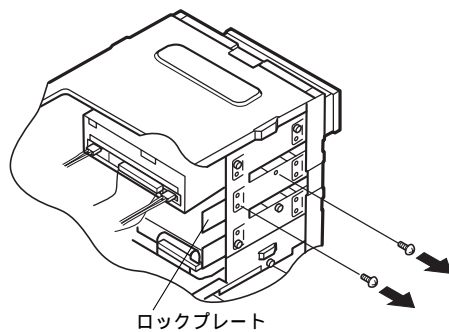
1 「ルーフカバーの取り外し」の手順でルーフカバーを取り外す
(P.52)

2 「フロントマスクの取り外し」の手順でフロントマスクを取り外す
(P.54)

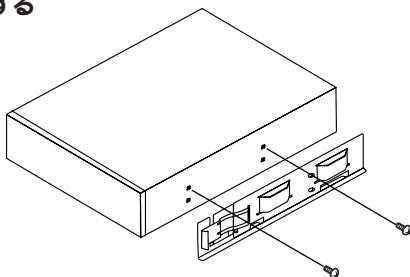
3 ネジ1本を外して、本体内部のカバーを取り外す



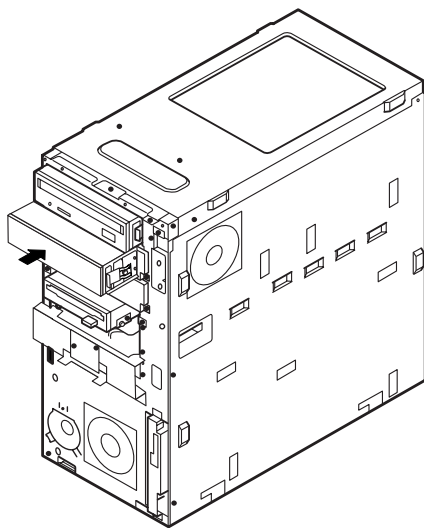
4 ネジ2本を外して、ロックプレートを取り外す



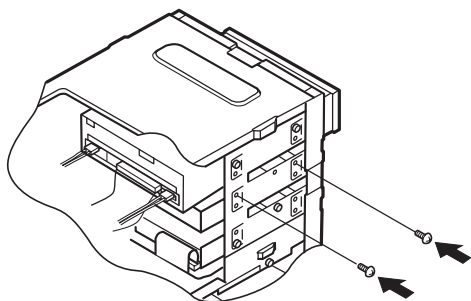
- 5** ロックプレートを、5 インチベイ用内蔵機器に添付されているネジ 2 本で固定する



- 6** 5 インチベイ用内蔵機器を、カチッと音がするまで挿入する

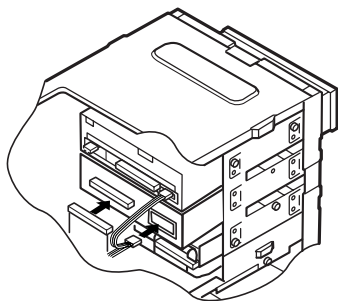


- 7** 5インチベイ用内蔵機器の側面を、手順4で外したネジ2本で固定する



- 8** 5インチベイ用内蔵機器に添付されている信号ケーブル、装置に装備されている電源コネクタを接続する

✓**チェック!!** 接続方法は、5インチベイ用内蔵機器のマニュアルをご覧ください。



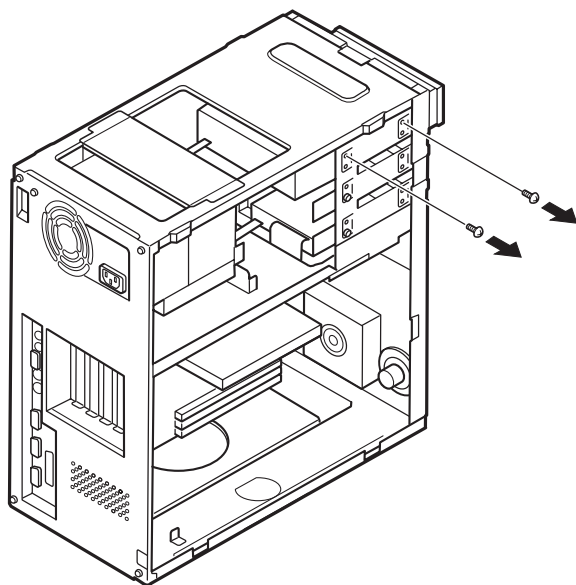
電源コネクタ(大)をスロット#2で使用する場合は、図の様に接続してください。

- 9** リムーバブルファイルを増設する場合は、「ファイルベイカバーの取り外し」の手順でファイルベイカバーを取り外す(P.56)
- 10** フロントマスクを、取り外したときの逆の手順で取り付ける
- 11** ルーフカバーを、取り外したときの逆の手順で取り付ける

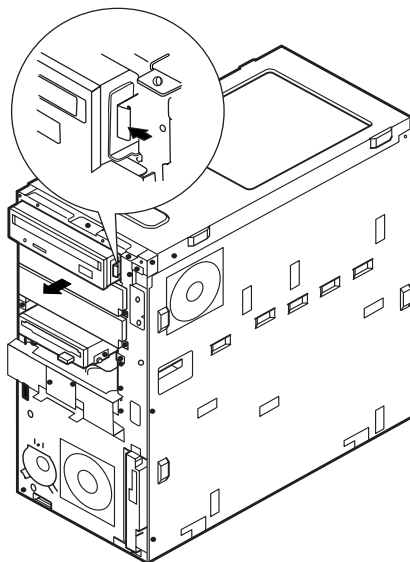
CD-ROMドライブの取り外し

本体に標準で装備されているCD-ROMドライブを取り外して、他のファイルベイ用内蔵機器などに交換することができます。

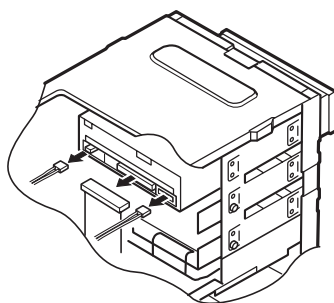
- 1 「ルーフカバーの取り外し」の手順で、ルーフカバーを取り外す
(P.52)
- 2 「フロントマスクの取り外し」の手順で、フロントマスクを取り外す
(P.54)
- 3 CD-ROMドライブを固定しているネジ2本を取り外す



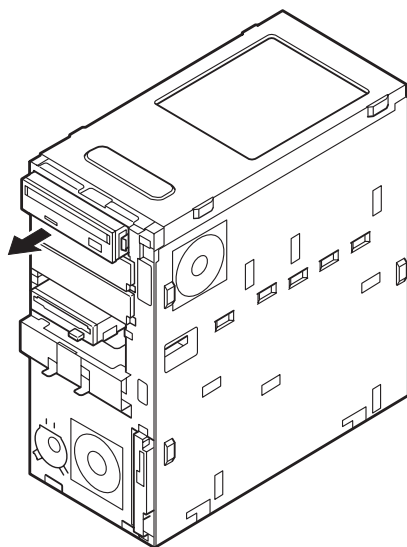
- 4** CD-ROMドライブの右側のレバーを内側に押しながらCD-ROMドライブを半分ほど引き出す



- 5** CD-ROMドライブの信号ケーブル、オーディオケーブル、電源ケーブルを取り外す

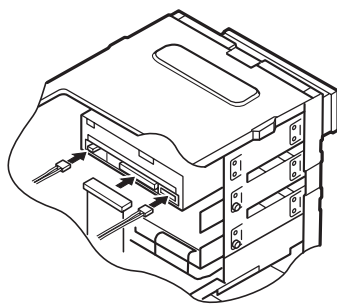


6 CD-ROMドライブを引き抜く

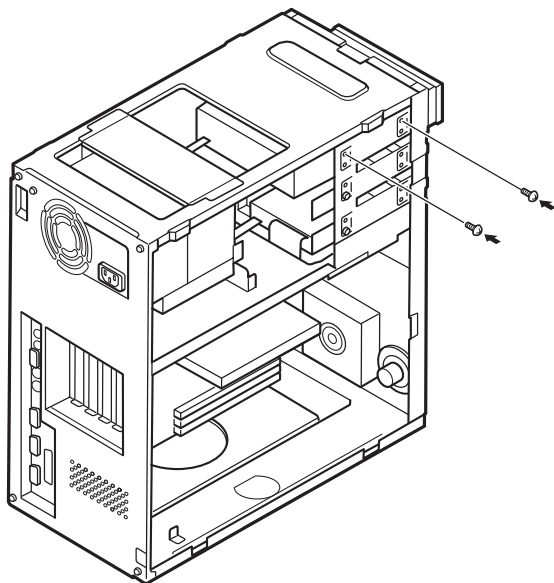


CD-ROMドライブの取り付け

- 1 CD-ROMドライブをファイルベイに半分ほど挿入する
- 2 CD-ROMドライブの信号ケーブル、オーディオケーブル、電源ケーブルを接続する



- 3** CD-ROMドライブをカチッと音がするまで押し込み、側面をネジ2本で固定する



- 4** フロントマスクを取り外したときと逆の手順で取り付ける

- 5** ルーフカバーを取り外したときと逆の手順で取り付ける

CPU の取り外しと取り付け

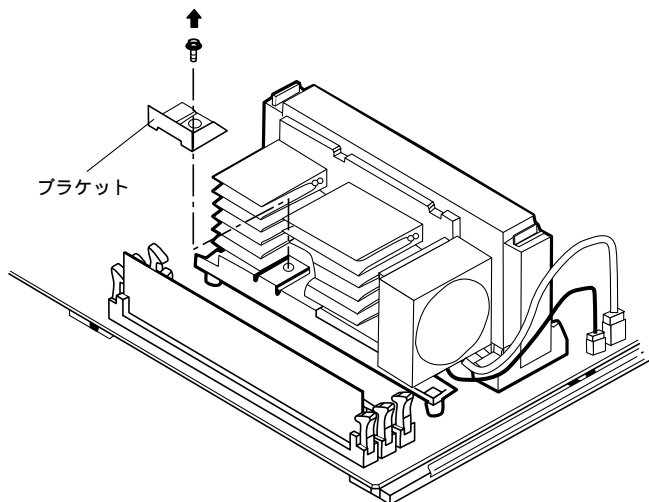
✓チェック!! CPU は、静電気に大変弱い部品です。身体に静電気を帯びた状態でCPUを扱うと、CPU が破損する原因となります。CPU に触れる前に、身近な金属（アルミサッシやドアのノブなど）に手を触れて、身体の静電気を取り除くようにしてください。また、CPUを持つときは端子の部分を手で触れないように注意してください。

CPU の取り外し

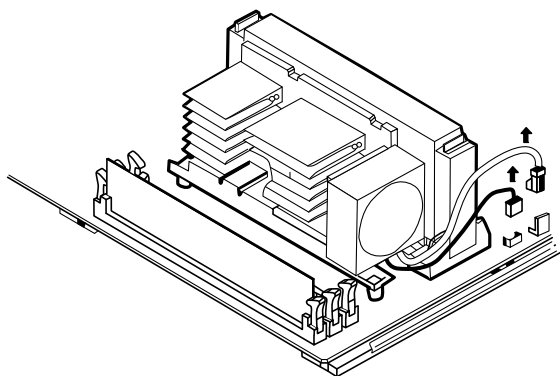
- 1** 「ルーフカバーの取り外し」の手順で、ルーフカバーを取り外す (P.52)

2 スタビライザをたたみ込み、本体を左側面が上になるように、ゆっくり横に倒す

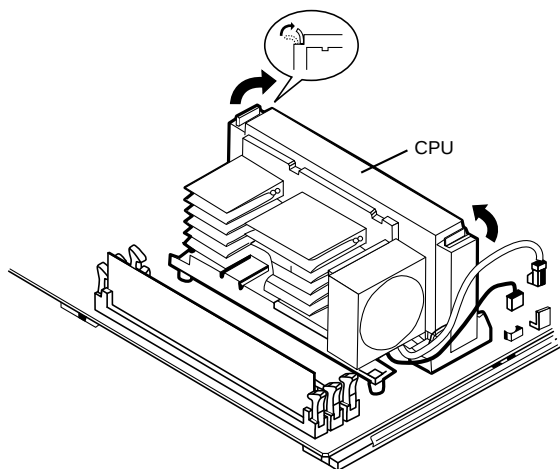
3 ネジを1本外し、ブラケットを外す



4 FAN ケーブルコネクタ、温度センサーコネクタを抜く

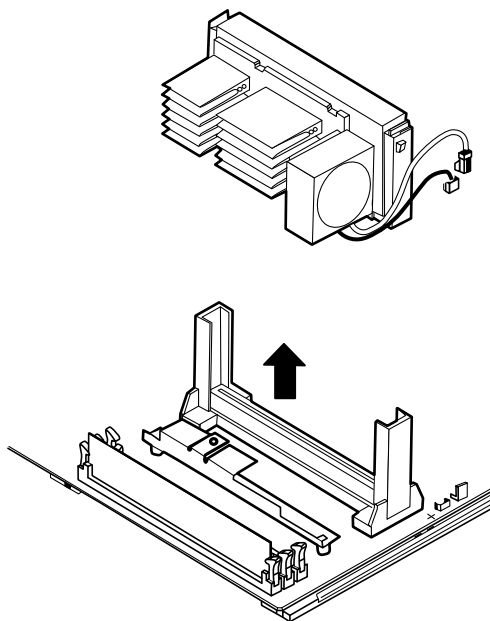


- 5** CPU の両側のレバーを、カチッと音がして、レバーが下図のような状態を保つまで内側に倒す
ロックが解除されます。



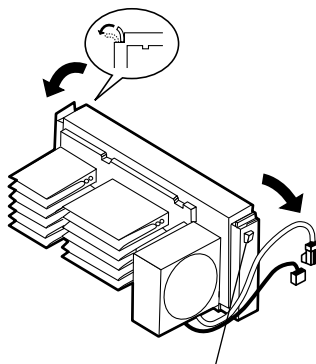
- ✓チェック!!** ・CPU のレバーには、無理な力をかけないでください。
・CPU の分解（ヒートシンクの取り外しなど）は絶対に行わないでください。

6 CPU を引き抜く



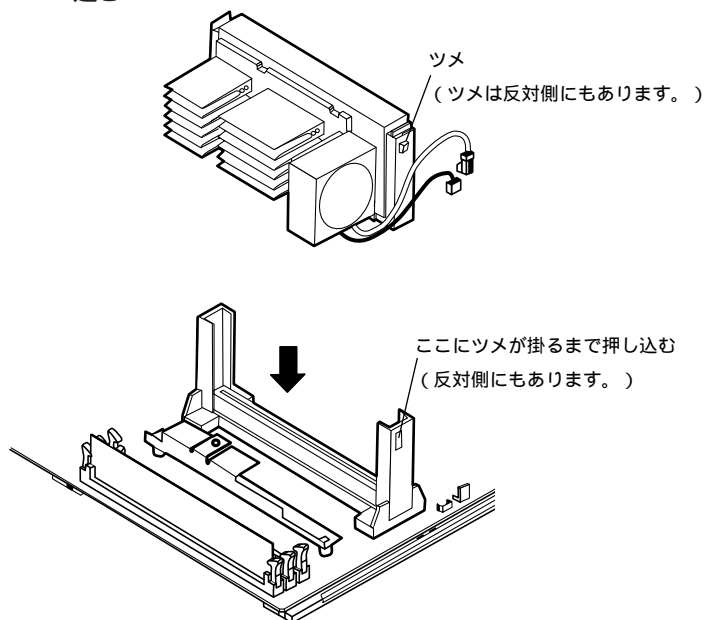
CPU の取り付け

- 1 CPU の両側にあるツメ2 カ所が外側に出ていることを確認する
(ツメが外側に出ていない場合はCPU のレバーを矢印の方向に動かして、外側に出ている状態にする)

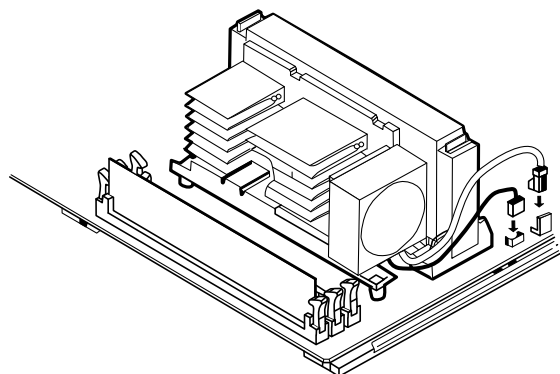


ツメ (ツメは反対側にもあります。)

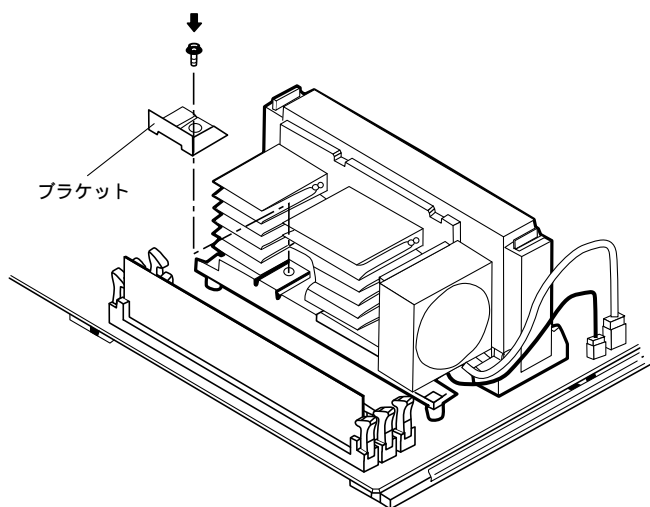
2 CPU をレールに沿って挿入し、両側にあるツメが掛かるまで押し込む



3 CPUに付いているFANケーブルコネクタ、温度センサーコネクタをマザーボードに接続する



4 ネジ1本で、ブラケットを固定する



5 静かに本体を縦置きに戻し、スタビライザを引き出す

6 ルーフカバーを取り外したときと逆の手順で取り付ける

システム設定

この章では、BIOS セットアップユーティリティについて説明します。BIOS セットアップユーティリティは、セキュリティ、省電力など本機の使用環境を設定することができます。

この章の内容

BIOS セットアップユーティリティについて	84
パスワードの設定	95

BIOS セットアップユーティリティについて

本機には、使用環境を設定するためのアプリケーションとしてBIOS セットアップユーティリティがインストールされています。BIOSセットアップユーティリティを使って、セキュリティ、デバイス、省電力などの設定を簡単に行うことができます。

BIOS セットアップユーティリティで設定できること

- ・セキュリティ
パスワード、I/Oロックの設定
- ・デバイス
IDE デバイス、フロッピーディスクドライブ(FDD)、通信、キーボードなどのデバイス設定
- ・省電力
パワーマネージメント、スリープ、レジュームの設定
- ・起動
起動デバイスの起動順位の設定



チェック!!

- ・BIOSセットアップユーティリティ動作時に「BIOS設定情報が不正です」を表示した場合、一度電源を切り、再度電源を入れた直後に表示される「NEC」のロゴの画面で【F2】を押し、キーの説明が表示されましたら、次に【F9】を押して、工場出荷時の設定にした後、再度BIOSセットアップユーティリティにて設定を変更してください。尚、BIOSセットアップユーティリティで設定したパスワードは工場出荷時の設定に戻りません。
- ・BIOSセットアップユーティリティで変更した設定は、システム再起動後に有効となります。
- ・「スーパーバイザーパスワード」、「ユーザーパスワード」が設定されている場合、本ユーティリティ起動時にもパスワードの入力が必要となります。また、「ユーザーパスワード」で起動した場合、後述の「設定項目一覧」で（ ）マークがついている項目を変更することはできません。
スーパーバイザーパスワード、ユーザーパスワード→「パスワードの設定」(P.95)

BIOS セットアップユーティリティを使う

BIOS セットアップユーティリティを起動する

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」→「BIOS セットアップユーティリティ」をクリック
「BIOS セットアップユーティリティ」が起動します。



BIOS セットアップユーティリティを操作する

- 1 「セットアップ」メニューをクリックし、設定したい項目をクリック
ツールバーから設定したい項目のアイコンをクリックして設定画面を表示させることもできます。
- 2 設定画面が表示されたら、各項目の設定を変更する
各項目の設定について詳しくは、設定項目一覧をご覧ください。
- 3 設定が終了したら「OK」ボタンをクリック
- 4 更新するかどうかメッセージが表示されたら、「OK」ボタンをクリック
- 5 設定したい項目をすべて設定したら、「ファイル」メニューをクリックして「設定の保存と再起動」または「アプリケーションの終了」をクリック

チェック!! BIOSセットアップユーティリティで設定した内容は、本機を再起動したあと有効になります。

設定項目一覧

- ✓ **チェック!!** ・各設定項目に関する詳しい説明はヘルプをご覧ください。
- ・表内の網かけ部分()は、工場出荷時の設定です。
 - ・表の右欄に、()マークのついている設定項目は、スーパーバイザーパスワードで起動した場合のみ変更可能です。
- スーパーバイザーパスワードを設定しない場合は、変更可能です。

セキュリティの設定

メニューバーの「セットアップ」→「セキュリティ」を選ぶか、ツールバーの「セキュリティ」のアイコンをクリックして設定画面を開きます。

■ パスワード

設 定 項 目	設 定 内 容	説 明
スーパーバイザーパスワード		スーパーバイザーパスワードを入力します。 ()
ユーザーパスワード		ユーザーパスワードを入力します。
起動時パスワード確認	確認しない / 確認する	起動時にパスワードを確認するかどうかを設定します。

パスワードの設定方法 → 「パスワードの設定」(P.95)

■ I/O ロック

MA30D/M、MA23D/M の場合

設 定 項 目	設 定 内 容	説 明
F D D インターフェース	ロックする / ロックしない	FDD インターフェースの I/O をロックするかどうかを設定します。
I D E インターフェース	ロックする / ロックしない	IDE インターフェースの I/O をロックするかどうかを設定します。
シリアルポート(A)	ロックする / ロックしない	シリアルポート(A)の I/O をロックするかどうかを設定します。
シリアルポート(B)	ロックする / ロックしない	シリアルポート(B)の I/O をロックするかどうかを設定します。
パラレルポート	ロックする / ロックしない	パラレルポートの I/O をロックするかどうかを設定します。

MA33D/M の場合

設 定 項 目	設 定 内 容	説 明
F D D インターフェース	ロックする / ロックしない	FDD インターフェースの I/O をロックするかどうかを設定します。
IDE インターフェース (プライマリ)	ロックする / ロックしない	IDE インターフェース(プライマリ)の I/O をロックするかどうかを設定します。IDE インターフェース(セカンダリ)を「ロックする」に設定した場合のみ設定可能となります。
IDE インターフェース (セカンダリ)	ロックする / ロックしない	IDE インターフェース(セカンダリ)の I/O をロックするかどうかを設定します。
シリアルポート(A)	ロックする / ロックしない	シリアルポート(A)の I/O をロックするかどうかを設定します。
シリアルポート(B)	ロックする / ロックしない	シリアルポート(B)の I/O をロックするかどうかを設定します。
パラレルポート	ロックする / ロックしない	パラレルポートの I/O をロックするかどうかを設定します。

 **チェック!!** IDE インタフェースをロックすると、IDE デバイス(ハードディスクドライブ、CD-ROMドライブなど)が使用できなくなります。その場合、電源を入れた直後に表示される「NEC」のロゴの画面で、【F2】を押し、キーの説明が表示されましたら、次に【F9】を押して工場出荷時の設定に戻してください。

デバイスの設定

メニューバーの「セットアップ」→「デバイス」を選ぶか、ツールバーの各デバイスをクリックして設定画面を開きます。

■ IDE デバイス

プライマリマスタ、プライマリスレーブ、セカンダリマスタ、セカンダリスレーブの各 IDE デバイスについて、以下の設定を行います。

 **チェック!!** IDE デバイス(ハードディスクドライブ、CD-ROMドライブなど)のデバイスタイプ、シリンダ数などは通常は自動的に認識し、設定しています。次の設定項目(「32Bit モード」除く)を限定させるような、特殊な使い方をする IDE デバイス、アプリケーションソフトを使用しないかぎり、自動設定のままでも問題ありません。手動設定を行う必要がある場合は、電源を入れた直後に表示される「NEC」ロゴの画面で【F2】を押し、次に【→】を押し、「BIOS セットアップメニュー」を立ち上げて設定変更してください。

設 定 項 目	設 定 内 容	説 明
BLK モード設定	有効 / 無効	BLK モードを有効にするか無効にするかを設定します。
BLK モード	2セクタ転送 / 4セクタ転送 / 8セクタ転送 / 16セクタ転送	何セクタ単位で転送するかを設定します。
転送モード	FastPIO1 / FastPIO2 / FastPIO3 / FastPIO4 / Standard	転送モードを設定します。
32Bit モード	有効 / 無効	32Bit モードを有効にするか無効にするかを設定します。
LBA モード	有効 / 無効	LBA モードを有効にするか無効にするかを設定します。
UltraDMA 設定	有効 / 無効	UltraDMA を有効にするか無効にするかを設定します。
UltraDMA	モード0 / モード1 / モード2	UltraDMA モードを設定します。

■ FDD

設 定 項 目	設 定 内 容	説 明
フロッピーディスクドライブ	使用しない / 使用する	フロッピーディスクドライブを使用するかどうかを設定します。
タイプ	360KB5.25 "/720KB3.5 "/ 1.2MB5.25 "/1.44MB3.5 "	フロッピーディスクドライブのモードを設定します。

■ 通信

シリアルポート(A)

設 定 項 目	設 定 内 容	説 明
設定方法	使用しない / 手動設定 / 自動設定 / OS が設定	設定方法を指定します。「手動設定」を選んだ場合のみ I/O アドレス、割り込みレベルの設定が必要です。「OS が設定」を指定すると OS にその処理をまかせます。
I/O アドレス	2E8h/3F8h/2F8h/3E8h	I/O アドレスを設定します。
割り込みレベル	IRQ3/IRQ4	割り込みレベルを設定します。

シリアルポート(B)

設 定 項 目	設 定 内 容	説 明
設定方法	使用しない / 手動設定 / 自動設定 / OS が設定	設定方法を指定します。「手動設定」を選んだ場合のみ I/O アドレス、割り込みレベル、モードの設定が必要です。「OS が設定」を指定すると OS にその処理をまかせます。
I/O アドレス	2E8h/3F8h/2F8h/3E8h	I/O アドレスを設定します。
割り込みレベル	IRQ3/IRQ4	割り込みレベルを設定します。
モード	ノーマル / IrDA/ASK-IR	シリアルポート(B)を赤外線通信で使用する場合、赤外線通信の規格に応じてモードを変更します。

■ パラレルポート

- ・表内の工場出荷時の設定は、MA33D/M の場合を示してあります。
MA30D/M、MA23D/M の工場出荷時の設定は、「設定方法」が「自動設定」になっています。

設 定 項 目	設 定 内 容	説 明
設定方法	使用しない / 手動設定 / 自動設定 / OS が設定	設定方法を指定します。「手動設定」を選んだ場合のみ I/O アドレス、割り込みレベル、モードの設定が必要です。「OS が設定」を指定すると OS にその処理をまかせます。
I/O アドレス	378h / 278h / 3BCh	I/O アドレスを設定します。
割り込みレベル	IRQ5 / IRQ7	割り込みレベルを設定します。
モード	ECP / 双方向 / 出力のみ	出力モードを設定します。
ECP モード DMA チャンネル	DMA#0 / DMA#1 / DMA#2 / DMA#3	「モード」設定で ECP モードを設定した場合、ここで DMA チャンネルの状態を設定します。

■ キーボード

設 定 項 目	設 定 内 容	説 明
起動時の Num Lock	使用しない / 使用する / 自動設定	起動時に Num Lock を有効にするかどうかを設定します。自動を選ぶとシステムが自動的に状態の設定を行います。

■ システムデバイス

設 定 項 目	設 定 内 容	説 明
日付設定	(日付設定)	日付を設定します。
時刻設定	(時刻設定)	時刻を設定します。
設定方法	使用しない / 手動設定 / 自動認識	PCI 割り込み 1 ~ 4 の設定方法を指定します。「手動設定」を選んだ場合のみ、PCI 割り込み 1 ~ 4 の設定が必要です。
PCI 割り込み 1 ~ 4	IRQ3/IRQ4/IRQ5/IRQ7/ IRQ9/IRQ10/IRQ11/ IRQ12/IRQ14/IRQ15/	PCI デバイスの割り込みを設定します。

☑ **チェック!!** PCI スロット # 1 ~ # 4 の割り込みは、「PCI 割り込み 1 ~ 4」で設定した値になります。

また、PCI スロット # 5 の割り込みは、PCI スロット # 1 の割り込みとシェアリングして使用するため、「PCI 割り込み 1」と同じ値になります。

省電力の設定

メニューバーの「セットアップ」→「省電力」をクリックするか、ツールバーの「省電力」のアイコンをクリックして設定画面を開きます。

■ パワーマネージメント

 **チェック!!** 「コントロールパネル」→「パワーマネージメント」で「Windows でコンピュータの電源管理をする」のチェックボックスをオフに変更しないでください。変更すると、サスペンド/レジューム後、USBキーボード及びマウスが動作しなくなります。

設 定 項 目	設 定 内 容	説 明
パワーマネージメント	使用しない / 使用する	省電力(パワーマネージメント)機能を使用するかどうか設定をします。「使用する」を選んだときのみ以降の設定が可能になります。
設定方法	動作時間優先 / 動作性能優先 / ユーザー設定	パワーマネージメントタイプを選びます。「ユーザー設定」を選んだ場合のみ、以降の項目を設定できます。「動作時間優先」を選ぶと消費電力をおさえる設定になります。「動作性能優先」を選ぶと電力消費より性能を優先した設定になります。
自動スリープ制御 / 開始時間	使用しない / 使用する→自動スリープ開始時間: 5分 / 10分 / 15分 / 20分 / 30分 / 40分 / 60分	「使用する」を選んだ場合、開始時間を設定します。コンピュータが動作しない状態になってから設定した時間が経過するとスリープします。
HDD モータ制御 / 開始時間	使用しない / 使用する→HDD モータ制御開始時間: 10秒 / 15秒 / 30秒 / 45秒 / 1分 / 2分 / 4分 / 6分 / 8分 / 10分 / 15分	「使用する」を選んだ場合、開始時間を設定します。ハードディスクへのアクセスがなくなってから設定した時間が経過するとハードディスクのモータを停止します。

■ スリープ

設 定 項 目	設 定 内 容	説 明
スリープボタン	使用しない / 使用する	本機のスリープボタンの機能を使用するかどうかを設定します。

 **チェック!!** 「スリープボタン」を「使用しない」にする場合は、「自動スリープ制御 / 開始時間」を[使用しない]に設定してください。

■ レジューム

設 定 項 目	設 定 内 容	説 明
入力デバイスでレジューム	使用しない / 使用する	入力デバイスでレジュームをするかどうか設定します。

システムディスクの起動順位の設定

メニューバーの「セットアップ」→「起動」を選ぶか、ツールバーの「起動」のアイコンをクリックして設定画面を開きます。

設 定 項 目	設 定 内 容	説 明
起動順位	ハードディスク / CD-ROM / ネットワーク / リムーバブルメディアデバイス	システムを起動するディスク装置の順番を指定します。起動順位1に指定したディスク装置から順番に起動されます。

工場出荷時の設定では、リムーバブルメディアデバイス→ハードディスク→CD-ROM → ネットワークの順に設定されています。

パスワードの設定

本機の電源を入れたとき、パスワードを設定することができます。これによりパスワードを知らない部外者からデータを守ることができます。

BIOSセットアップユーティリティでは、スーパーバイザーパスワードとユーザーパスワードの2種類のパスワードを設定することができます。スーパーバイザーパスワードはコンピュータ管理者のためのもので、コンピュータ管理者以外の人が不用意にシステム環境を変更できないようにすることができます。

パスワードに使用できる文字と記号について

半角英数字がパスワードとして使用できます。パスワードは7文字以内でなければなりません。

使用できる文字や記号

半角英字	A-Z(a-z は A-Z と同じ)
半角数字	0-9

✓ **チェック!!** パスワード入力時はテンキーを使用しないでください。

スーパーバイザーパスワードの設定

スーパーバイザーパスワードの登録

次の手順でスーパーバイザーパスワードを登録します。

- 1 メニューバーの「セットアップ」→「セキュリティ」をクリック
「パスワード」のウィンドウが表示されます。
- 2 「スーパーバイザーパスワード」の「設定」をクリック
「パスワード設定」ウィンドウが表示されます。
- 3 「パスワード」に用意した7文字以内のスーパーバイザーパスワードを入力する
- 4 「パスワードの確認」にもう一度同じパスワードを入力する
- 5 入力したら「OK」ボタンをクリック

スーパーバイザーパスワードの変更

次の手順でスーパーバイザーパスワードを変更します。

- 1 メニューバーの「セットアップ」→「セキュリティ」をクリック
「パスワード」ウィンドウが表示されます。
- 2 「スーパーバイザーパスワード」の「設定」をクリック
「パスワード設定」ウィンドウが表示されます。
- 3 「古いパスワード」に今まで使っていたスーパーバイザーパスワードを入力する
このとき入力をまちがえると、エラーメッセージが出て、パスワード入力画面が再び表示されます。パスワードの入力をやり直してください。
- 4 「新しいパスワード」に変更したスーパーバイザーパスワードを入力する
- 5 「パスワードの確認」にもう一度「新しいパスワード」を入力した
ものと同じパスワードを入力する
- 6 入力したら「OK」ボタンをクリック

ユーザーパスワードの設定

ユーザーパスワードの登録

次の手順でユーザーパスワードを登録します。

 **チェック!!** ユーザーパスワードは、スーパーバイザーパスワードを設定しないと設定できません。

- 1 メニューバーの「セットアップ」→「セキュリティ」をクリック
「パスワード」のウィンドウが表示されます。
- 2 「ユーザーパスワード」の「設定」をクリック
「パスワード設定」ウィンドウが表示されます。
- 3 「パスワード」に用意した7文字以内のユーザーパスワードを入力する

4 「パスワードの確認」にもう一度同じパスワードを入力する

5 入力したら「OK」ボタンをクリック

ユーザーパスワードの変更

次の手順でユーザーパスワードを変更します。

1 メニューバーの「セットアップ」→「セキュリティ」をクリック
「パスワード」のウインドウが表示されます。

2 「ユーザーパスワード」の「設定」をクリック
「パスワード設定」ウインドウが表示されます。

3 「古いパスワード」に今まで使っていたユーザーパスワードを入力する
このとき入力をまちがえると、エラーメッセージが出て、パスワード入力画面が再び表示されます。パスワードの入力をやり直してください。

4 「新しいパスワード」に変更したユーザーパスワードを入力する

5 「パスワードの確認」にもう一度「新しいパスワード」に入力した
ものと同じパスワードを入力する

6 入力したら「OK」ボタンをクリック

パスワード設定時の注意

パスワードを設定し、「起動時パスワード確認」を「確認する」に設定すると、
本機の電源を入れるたびに「パスワードを入力してください」と表示されます。
このとき、次のようにパスワードを入力してください。

1 設定したパスワードを入力し、【Enter】を押す
テンキーは使用できません。

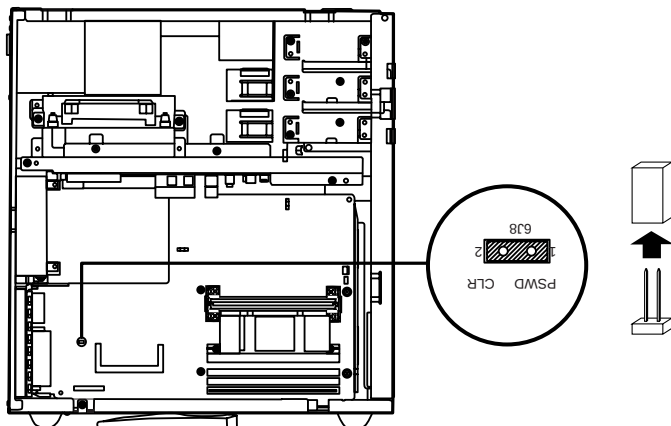
✓チェック!! ユーザーパスワードを入力して起動した場合は、フロッピーディスクドライブは使
用できません。

パスワードの解除

本機では、スーパーバイザーパスワードとユーザーパスワードを設定できます。これらのパスワードを忘れてしまった場合は、次の方法でパスワードを解除することができます。

パスワード解除は、本機内部のストラップスイッチを使います。解除方法は次のとおりです。

- 1 「ルーフカバーの取り外し」の手順で、ルーフカバーを取り外す（P.52）
- 2 ストラップスイッチのジャンパを次の図のように引き抜く
抜いたジャンパはなくさないように保管してください。



- 3 ルーフカバーを取り外したときと逆の手順で取り付ける
- 4 電源を入れ、Windows 95 を起動する

✓ **チェック!!** 必ずルーフカバーをつけたあとに電源を入れてください。

- 5 Windows 95 を終了し、電源を切る
- 6 「ルーフカバーの取り外し」の手順で、ルーフカバーを取り外す（P.52）

- 7 手順2で引き抜いたジャンパをストラップスイッチに差し込む
- 8 ルーフカバーを取り外したときと逆の手順で取り付ける

添付アプリケーションの概要 と削除 / 再追加

本機に標準でインストールされているアプリケーションの概要と削除方法および削除したアプリケーションの再追加方法について説明します。削除と再追加をする場合、Windows 95 およびインストールされているアプリケーションについての知識が必要になります。

この章の内容

この章の構成	102	PC-VAN ナビゲータ	138
知っておきたい便利な機能とツール	105	VirusScan	141
一太郎 Office8 (一太郎モデルのみ)	106	NEC Soft MPEG1.0	149
Word 97 / Excel 97 / Outlook 97		DMITool	152
(Word モデルのみ)	112	pcANYWHERE32 EX	156
一太郎 8			
(一太郎 8 & 1-2-3 97 モデルのみ)	116	Masty Data Backup	158
ロータス 1-2-3 97		CyberTrio-NX	160
(一太郎 8 & 1-2-3 97 モデルのみ)	120	CyberWarner-NX	164
Internet Explorer	124	AOL	170
インターネットエクスプローラ関連プログラム	131	NIFTY MANAGER for Windows95	174
Outlook Express (Mail & News)	134	Timer-NX	178
Microsoft NetMeeting	135	プレーヤ-NX	187
BIGLOBE Walker	136	英語モードフォントを使用する	190

この章の構成

この章では各アプリケーションの概要と削除、再追加について説明します。

ヘルプについて

- ✓ **チェック!!** ・各アプリケーションにはヘルプ機能があります。
 - ・用語、操作の方法や手順など、分からないことがおきたときに活用します。

ヘルプの起動方法

- 1 各アプリケーションのメニューバーにある「ヘルプ」をクリック
「ヘルプ」ウインドウが表示されます。

概要について

- ・アプリケーションの起動方法、主画面などについて概略を説明します。

削除について

- ・本機に標準でインストールされているアプリケーションの削除の手順を説明します。
- ・ご自分でインストールされたアプリケーションの削除については、そのアプリケーションに添付されたマニュアルをご覧ください。
- ・次のような場合にアプリケーションを削除してください。
 - ハードディスクの空き容量を増やしたい場合。
 - 通常使わないアプリケーションがある場合。
- ・一部のアプリケーションでは、次の「削除の準備」を行ってから削除します。

- ✓ **チェック!!** ・削除する場合は、ご利用にならないことをよくご確認の上、削除してください。
 - ・CD-ROMを使用して削除する場合は、終了後にCD-ROMをCD-ROMドライブから取り出してください。

削除の準備

- ・コントロールパネルを使って削除する場合は、以下の手順を行ってください。
- ・CD-ROMを使用する場合と、アプリケーションのアンインストール機能を使う場合は必要ありません。

- 1 Windows 95 を起動する
- 2 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリック
- 3 「コントロールパネル」の「アプリケーションの追加と削除」をダブルクリック
「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」が表示されます。
- 4 「セットアップと削除」を選ぶ

- ✓ **チェック!!** ・ 削除したとき、アプリケーションによってはフォルダおよびデスクトップやスタートメニューにショートカットが残る場合があります。その状態でも、本機を操作する上では支障ありません。
- ・アイコンを削除するには、各アプリケーションの削除方法にしたがって操作してください。

再追加について

- ・本機に標準でインストールされているアプリケーションを削除した後、再追加する場合の手順を説明します。
 - ・一部のアプリケーションでは、下記の「プロダクトの選択」を行ってから再追加します。
- ✓ **チェック!!** ・ 終了後にCD-ROMをCD-ROMドライブから取り出してください。
- ・一部のアプリケーションは、CyberTrio-NXでベーシックモードに移行されるとインストールできません。その場合はアドバンスモードに移行してから再追加を行ってください。→「CyberTrio-NX」(P.160)

プロダクトの選択

- ・アプリケーションCD-ROMを使用して追加する場合は、以下の手順を行ってください。
- ・各アプリケーションのCD-ROMを使用する場合は必要ありません。

- 1 Windows 95 を起動する
- 2 CD-ROM ドライブに本機に添付の「アプリケーション CD-ROM」をセットする
- 3 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリック
- 4 「コントロールパネル」の「アプリケーションの追加と削除」をダブルクリック
- 5 「セットアップと削除」を選ぶ
- 6 「セットアップ」ボタンをクリックし「フロッピーディスクまたはCD-ROM からのセットアップ」を起動する
- 7 「次へ」ボタンをクリック
- 8 「セットアッププログラムの実行」ウィンドウの「セットアッププログラムのコマンドライン」が「< CD-ROM ドライブ名 > : ¥NSETUP.EXE」となっていることを確認する
例 CD-ROM ドライブ名が Q の場合
Q:¥NSETUP.EXE
- 9 「完了」ボタンをクリック
「プロダクトの選択」が表示されます。

この後は、各アプリケーションの追加方法でアプリケーションの再追加を行ってください。

知っておきたい便利な機能とツール

機能

アプリケーション

- | | |
|-----------------------------|------------------------|
| ● 文章を作成する | Word 97・一太郎 8 |
| ● HTML を作成する | Word 97・一太郎 8 |
| ● 表計算する | Excel 97・三太郎8・1-2-3 97 |
| ● 予定やスケジュールを管理する | Outlook 97・FullBand |
| 住所録を作る | |
| ファイルを管理する | |
| 社内にメールを発信する | |
| ● インターネットへ接続する | Internet Explorer、 |
| ソフトをダウンロードする | BIGLOBE Walker、PC- |
| 電子メールを送受信する | VAN ナビゲータ、AOL、 |
| | NIFTY MANAGER、 |
| | Outlook Express |
| ● PC-VAN へオンラインで入会する | BIGLOBE Walker |
| ● AOL へオンラインで入会する | AOL |
| ● NIFTY へオンラインで入会する | NIFTY SERVE サインアップ |
| ● インターネットの情報を管理する | BIGLOBE Walker |
| ● コンピュータウイルスを検出して除去する | VirusScan |
| ● タイマー機能を使う | Timer-NX |
| ● 本機や本機に接続されているパソコンの | DMITool |
| 情報を管理する | |
| ● 遠隔地からパソコンを操作する | pcANYWHERE32 EX |
| ● ハードディスクをバックアップする | Masty Data Backup |
| ● 利用のレベルに合わせてOSの操作可能な | CyberTrio-NX |
| 範囲を設定する | |
| ● OS の動作に影響を与えるファイルを保護・監視する | CyberWarner-NX |
| ● 音楽CD、ビデオCDなどの音と画像を再生する | プレーヤ・NX |
| ● 海外製アプリケーションを利用する | 英語モードフォント |

一太郎Office 8 (一太郎モデルのみ)

概要

文章作成に一太郎8、表計算に三四郎8、情報管理にFullBandを使用します。

- ✓ **チェック!!**
- ・本機にセットアップされている一太郎Office8は、購入時の状態ではすべての機能を利用できるわけではありません。
使用できる機能を知りたい場合や機能を追加する場合は、添付の「一太郎Office8 セットアップ & オーバービュー」マニュアルをご覧ください。
 - ・本機に一太郎8バリューバックプラスはセットアップされていません。ご利用になる場合は、「バリューバックプラスセットアップ」マニュアルをご覧くださいの上、セットアップしてください。

起動方法

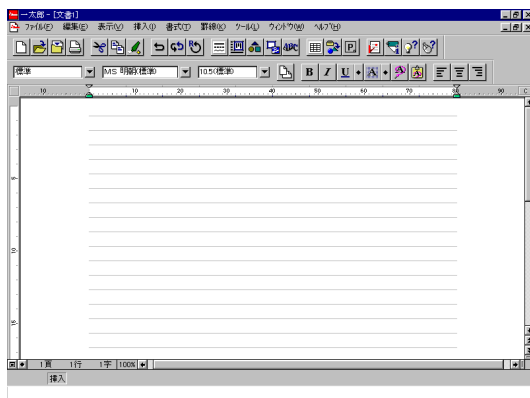
ここでは一太郎8で説明しています。三四郎8とFullBandは本文中の「一太郎8」をそれぞれに読み換えてください。

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「JUSTSYSTEM アプリケーション」の「一太郎 8 (三四郎 8/FullBand)」をクリック

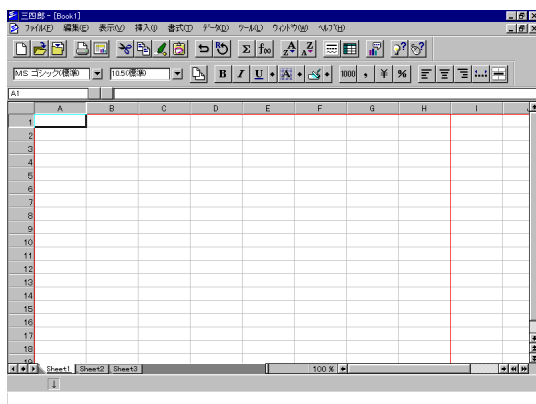
一太郎 8 (三四郎 8 / FullBand) のウィンドウが表示されます。

主画面

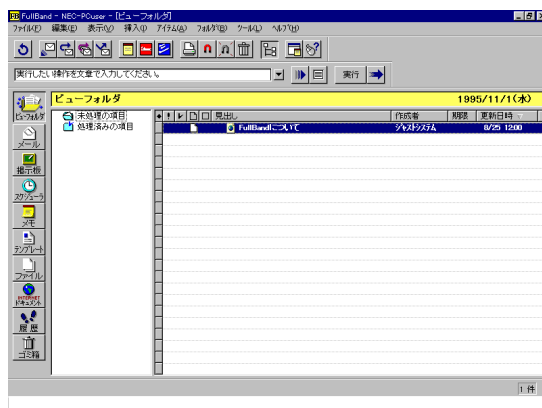
一太郎 8 の初期ウィンドウ



三四郎 8 の初期ウィンドウ



FullBand の初期ウィンドウ



削除

一太郎8が常駐している場合は、必ず常駐を解除してから削除してください。
常駐を解除する方法は次のとおりです。

☑ **チェック!!** 以下の手順を行っても、一部の機能は削除されません。一太郎 Office 8 以外にジャストシステム製アプリケーションを使用していない場合、すべての機能を削除するには手順 11 で「削除する」ボタンをクリックしてください。

- 1 一太郎 8 を起動する
- 2 表示された画面の左上にある「一太郎 8」アイコンを右クリック
- 3 表示されたメニューで「一太郎8の常駐」をクリックし、チェックをはずす

- 4 一太郎 8 を終了する

常駐の解除が確認できたら、次の手順で一太郎 Office8 を削除します。

- 5 「削除の準備」の手順 1 ~ 4 を実行(P.103)

- 6 「セットアップと削除」の一覧から「JUSTSYSTEM アプリケーションの追加と削除」をクリック(反転表示)し「追加と削除」ボタンをクリック
- 7 「一太郎 Office8 のセットアップ開始」と表示されたら「次へ」ボタンをクリック
- 8 「一太郎 Office8 の追加と削除」で「ファイルの追加・削除」を選び「次へ」ボタンをクリック
- 9 「Office8 のファイルを追加・削除します」で「ファイルの削除」を選び「次へ」ボタンをクリック
- 10 「削除するファイルを選択します」が表示されたら「全て選択」をクリックし、「次へ」ボタンをクリック
- 11 「ジャストシステム共通ファイル(32bit)も削除しますか?」と表示されたら「削除しない」ボタンをクリック
- 12 「ATOK11 を Windows や他のアプリケーションが使用しているためコンピュータを再起動するときに削除されます。」と表示されたら「OK」ボタンをクリック
- 13 「フォルダ名を確認してください 1/3」で「次へ」ボタンをクリック
- 14 「フォルダ名を確認してください 2/3」で「次へ」ボタンをクリック
- 15 「フォルダ名を確認してください 3/3」で「次へ」ボタンをクリック
- 16 「ファイルの削除を開始します」で「削除開始」ボタンをクリック
削除が始まります。
- 17 「一太郎 Office8 のセットアップ終了」で「再起動」ボタンをクリック

- 1 CD-ROMドライブに「一太郎バックアップCD-ROM」をセットする
- 2 「Welcome to JUSTSYSTEM」で「SETUP」をクリック
- 3 「一太郎 Office8 のセットアップ」で「セットアップ開始」ボタンをクリック
- 4 「使用許諾契約の確認」が表示されたら「確認」ボタンをクリック
- 5 「一太郎 Office8 のセットアップ開始」で「次へ」ボタンをクリック
- 6 「使用者名・法人名を登録します」が表示されたら必要事項を入力し「次へ」ボタンをクリック
- 7 「シリアルナンバー・UserIDを登録します」と表示されたら入力して「次へ」ボタンをクリック
- 8 「使用者名・シリアルナンバーの確認」で登録内容を確認し「登録する」ボタンをクリック
- 9 「セットアップの方法を選択します」が表示されます。ここでは「標準」を選び「次へ」ボタンをクリック
- 10 「標準モードでセットアップすると...」で「次へ」ボタンをクリック
- 11 「セットアップするフォルダを設定します」で「次へ」ボタンをクリック
- 12 「ファイルのコピーを開始します」で「コピー開始」ボタンをクリック
インストールが始まります。

- 13 「インターネットヘダイヤルアップで接続しますか？」で「いいえ」を選び「OK」ボタンをクリック
- 14 「JustNet に入会するには」で「確認」ボタンをクリック
- 15 「一太郎 Office8 のセットアップ終了」と表示されたら「再起動」ボタンをクリック

Word 97/Excel 97/Outlook 97 (Word モデルのみ)

概要

文章作成に Word 97、表計算に Excel 97、情報管理に Outlook97 を使用します。

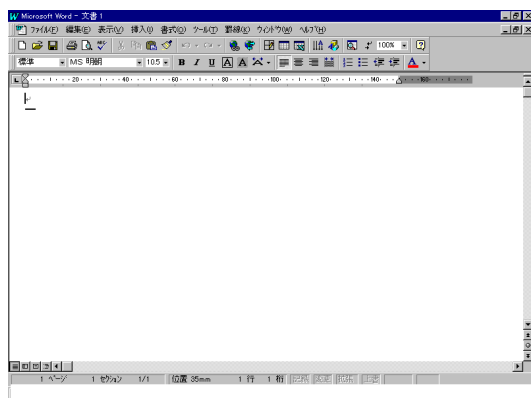
起動方法

ここでは Word で説明しています。Excel と Outlook は本文中の「Word」をそれぞれに読み換えてください。

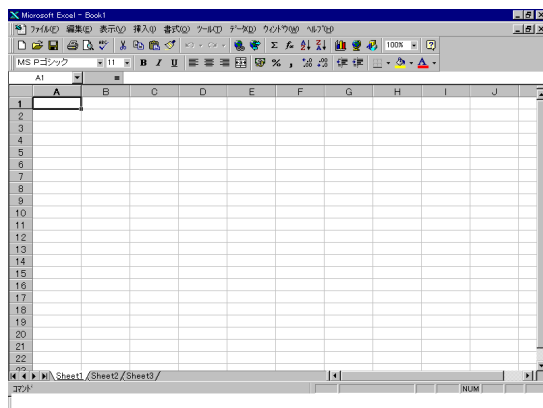
- 1 「スタート」ボタン → 「プログラム」 → 「Microsoft Word (Excel/Outlook)」をクリック
Word (Excel/Outlook) のウィンドウが表示されます。

主画面

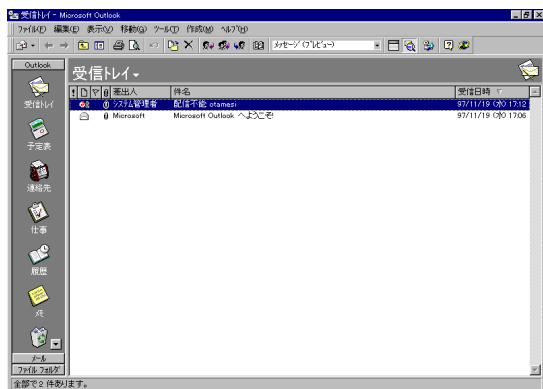
Word 97 の初期ウィンドウ



Excel 97 の初期ウィンドウ



Outlook 97 の初期ウィンドウ



削除

ここではWord 97 で説明しています。Excel 97 とOutlook 97 は本文中の「Word 97」をそれぞれに読み換えてください。



チェック!! 再追加したWord 97、Excel 97、Outlook 97 をすべて削除するときは、追加した順と逆順に削除を行ってください。

Word 97、Excel 97、Outlook 97 の順に再追加したときの削除は、Outlook 97、Excel 97、Word 97 の順に行います。

- 1 Windows 95 を起動して「Microsoft Excel 97 & Word 97 & Outlook 97 for Windows」CD-ROM をセットする
- 2 「Microsoft Excel 97 & Word 97 & Outlook 97 for Windows」が表示されたら「Microsoft Word 97 (Excel 97/Outlook 97) のセットアップ」をクリック
- 3 「Microsoft Word 97 (Excel 97/Outlook 97) セットアップ」で「すべて削除」ボタンをクリック
- 4 「Microsoft Word 97 (Excel 97/Outlook 97) を削除しますか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリック
削除が始まります。

✔ チェック!! 「共有コンポーネントの削除」が表示されたら「削除しない」ボタンをクリックしてください。

- 5 「Microsoft Word 97 (Excel 97/Outlook 97) セットアップが完了しました」というメッセージが表示されたら「OK」ボタンをクリック
再起動のメッセージが表示されたら「再起動」ボタンをクリックします。

再追加

ここでは Word 97 で説明しています。Excel 97 と Outlook 97 は本文中の「Word 97」をそれぞれに読み換えてください。

- 1 Windows 95 を起動し、CD-ROM ドライブに「Microsoft Excel 97 & Word 97 & Outlook 97 for Windows」の CD-ROM をセットする
- 2 「Microsoft Word 97 (Excel 97/Outlook 97) のセットアップ」をクリック
- 3 「Microsoft Word 97 (Excel 97/Outlook 97) セットアップ」が表示されたら「継続」ボタンをクリック

- 4 「ユーザー情報の登録」で必要事項を入力し「OK」ボタンをクリック
- 5 「ユーザー情報の確認」で「OK」ボタンをクリック
- 6 プロダクト ID 番号が表示されたら「OK」ボタンをクリック
- 7 「Microsoft Word 97(Excel 97/Outlook 97)を次のフォルダにセットアップします」と表示されたら「OK」ボタンをクリック
- 8 セットアップ方法の選択で、「標準セットアップ」、「カスタムセットアップ」いずれかを選ぶ。
ここでは「標準セットアップ」で進めます。
- 9 「標準セットアップ」が表示されたら「継続」ボタンをクリック
インストールが始まります。
- 10 「Microsoft Word 97(Excel 97/Outlook 97)セットアップが完了しました」と表示されたら「OK」ボタンをクリック
「Windows 95 の再起動」が表示されたら再起動してください。

一太郎 8 (一太郎 8 & 1-2-3 97 モデルのみ)

概要

文章作成に一太郎 8 を使用します。

- ✓ **チェック!!**
- ・本機にセットアップされている一太郎8は購入時の状態ではすべての機能を利用できるわけではありません。利用できる機能を知りたい場合や、機能を追加する場合は、添付の『セットアップ』マニュアルをご覧ください。
 - ・本機に一太郎8バリューパックはセットアップされていません。ご利用になる場合は、添付の『セットアップ』マニュアルをご覧ください。

起動方法

1 「スタート」ボタンをクリック

2 「一太郎 8」をクリック

これで一太郎 8 のウィンドウが表示されます。

削除

一太郎 8 が常駐している場合は、必ず常駐を解除してから、削除を行ってください。常駐を解除する方法は次のとおりです。

- ✓ **チェック!!**
- 以下の手順を行っても一部の機能は削除されません。一太郎 8 以外にジャストシステム製アプリケーションを使用していない場合、すべての機能を削除するには、手順 11、12 で「削除する」ボタンをクリックしてください。

1 一太郎 8 を起動する

2 表示された画面の左上にある「一太郎 8」アイコンを右クリック

3 表示されたメニューで「一太郎 8 の常駐」をクリックし、チェックをはずす

- 4 一太郎8を終了する
常駐の解除が確認できたら、次の手順で一太郎8を削除します。
- 5 「削除の準備」の手順1～4を実行(P.103)
- 6 「セットアップと削除」の一覧から「JUSTSYSTEM アプリケーションの追加と削除」をクリック(反転表示)し、「追加と削除」ボタンをクリック
- 7 「一太郎のセットアップ開始」と表示されたら、「次へ」ボタンをクリック
- 8 「一太郎の追加と削除」画面で「ファイルの追加・削除」を選択して、「次へ」ボタンをクリック
- 9 表示された画面で「ファイルの削除」を選択して、「次へ」ボタンをクリック
- 10 「削除するファイルを選択します」画面で「すべて選択」ボタンをクリックし、「次へ」ボタンをクリック
- 11 「ジャストシステム共通ファイル(32bit)も削除しますか?」と表示されたら、「削除しない」ボタンをクリック
- 12 「ジャストシステム共通ファイル(16bit)も削除しますか?」と表示されたら、「削除しない」ボタンをクリック
- 13 「ATOK11をWindowsや他のアプリケーションが使用しているため、コンピュータを再起動するときに削除されます」と表示されたら、「OK」ボタンをクリック
- 14 「フォルダの確認」画面で「次へ」ボタンをクリックします。「指定されたフォルダ"XXX"は存在しません」と表示されたら、「はい」ボタンをクリック
- 15 「フォルダの確認」画面で「次へ」ボタンをクリックします。「指定されたフォルダ"XXX"は存在しません」と表示されたら、「はい」ボタンをクリック

- 16 「フォルダの確認」画面で「次へ」ボタンをクリックします。「指定されたフォルダ"XXX" は存在しません」と表示されたら、「はい」ボタンをクリック
- 17 「ファイルの削除開始」画面で「削除開始」ボタンをクリック削除が開始されます。
- 18 「一太郎 8 のセットアップ終了」で「再起動」ボタンをクリックこれで一太郎 8 の削除は終了です。

再追加

- 1 CD-ROM ドライブに「一太郎 8 CD-ROM」をセットする
- 2 「JUSTSYSTEM AutoPlay プログラム」画面で「SETUP」ボタンをクリック
- 3 「一太郎のセットアップ」画面で「セットアップ開始」ボタンをクリック
- 4 「一太郎のセットアップ開始」画面で「次へ」ボタンをクリック
- 5 「使用者名・法人名の登録」画面で必要事項を入力し、「次へ」ボタンをクリック
- 6 「シリアルナンバー・UserIDの登録」画面で必要事項を入力し、「次へ」ボタンをクリック
- 7 「使用者名・シリアルナンバーの確認」画面で内容を確認した上で、「登録する」ボタンをクリック
- 8 「セットアップ方法の選択」画面で「標準」を選択し、「次へ」ボタンをクリック
- 9 「標準でのセットアップ」画面で「次へ」ボタンをクリック

- 10 「セットアップするフォルダの設定」画面で「次へ」ボタンをクリック
- 11 「一太郎のセットアップ」画面で「一太郎の常駐」のチェックをはずし、「次へ」ボタンをクリック
- 12 「ファイルのコピー開始」画面で「コピー開始」ボタンをクリック
インストールが開始されます。
- 13 「JustNet に入会するには」画面で「確認」ボタンをクリック
- 14 「一太郎のセットアップ終了」画面で「再起動」ボタンをクリック
- 15 「一太郎セットアッププログラム」画面で「OK」ボタンをクリック
これで一太郎 8 の再追加は終了です。

ロータス 1-2-3 97 (一太郎8 & 1-2-3 97モデルのみ)

概要

表計算アプリケーションです。

- ✔ **チェック!!** ・本機にインストールされているロータス1-2-3 97は「標準セットアップ」でセットアップされており、購入時の状態ですべての機能を利用できるわけではありません。
「標準セットアップ」では使えない機能のセットアップについてはロータス1-2-3 97 添付のマニュアルをご覧ください。

起動方法

- 1 「スタート」ボタンをクリック
- 2 「ロータスアプリケーション」をポイント
- 3 「1-2-3 97」をクリック
これでロータス1-2-3 97 のウィンドウが表示されます。

削除

- 1 「削除の準備」の手順1～4を実行(P.103)
- 2 「セットアップと削除」の一覧から「1-2-3 97」をクリック(反転表示)し、「追加と削除」ボタンをクリック
- 3 「スーパーオフィス製品の選択」画面から「すべてのスーパーオフィス製品をアンインストールする」を選択し、「OK」ボタンをクリック
- 4 「ロータスアンインストール」画面で「はい」をクリック

5 「次のファイルのバージョンは、インストールされたバージョンと一致しません」というメッセージが表示された場合は、すべて「削除」ボタンをクリック
また、「次のアイテムは空でないため削除できません」と表示されたら、「スキップ」ボタンをクリック

6 「削除されました」と表示されたら「OK」ボタンをクリック

7 「再起動」画面で「再起動」ボタンをクリック

デスクトップ上に「1-2-3 97」アイコンが残った場合は、次の手順で削除してください。

1 「1-2-3 97」アイコンを右クリック

2 表示されたメニューで「削除」をクリック

3 「ファイルの削除の確認」で、「はい」ボタンをクリック
これでロータス 1-2-3 97 の削除は終了です。

再追加

1 CD-ROM ドライブに「1-2-3 97 CD-ROM」をセット

2 「スタート」ボタンをクリックし、「ファイル名を指定して実行」を選択

3 「x:¥123¥install」と入力し、「OK」ボタンをクリック(x:はCD-ROM ドライブ名)

4 「Lotus 1-2-3 97」オートラン画面で「ワンボタンインストール」ボタンをクリック

5 「C:ドライブにインストールします」画面で「はい」ボタンをクリック

- 6 インストールが終了しオートラン画面が表示されたら、「終了」ボタンをクリック
- 7 「スタート」ボタンをクリックし、「ファイル名を指定して実行」を選択
- 8 「x:¥lotus¥123¥setup」と入力し、「OK」ボタンをクリック(x:はCD-ROMドライブ名)
- 9 「ようこそ」画面で「次へ」ボタンをクリック
- 10 「123 はc:¥lotus¥123¥にインストールされます」と表示されたら、「OK」ボタンをクリック
- 11 「READMEファイルを読みますか」と表示されたら、「いいえ」ボタンをクリック
- 12 「アップグレードが完了しました」と表示されたら、「OK」ボタンをクリック
- 13 「スタート」ボタンをクリックし、「ファイル名を指定して実行」を選択
- 14 「x:¥lotus¥approach¥setup」と入力し、「OK」ボタンをクリック(x:はCD-ROMドライブ名)
- 15 「ようこそ」画面で「次へ」ボタンをクリック
- 16 「アプローチはc:¥lotus¥approach¥にインストールされます」と表示されたら、「OK」ボタンをクリック
- 17 「READMEファイルを読みますか」と表示されたら、「いいえ」ボタンをクリック
- 18 「Setup Complete」画面で「はい、直ちにコンピュータを再起動します」を選択し、「終了」ボタンをクリック

デスクトップ上に「1-2-3 97」アイコンを追加する場合は、次の手順を行ってください。

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「エクスプローラ」をクリック
- 2 c:\¥Windows¥ スタートメニュー ¥ プログラム ¥ ロータスアプリケーションにある「1-2-3 97」アイコンを右クリック
- 3 「コピー」をクリック
- 4 デスクトップの画面上で右クリックし、「貼り付け」をクリック
これでロータス 1-2-3 97 の再追加は終了です。

Internet Explorer

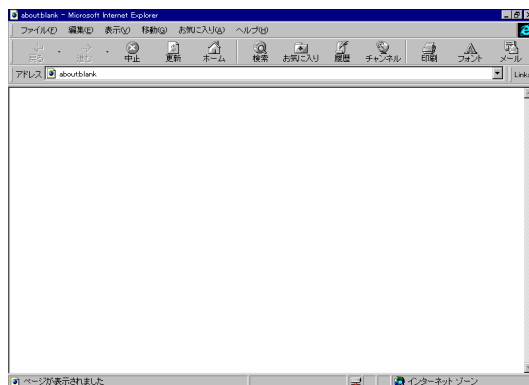
概要

インターネットへの接続を行い、ホームページを表示します。

起動手順

- 1 「スタート」ボタン → 「プログラム」 → 「Internet Explorer」の「Internet Explorer」をクリック

主画面



削除

- 1 Internet Explorerを削除する前に、ごみ箱に入っている項目を削除してもよいか確認する。デスクトップ上の「ごみ箱」を開いて保存したい項目を別の場所に移動
- 2 「削除の準備」の手順 1 ~ 4 を行う(P.103)

- 3 「セットアップと削除」画面の一覧から「Microsoft Internet Explorer 4.0」をクリック(反転表示)して「追加と削除」ボタンをクリック
- 4 「Internet Explorer 4.0 アクティブセットアップ」で「Internet Explorer 4.0とそのすべてのコンポーネントをアンインストールする」にチェックを付け、「詳細」ボタンをクリック
- 5 「Internet Explorer 4.0 アクティブセットアップ」で「Internet Explorer 4.0 と次のコンポーネントをアンインストールする」にチェックを付け、さらに次のすべてのコンポーネントにチェックマークを付け、「OK」ボタンをクリック
 - Microsoft FrontPage Express
 - Microsoft Music Control
 - Microsoft NetMeeting 2.1(MA33D/M の場合)
 - Microsoft NetMeeting 2.0(MA30D/M、MA23D/M の場合)
 - Microsoft Outlook Express
 - Microsoft VM for Java
 - Microsoft Web 発行ウィザード 1.51
 - VDOLive Player
 (モデルによっては含まれないコンポーネントがあります。)
- 6 「既にセットアップされているコンポーネントを検索しています」のメッセージの後に、「Internet Explorer 4.0 と共有コンポーネントを削除するには、「OK」をクリックしてください。」と表示されたら「OK」ボタンをクリック
- 7 「Microsoft Internet Explorer 4.0 を削除しますか?」と表示される。削除する場合は「はい」ボタンをクリック
- 8 「Internet Explorer 4.0 により、ごみ箱の形式が変更されました。」と表示される場合があります。現在ごみ箱に入っている項目を保存する場合は、「キャンセル」ボタンをクリックし、削除処理を一旦終了し、手順 1 から始める。ごみ箱に入っている項目をすべて削除してもよい場合は、「OK」ボタンをクリックし、削除処理を続行する
削除が始まります。削除には 10 数分かかります。

- 9** 「すべてのアプリケーションを閉じて、新しい設定でWindowsを再起動します」と表示されたら「OK」ボタンをクリック
- 10** 「自動的に閉じることのできなかったプログラムがいくつかあります」と表示されたら、実行中のプログラムでデータを処理しているものがあれば、それらのデータを保存しプログラムをすべて終了します。それから「OK」ボタンをクリック
- 11** 「コンピュータを再起動する必要があります」と表示されたら「OK」ボタンをクリック
自動的に再起動されます。
- 12** 「ユーザ名とパスワードを入力してください」と表示された場合、ユーザ名とパスワードを入力
パスワードは入力しなくてもかまいません。
- 13** 「ファイルの種類をActiveMovieに関連付け、すべて再生できるようにしますか？」のメッセージが表示された場合、必要に応じて「はい」ボタンか「いいえ」ボタンをクリック

通常ActiveMovieに関連付けられるファイルの種類の中に、現在ほかのプログラムに関連付けられているものがあります。そのため、マルチメディアのファイルの種類によっては、再生されないものがある可能性があります。

- 14** 次のコンポーネントに対して、そのコンポーネント用の個人設定を削除するよう表示されたら、必要に応じて「はい」ボタン「いいえ」ボタンをクリック

Microsoft Internet Explorer

Windows デスクトップのアップデートコンポーネント
インターネット接続ウィザード

Microsoft NetMeeting 2.1(MA33D/M の場合)

Microsoft NetMeeting 2.0(MA30D/M、MA23D/M の場合)

Microsoft Outlook Express

VDOLive Player

Microsoft FrontPage Express

(モデルによっては含まれないコンポーネントがあります。)

- 1 「プロダクトの選択」の手順 1 ~ 9 を行う (P.103)
- 2 「プロダクトの選択」画面で「Microsoft Internet Explorer 4.0」をクリック (反転表示) し「OK」ボタンをクリック
- 3 「Internet Explorer 4.0 アクティブセットアップ」で「セットアップの開始」メッセージが表示されたら、「次へ」ボタンをクリック
- 4 使用許諾契約書が表示されます。よくお読みになり、同意する場合は、「同意する」にチェックマークを付け「次へ」ボタンをクリック
- 5 「インストールオプション」で「最小インストール」「標準インストール」「完全インストール」から選び「次へ」ボタンをクリック
工場出荷時の状態に戻すためには、「完全インストール」を選択します。
- 6 「デスクトップのアップデート」で、「インストールしますか?」のところを「はい」にチェックマークを付け「次へ」ボタンをクリック
- 7 「Active Channel の選択」が表示された場合、「日本」を選択し「次へ」ボタンをクリック
- 8 「インストール先フォルダ」でインストール先を指定する
 - ・購入時と同じフォルダにインストールする場合
次のフォルダが選ばれていることを確認し、「次へ」ボタンをクリックします。
C: ¥Program Files¥Internet Explorer
(C: は Windows95 がインストールされているドライブ)
 - ・購入時と別のフォルダにインストールする場合
(すでに存在するフォルダの場合)
「参照」ボタンをクリックして「フォルダの参照」画面を表示し、インストールしたいフォルダを選択し「OK」ボタンをクリックし、「次へ」ボタンをクリックします。

(新規にフォルダを作成する場合)

インストールフォルダに直接フォルダ名を入力し、「次へ」ボタンをクリックします。

「入力したフォルダが存在しないため、作成しますか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリックします。

 **チェック!!** 「新しいコンポーネントをアップグレードしますか?」のメッセージが表示された場合は、「すべてのコンポーネントを再インストール」にチェックを付け「OK」ボタンをクリックしてください。

インストールが始まります。インストールには10数分かかります。

9 「コンポーネントのインストールは完了しました」と表示されたら「OK」ボタンをクリック

 **チェック!!** CD-ROM はまだ取り出さないでください。

10 「自動的に閉じることのできなかったプログラムがいくつかあります」と表示されたら、実行中のプログラムでデータを処理しているものがあれば、それらのデータを保存しプログラムをすべて終了し、「OK」ボタンをクリック

11 「コンピュータを再起動する必要があります」と表示された場合「OK」ボタンをクリック
自動的に再起動されます。

12 「ユーザ名とパスワードを入力してください」と表示された場合、ユーザ名とパスワードを入力する

 **チェック!!** パスワードは入力しなくてもかまいません。

Internet Explorer 関連プログラムの設定、プログラムの個人用設定が行われます。この間数分かかります。

セットアップ完了後、CD-ROM を取り出します。

最新のコンポーネントを追加する

Internet Explorer に最新のコンポーネントを追加するには、以下のいずれかの手順でインストールします。いずれの手順も同じWebサイトにつなげて、最新のアプリケーション(コンポーネント)をダウンロードします(現状のコンポーネントは、インストールモジュールで可能)。

- Internet Explorer の「ヘルプ」→「製品更新」をクリック
- 「コントロールパネル」の「アプリケーションの追加と削除」より追加する
 - 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」→「アプリケーションの追加と削除」をダブルクリック
 - 「Microsoft Internet Explorer 4.0」をクリック(反転表示)し、「追加と削除」ボタンをクリック
 - 「コンポーネントをInternet Explorer に追加する」を選び、「OK」ボタンをクリック

上記手順でダウンロード可能なアプリケーション(コンポーネント)は以下の通りです。

Add-on page にあるコンテンツ一覧(1998年1月現在)

「Microsoft Internet Explorer 4.0」

- Internet Explorer 4.0 Web ブラウザ
- Windows デスクトップのアップデート
- Microsoft VM for Java
- インターネット接続ウィザード

「通信コンポーネント」

- Microsoft NetMeeting
- Microsoft Outlook Express
- Microsoft Chat 2.0

「マルチメディア コンポーネント」

- Microsoft NetShow
- Microsoft インタラクティブミュージックコントロールとMS シンセサイザ
- Microsoft VRML 2.0 ビューア
- DirectShow
- VDOLive プレーヤー

- Microsoft Agent
- Macromedia Shockwave Director
- Macromedia Shockwave Flash
- RealPlayer by Progressive Networks

「オーサリング コンポーネント」

- Microsoft FrontPage Express
- Microsoft Web 発行ウィザード

「エクスプローラ用追加コンポーネント」

- Microsoft Wallet
- 追加 Web フォント
- Internet Explorer サウンドバック
- タスク スケジューラ

「複数の言語サポート」

- 日本語サポート
- 韓国語サポート
- ヨーロッパ各国語サポート
- 繁体字中国語サポート
- 簡体字中国語サポート

インターネットエクスプローラ関連プログラム

Microsoft Chat 2.0

インターネット上で、従来のテキストでの会話に加えグラフィックスを組み合わせた会話ができるチャットプログラムです。

起動

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Internet Explorer」の「Microsoft Chat」をクリック

削除

- 1 「削除の準備」の手順 1 ~ 4 を実行 (P.103)
- 2 「セットアップと削除」画面の一覧から「Microsoft Chat 2.0」をクリック (反転表示) して「追加と削除」ボタンをクリック
- 3 「Microsoft Chat 2.0 を削除します。Microsoft Chat のアプリケーションが実行されていないことを確認してください。」と表示されたら「OK」ボタンをクリック
- 4 「Microsoft Chat 2.0は正常に削除されました。」のメッセージが表示されたら「OK」ボタンをクリック

再追加

本アプリケーションは「Internet Explorer」の「再追加」の手順(「インストールオプション」は「完全インストール」を選ぶ)を行うことにより再追加されます。

Microsoft NewShow プレーヤー

NetShowに対応したWebサイトからインターネット経由で送られるマルチメディアデータがすべてダウンロードされるのを待つことなく受信しながら再生できるプログラムです。

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Internet Explorer」の「NetShow プレーヤー」をクリック

削除

- 1 「削除の準備」の手順 1 ~ 4 を実行 (P.103)
- 2 「セットアップと削除」画面の一覧から「Microsoft NetShow Player 2.0」をクリック(反転表示)して「追加と削除」ボタンをクリック
- 3 「Microsoft NetShow プレーヤーをアンインストールしますか?」のメッセージが表示されたら、「はい」ボタンをクリック

再追加

本アプリケーションは「Internet Explorer」の「再追加」の手順(「インストールオプション」は「完全インストール」を選ぶ)を行うことにより再追加されます。

Real Player 4.0

Real Player に対応したWebサイトからインターネット経由で送られる音声/映像データを受信し、再生するプログラムです。

起動

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Internet Explorer」の「Real Player」をクリック

削除

- MA33D/M の場合

- 1 「削除の準備」の手順 1 ~ 4 を実行 (P.103)
- 2 「セットアップと削除」画面の一覧から「Real Player 4.0」をクリック(反転表示)して「追加と削除」ボタンをクリック

3 「Are you sure you want to completely remove Real Player and all of its components?」と表示されたら「OK」ボタンをクリック

4 「Uninstallation of the Real Player has been successfully completed.」と表示されたら、「OK」ボタンをクリック

- MA30D/M、MA23D/M の場合

1 「削除の準備」の手順 1 ~ 4 を実行 (P.103)

2 「セットアップと削除」画面の一覧から「Real Player 4.0」をクリック (反転表示) して「追加と削除」ボタンをクリック

3 「Real Playerの全てのコンポーネントを削除してもよろしいですか?」と表示されたら、「OK」ボタンをクリック

4 「Real Playerのアンインストールが完了しました。」と表示されたら、「OK」ボタンをクリック

再追加

本アプリケーションは「Internet Explorer」の「再追加」の手順(「インストールオプション」は「完全インストール」を選ぶ)を行うことにより再追加されます。

Outlook Express (Mail & News)

概要

電子メールを送受信したり、インターネットニュースを見ることができます。

起動手順

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Internet Explorer」の「Outlook Express」をクリック
Outlook Express のウィンドウが表示されます。

主画面



- ✓ **チェック!!** Outlook Express の削除と再追加については「Internet Explorer」の「削除」および「再追加」を参照してください。

Microsoft NetMeeting

概要

インターネットを経由して、主催者と複数の参加者によるネットワーク会議を行うことができます。

起動手順

- 1 「スタート」ボタン → 「プログラム」 → 「Internet Explorer」の「Microsoft NetMeeting」をクリック
Microsoft NetMeeting のウィンドウが表示されます。

✔ チェック!! Microsoft NetMeeting の削除と再追加については「Internet Explorer」の「削除」および「再追加」を参照してください。

BIGLOBE Walker

概要

インターネットのネットサーフィン、メール、情報の管理、PC-VAN へのアクセスなどを行います。

起動方法

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Biglobe」の「BIGLOBE Walker」をクリック
BIGLOBE Walker のウィンドウが表示されます。

主画面



削除

- 1 「削除の準備」の手順 1 ~ 4 を実行 (P.103)
- 2 「セットアップと削除」の一覧から「BIGLOBE」をクリック(反転表示)して「追加と削除」ボタンをクリック

- 3 「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリック
削除が始まります。
- 4 「アンインストールが完了しました」というメッセージが表示されたら「OK」ボタンをクリック

再追加

- 1 「プロダクトの選択」の手順 1 ~ 9 を実行 (P.103)
- 2 「プロダクトの選択」で「BIGLOBE」をクリック (反転表示) し
「OK」ボタンをクリック
- 3 「ようこそ」の表示で「次へ」ボタンをクリック
- 4 「インストール先の選択」で「次へ」ボタンをクリック
- 5 「BIGLOBE Walker のインストールを開始します。よろしいですか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリック
- 6 「プログラムフォルダの選択」で「次へ」ボタンをクリック
自動的にインストールされます。

PC-VAN ナビゲータ

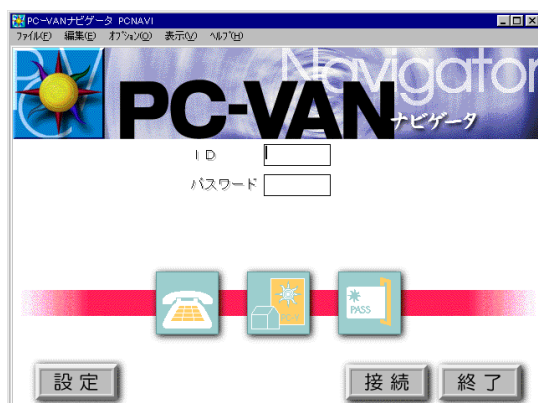
概要

パソコン通信サービスの「PC-VAN」専用の通信ソフトで、マウスだけで通信の操作ができます。

起動方法

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「PC-VANナビゲータ」の「PC-VAN ナビゲータ」をクリック
「PC-VAN」ナビゲータのウィンドウが表示されます。

主画面



削除

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「PC-VANナビゲータ」の「PC-VAN ナビゲータアンインストーラ」をクリック

2 表示されたウィンドウで「プログラムだけ削除」を選び「OK」ボタンをクリック

✓ **チェック!!** 「すべて削除」を選ぶと、設定ファイルやアドレス帳なども削除されますので、ご注意ください。

3 「PC-VANナビゲータのプログラムファイルを削除します」と表示されたら「OK」ボタンをクリック

4 「ファイルを削除しました」と表示されたら「OK」ボタンをクリック

✓ **チェック!!** 「すべて削除」を選んだ場合でも、メールフォルダやダウンロードしたファイルが一部残ります。これらのファイルを削除する場合は「マイコンピュータ」や「エクスプローラ」で「C:¥PCNAVI」にあるファイルを削除してください。

「スタート」→「プログラム」に「PC-VAN」のアイコンが残った場合は、以下のフォルダとファイルを削除してください。

- ・ C:¥Windows¥スタートメニュー¥プログラムにある「PC-VAN ナビゲータ」フォルダとフォルダ内のすべてのファイル。

再追加

1 「プロダクトの選択」の手順 1 ~ 9 を実行 (P.103)

2 「プロダクトの選択」で「PC-VAN ナビゲータ」をクリック(反転表示)して「OK」ボタンをクリック

3 「他のアプリケーションを終了してからインストールをして下さい」と表示されたら「OK」ボタンをクリック

4 「PC-VAN ナビゲータインストール」で「インストール」ボタンをクリック

5 表示されたウィンドウを確認して「OK」ボタンをクリック

✓ **チェック!!** 「ディレクトリの作成」が表示されたら「OK」ボタンをクリック。

- 6** 「PC-VAN ナビゲータ登録」で「はい」ボタンをクリック
- 7** 「インストールが完了しました」と表示されたら「OK」ボタンをクリック

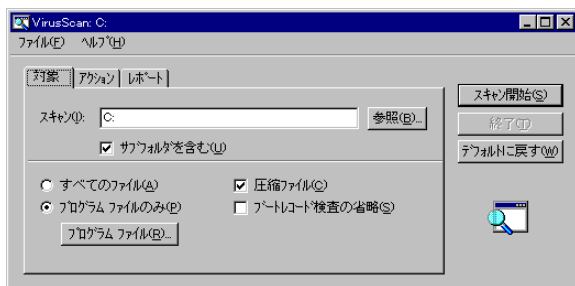
VirusScan

概要

コンピュータウイルスの検出、識別、および除去を行います。

- ✓ **チェック!!** VirusScanは購入時の状態では、本機の起動時に常駐するように設定されていません。「ウイルスの検査方法」のいずれかの方法で、こまめにウイルスに感染していないかを検査してください。

主画面



ウイルスの検査方法

常にウイルス検査をする

常にファイルのアクセスを監視し、ウイルスに感染していないかを検査します。

- 1 「スタート」ボタン → 「プログラム」 → 「McAfee VirusScan」 → 「VirusScan コンソール」をクリック
「VirusScan Console」ウインドウが表示されます。
- 2 「McAfee VShield」の上でダブルクリック
「タスクプロパティ」ウインドウが表示されます。
- 3 「詳細設定」ボタンをクリック
「VShield 設定」ウインドウが表示されます。

4 「情報」の「スタートアップ時に起動」のチェックボックスをクリックしチェックする

5 「OK」ボタンをクリック
「今すぐに読み込みを行いますか？」のメッセージが表示されます。

6 「はい」ボタンをクリック
これで VShield が常駐しました。
次回起動時から自動的に VShield が常駐します。
詳しい設定方法はヘルプをご覧ください。

 **チェック!!** VShield は常にファイルのアクセスを監視するため、アプリケーションなどの動作が多少遅くなります。

スクリーンセーバ実行時にウイルス検査をする

スクリーンセーバを実行中に、ウイルスに感染していないかを検査します。

1 「スタート」ボタン → 「設定」 → 「コントロールパネル」 → 「画面」アイコンをダブルクリック
「画面のプロパティ」ウインドウが表示されます。

2 「スクリーンセーバー」タブをクリック
スクリーンセーバの設定画面が表示されます。

3 スクリーンセーバの選択、実行までの待ち時間などを設定

4 「ScreenScan」タブをクリック
ScreenScan の設定画面が表示されます。
「スクリーンセーバ動作中にスキャンする」のチェックボックスをクリックしてチェックしてください。

5 「OK」ボタンをクリック
これで、スクリーンセーバ実行中に ScreenScan が実行されます。
詳しい設定方法はヘルプをご覧ください。

時間指定をしてウイルス検査をする

指定した時間に自動的にウイルスに感染していないかを検査します。

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「McAfee VirusScan」→
「VirusScan コンソール」をクリック
「VirusScan Console」ウインドウが表示されます。
- 2 「タスク」メニューの「新規のタスク」をクリック
「タスクプロパティ」ウインドウが表示されます。
- 3 「プログラム」タブをクリック
プログラムの設定画面が表示されます。
タスクの名称を入力してください。
(ここでは「定期検査」と入力したとして説明します)
- 4 「詳細設定」ボタンをクリック
「定期検査の詳細設定」ウインドウが表示されます。
- 5 「スキャン」タブをクリック
スキャンの設定画面が表示されます。
「自動検査開始」のチェックボックスをクリックしてチェックします。
- 6 「OK」ボタンをクリック
「VirusScan の設定を変更するには、アドバンスモードにする必要があります。」のメッセージが表示された場合は、「OK」ボタンをクリックしてください。
- 7 「スケジュール」タブをクリック
スケジュールの設定画面が表示されます。
「スケジュール有効」のチェックボックスをクリックしてチェックしてください。
「実行タイミング」「開始時間」を設定してください。
- 8 「OK」ボタンをクリック
これで、設定した時間にVirusScanが実行されます。詳しい設定方法はヘルプをご覧ください。

 **チェック!!** 設定した時間に自動的にVirusScanを起動するためには、VirusScan コンソールが常駐している必要があります。

また、常駐しているVirusScan コンソールを終了させると、自動的にVirusScan が起動しませんので VirusScan コンソールを終了させないでください。

以下の手順で VirusScan コンソールを常駐させてください。

「スタート」ボタン→「設定」→「タスクバーと[スタート]メニュー」をクリック

「タスクバーのプロパティ」ウインドウが表示されます。

「[スタート]メニューの設定」タブをクリック

[スタート]メニューの設定画面が表示されます。

「追加」ボタンをクリック

「ショートカットの作成」ウインドウが表示されます。

コマンドラインに、以下のように入力する。

" C:\Program Files\McAfee\VirusScan\Avconsol.exe "

「次へ」ボタンをクリック

「フォルダの選択」ウインドウが表示されます。

フォルダの一覧から「スタートアップ」を選択してください。

「次へ」ボタンをクリック

「名前の指定」ウインドウが表示されます。

「完了」ボタンをクリック

これで、次回起動時からVirusScan コンソールが常駐します。

VirusScan を実行する

その場でウイルスに感染していないかを検査します。

1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「McAfee VirusScan」→
「VirusScan」をクリック

「VirusScan」ウインドウが表示されます。

スキャンするドライブ、フォルダ、スキャン対象を設定してください。

2 「スキャン開始」ボタンをクリック

これでウイルスの検査が実行されます。

詳しい使用方法はヘルプをご覧ください。

ウイルスが発見されたとき

ウイルスが発見された場合は、「ウイルス除去」ボタンをクリックしてウイルスを除去してください。詳しい説明は「スタート」ボタン→「プログラム」→「McAfee VirusScan」→「VirusScan コンソールオンラインヘルプ」をご覧ください。

削除

- 1 「削除の準備」の手順 1 ~ 4 を実行 (P.103)
- 2 「セットアップと削除」の一覧から「McAfee VirusScan v3.1.0 (ブレインストール版)」をクリック (反転表示) して「追加と削除」ボタンをクリック
- 3 「VirusScanの削除が選択されました。本当にVirusScanを削除しますか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリック
- 4 「削除後はシステムを再起動することをお勧めします。続行しますか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリック
- 5 「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリック
削除が始まります。

✔ チェック!! 「共有ファイルを削除しますか?」と表示された場合は「すべていいえ」ボタンをクリックします

- 6 「アンインストールが完了しました」と表示されたら「OK」ボタンをクリック

- 1 「プロダクトの選択」の手順1～9を実行(P.103)
- 2 「プロダクトの選択」で「McAfee VirusScan v3.1.0」をクリック
「反転表示」して「OK」ボタンをクリック
- 3 契約内容に同意の上、「はい」ボタンをクリック
「セットアップへようこそ」ウインドウが表示されます。
- 4 「次へ」ボタンをクリック
「セットアップ方法」ウインドウが表示されます。
- 5 「カスタム」を選ぶ
インストール先を変更する場合は、「参照」ボタンをクリックして、表示されたウインドウの「パス」にインストール先を入力して「OK」ボタンをクリックしてください。
- 6 「次へ」ボタンをクリック
「コンポーネントの選択」ウインドウが表示されます。
- 7 「次へ」ボタンをクリック
「オプションの選択」ウインドウが表示されます。
- 8 「次へ」ボタンをクリック
「DOSスキャナインストールオプション選択」ウインドウが表示されます。
- 9 「ブート時にシステムをスキャン」のチェックボックスをクリックして
チェックを外す
「ブート時にシステムをスキャン」のチェックを外さずにインストールした場合、MS-DOS 用アプリケーションが動作しなくなる場合があります。
- 10 「エマージェンシーディスクを作成」のチェックボックスをクリックして
チェックを外す
エマージェンシーディスクは、「スタート」ボタン→「プログラム」→
「McAfee VirusScan」→「エマージェンシーディスク作成」をクリックして
作成することができます。

- 11 「次へ」ボタンをクリック
「プログラムフォルダの選択」ウインドウが表示されます。
- 12 「次へ」ボタンをクリック
「インストール設定の確認」ウインドウが表示されます。
- 13 「次へ」ボタンをクリック
「システム領域のスキャンが完了しました」のメッセージが表示されます。
- 14 「OK」ボタンをクリック
「この製品についての最新の情報を表示しますか?」のメッセージが表示されます。このまま最新の情報を読む場合「はい」ボタンをクリックしてください。読まない場合は「いいえ」をクリックしてください。
最新の情報は「スタート」ボタン→「プログラム」→「McAfee VirusScan」→「ウイルスデータベースの内容」をクリックして読むことができます。
- 15 インストールが終了すると、「インストールが完了しました。」ウインドウが表示されます。
「はい、直ちにコンピュータを再起動します。」を選び、「終了」ボタンをクリックしてください。
Windows 95 が再起動します。
- 16 「スタート」ボタン→「プログラム」→「McAfee VirusScan」→「VirusScan コンソール」をクリック
- 17 「McAfee VShield」の上で右クリックし、表示されたメニューから「プロパティ」を選ぶ
「タスクプロパティ」のウインドウが表示されます。
- 18 「詳細設定」ボタンをクリック
「VShield 設定」ウインドウが表示されます。
- 19 「スタートアップ時に起動」のチェックボックスをクリックしてチェックをはずす
「スタートアップ時に起動」を選択すると、ディスクアクセス時にウイルス検査を実行するため、アプリケーションなどの実行が遅くなります。

20 「OK」ボタンをクリック
「今すぐに読み込みを解除しますか？」のメッセージが表示されます。

21 「はい」ボタンをクリック
「タスクプロパティ」ウィンドウが表示されます。

22 「OK」ボタンをクリック
「VirusScan Console」ウィンドウが表示されます。

23 をクリック
これでインストールは完了です。

NEC Soft MPEG1.0

概要

ビデオ CD などの MPEG ファイルの再生を行います。

起動手順

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」→「マルチメディア」の「メディアプレーヤー」をクリック
- 2 「デバイス」メニューから、「NEC Soft MPEG1.0」を選ぶ
- 3 「ファイルを開く」ダイアログボックスで、再生したい MPEG ファイルを選んで「開く」ボタンをクリック
- 4 再生ボタンをクリック
再生が始まります。

✓ **チェック!!** MPEG ファイルとしては拡張子が ".mpg" のもののほかにビデオ CD 内の拡張子が ".dat" のものを再生することができます。

NEC Soft MPEG1.0 に関する注意事項

- ・ビデオのみのデータあるいはビデオCDの静止画を含むデータは、現在の再生位置を示すスクロールバーの位置と実際の再生位置は必ずしも一致しません。
- ・メディアプレーヤーのスクロールバーの右側にある小さなボタンは、インジケータがフレームのときのみ、こま送りとなります。(順方向ボタン)。逆再生方向のボタンは戻る場合と戻らない場合があります。
- ・画質優先モードで再生時、画像サイズを変更すると再生が遅くなる場合があります。
- ・メディアプレーヤー、プレーヤー・NX でプルダウンメニューを表示すると再生が停止します。再生中にキーボードから【Alt】を押したときも同様に停止します。

削除

NEC Soft MPEG1.0 の削除は「コントロールパネル」の「マルチメディア」を使用して行います。

- 1 動作中のアプリケーションをすべて終了
- 2 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」を起動
- 3 「マルチメディア」をダブルクリック
- 4 「マルチメディアのプロパティ」から「詳細設定」タブを選ぶ
- 5 「メディアコントロールデバイス」の左のプラス記号(+)をクリックして、デバイスドライバの一覧を表示
- 6 「NEC Soft MPEG1.0」をダブルクリックし、「NEC Soft MPEG1.0 のプロパティ」で「削除」ボタンをクリック
- 7 「削除」が表示されたら、「はい」ボタンをクリック
- 8 「デバイスは削除されました」が表示されたら「OK」ボタンをクリック
- 9 削除後、再起動を促すメッセージが表示されたら「OK」ボタンをクリック
- 10 本機を再起動する

再追加

NEC Soft MPEG1.0 の再追加は「コントロールパネル」の「ハードウェア」を使用して行います。

- 1 CD-ROM ドライブに本機添付の「アプリケーション CD-ROM」をセット
- 2 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」を起動

- 3 「ハードウェア」をダブルクリックし、「ハードウェアウィザード」を起動
- 4 「次へ」ボタンをクリック
- 5 新しいハードウェアを自動的に検出する選択画面では「いいえ」を選び、「次へ」ボタンをクリック
- 6 インストールするハードウェアの種類に「その他のデバイス」を選んで「次へ」ボタンをクリック
- 7 「ディスク使用」をクリックし、「フロッピーディスクからインストール」ダイアログでコマンドラインに< CD-ROM ドライブ名 > : NECMPEG と入力し、「OK」ボタンをクリック
- 8 画面に「NEC Soft MPEG 1.0」と表示されるので、「次へ」ボタンをクリック
- 9 「完了」ボタンをクリック
ファイルのコピーが開始されます
- 10 ファイルのコピー終了後、再起動を促すメッセージが表示されたら「はい」ボタンをクリックして Windows を再起動



DMITOOOL

概要

DMITOOOL は、パーソナルコンピュータや接続されているハードウェア情報およびインストールされているソフトウェア情報を管理するソフトです。管理方法として、標準化団体 DMTF (Desktop Management Task Force) が規定した DMI (Desktop Management Interface) を採用しています。

DMITOOOL は以下の 5 つの機能により構成されます。

- ・システムビューア
- ・状態監視
- ・MIF ブラウザ
- ・リモート電源制御 (リモートパワーオン機能)
- ・WWW Extension

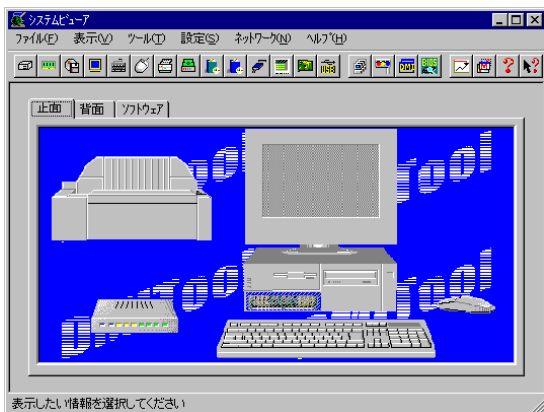
操作方法・表示画面の詳細については添付のオンラインヘルプをご覧ください。

 **チェック!!** 本機がネットワークに接続されている場合は、定期的にパケットが送信されることがあります。
パケットの送信を行いたくない場合には注意が必要です。詳しくはヘルプをご覧ください。

DMITOOOL の起動方法

- 1 「スタート」ボタン → 「プログラム」 → 「Dmitool」の中から利用したい機能をクリック
選んだ機能の画面が表示されます。

システムビューア



注) 表示されるシステムビューア画面は機種によって異なります。

削除

DMITool WWW Extension をセットアップしていない場合には、手順の7からはじめてください。

- 1 PWS (Windows 95 では " パーソナル Web サーバー "、Windows NT 4.0 では "Microsoft Peer Web Service") を停止する
- 2 「削除の準備」の手順 1 ~ 4 を実行 (P.103)
- 3 「DMITool WWW Extension」をクリック (反転表示) して、「追加と削除」ボタンをクリック
- 4 DMITool WWW Extension 常駐プログラム終了を確認する画面が表示されたら、「OK」ボタンをクリック
- 5 PWS プログラム終了を確認する画面が表示されたら「OK」ボタンをクリック

6 「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか?」と表示されるので、「はい」ボタンをクリック
これで DMITOOL WWW Extension プログラムの削除が開始されます。

7 DMITOOL 関連のアプリケーションが起動されていないことを確認する

次のアプリケーションが DMITOOL 関連のアプリケーションです。

- ・システムビューア
- ・状態監視
- ・MIF ブラウザ
- ・BIOS ブラウザ
- ・リモート電源制御
- ・休眠ファイル

8 「削除の準備」の手順 1 ~ 4 を実行 (P.103)

9 「DMITOOL」をクリック (反転表示) して、「追加と削除」ボタンをクリック

10 DMITOOL 常駐プログラム終了を確認する画面が表示されたら「OK」ボタンをクリック

11 「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか?」と表示されるので、「はい」ボタンをクリック
これでプログラムの削除が開始されます。

 **チェック!!** 「いいえ」ボタンを選び、削除を中断した場合には、システムを再起動してから DMITOOL を使用してください。

12 削除を開始して間もなく共有ファイルの削除を確認する画面が表示されるので、「いいえ」ボタンをクリック

 **チェック!!** ここでは必ず「いいえ」ボタンをクリックしてください。この画面は複数回表示されますが、すべて「いいえ」ボタンをクリックしてください。

13 「アンインストールが完了しました。」と表示されたら「OK」ボタンをクリック

再追加

- 1 「プロダクトの選択」の手順 1 ~ 9 を実行 (P.103)
- 2 「プロダクトの選択」で「DMITool」をクリック (反転表示) して、「OK」ボタンをクリック
- 3 DMITool セットアップの説明画面が表示されるので、指示に従い「次へ」ボタンをクリック
- 4 「登録」が表示されたら、あなたの名前と会社名を入力して「次へ」ボタンをクリック
- 5 「パス設定」が表示されたら、インストール先ディレクトリを指定して「次へ」ボタンをクリック
プログラムのインストールが開始されます。
- 6 「情報」が表示されたら、「OK」ボタンをクリック
- 7 本機を再起動する

pcANYWHERE32 EX

概要

遠隔地にある他のパソコンから本機を自由に操作することができます。ソフトウェアの保守や使用方法の説明が行えます。

- ✓ **チェック!!** ・本機にインストールされているpcANYWHERE32 EXを使用して、他のパソコンを操作することはできません。
- ・他のパソコンから本機を操作するためには、相手側のパソコンに、別売の「DMITool(pcANYWHERE32 EX コンプリート版付)」または「pcANYWHERE」(Symantec社製)がインストールされている必要があります。

「pcANYWHERE32 EX」の起動方法

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「pcANYWHERE32 EX」の「pcANYWHERE32 EX」をクリック
pcANYWHERE32 EXを使用すると、接続しているほかのパソコンから、本機のハードディスク、CD-ROM、フロッピーディスクの内容をすべて参照することができます。
また、必要に応じてファイルの内容を参照したり、修正することもできます。

- ✓ **チェック!!** ・本機にインストールされているpcANYWHERE32 EXでは、各ウィンドウのメニューバー上で「ヘルプ」を選ぶことはできません。機能説明や使用方法については別売の「DMITool(pcANYWHERE32 EX コンプリート版付)」などのマニュアルをご覧ください。
- ・インストールされているWindows 95が起動できない場合や本体内蔵LANインタフェースを使用していない場合、または使用していても通信できない場合は、pcANYWHERE32 EXを利用して遠隔操作でトラブルを解決することはできません。
- ・CyberTrio-NXがインストールされている場合、pcANYWHERE32 EXの削除または再追加はCyberTrio-NXをアドバンスモードで行ってください。

削除

1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「pcANYWHERE32 EX」
→「pcANYWHERE32 EX の削除」をクリック

2 「パス名」が表示されたら、「次へ」ボタンをクリック

✓ **チェック!!** 共有コンポーネントの削除を確認する画面が表示された場合すべて「はい」ボタンをクリックしてください。

3 「pcANYWHERE32を削除しました。」というメッセージが表示されたら、「完了」ボタンをクリック
自動的に再起動します。

再追加

1 「プロダクトの選択」の手順 1 ~ 9 を実行 (P.103)

2 「プロダクトの選択」で「pcANYWHERE32 EX」をクリック(反転表示)して、「OK」ボタンをクリック

3 「pcANYWHERE」で名前と会社名を入力し、「次へ」ボタンをクリック

4 「オンライン使用許諾契約」で「次へ」ボタンをクリック

5 「pcANYWHERE は以下の場所にコピーされます。」というメッセージが表示されたら、インストール先ディレクトリを指定して「次へ」ボタンをクリック

6 「pcANYWHERE プログラムを以下の場所にコピーします。」というメッセージが表示されたら、「次へ」ボタンをクリック
ファイルのコピーが始まります。

7 ファイルのコピーが終了すると、「Windows 95およびWindowsNT 用pcANYWHEREのインストールに成功しました。」と表示されるので、「Windowsの再起動」(推奨)をチェックしてあることを確認し、フロッピーディスクドライブからフロッピーディスクを抜いて「完了」ボタンをクリック
自動的に再起動します。



Masty Data Backup

概要

Masty Data Backup (マスティデータバックアップ)は、高機能バックアップツールです。

“ハードディスクが突然クラッシュ”この時の損害は計り知れないものがあります。そのため、データのバックアップは不可欠です。Masty Data Backupは、このような万が一の事態にもデータを保全し、お客様の損害を最小限におさえるツールです。

Masty Data Backup には次のような特徴があります。

- OSがサポートしている装置(MO、PD、HD、ZIP、JAZおよびTAPE など)にバックアップできます。
- 日付 / 曜日 / 時間を指定すれば、好きな時に自動実行するスケジューリングができます。
- データの圧縮を行いながらバックアップができます。
- 複数枚の媒体に分けてバックアップができます。
- 世代管理ができます。
- S.M.A.R.T 機能を利用したバックアップができます。

起動手順

- 1 「スタート」ボタン → 「プログラム」 → 「Masty Data Backup 1.0」 → 「Masty Data Backup 1.0」をクリック

削除

- 1 Masty Data Backup を終了する
タスクバーの右下に時計アイコンが存在する場合は、時計アイコン上で右クリックして、「閉じる」をクリックしてください。
次に、タスクバーの Masty Data Backup を右クリックし「閉じる」を選び、終了してください。
- 2 「削除の準備」の手順1 ~ 4 を実行(P.103)

- 3 「セットアップと削除」の一覧から「Masty Data Backup /F」をクリック（反転表示）して「追加と削除」ボタンをクリック
- 4 「ファイル削除の確認」で「はい」ボタンをクリック
- 5 「アンインストールが完了しました」で「OK」ボタンをクリック

- ✓ チェック!! ・アンインストーラ（アンインストールをするプログラム）は、Windows 95 の登録情報とプログラムファイルを削除します。お客様が作成されたログファイル等は削除しません。このため、アンインストーラがディレクトリの削除に失敗することがあります。この場合には、エクスプローラ、またはファイルマネージャなどを使用して削除してください。
- ・再セットアップ時以外に Masty Data Backup にて作成されるファイルにはログファイル以外にもいくつかあります。ログファイル以外は全て隠しファイルとなっています。

再追加

- 1 「プロダクトの選択」の手順 1 ~ 9 を実行（P.103）
- 2 「プロダクトの選択」で「Masty Data Backup/F」をクリック（反転表示）し、「OK」ボタンをクリック
- 3 「ようこそ」で「次へ」ボタンをクリック
- 4 「インストール先の選択」で「次へ」ボタンをクリック
- 5 「READMEファイルを読みますか」で「いいえ」ボタンをクリック
- 6 「セットアップが完了しました」で「OK」ボタンをクリック

CyberTrio-NX

概要

CyberTrio-NXは、Windows 95を利用レベルに合わせ、次の3つのモードから選べます。購入時の状態ではアドバンスモードに設定されています。

- ・カスタムモード :マイプログラムまたはカスタムデスクトップに登録しているアプリケーションのみを使用できます。
- ・ベーシックモード :システムへ影響を与える機能の動作を制限し、本機のハードウェアやソフトウェアへの予期しないダメージを防ぎます。
- ・アドバンスモード :Windows 95 へのフルアクセスが可能です。

各モード間の移行方法

各モード間を移行するには、「スタート」ボタン→「プログラム」→「CyberTrio-NX」より選びます。

カスタムモードから他のモードに変更するときの、パスワードの設定を行うことが可能です。パスワードを設定することでプログラムのファイルを操作できるベーシックモードやアドバンスモードに変更することを保護します。パスワードはベーシックモード、またはアドバンスモードで設定可能です。

- ✓**チェック!!** モードの変更を行う前に、必ず起動中の他のアプリケーションを終了させ、編集中の必要なデータなどは保存してください。

パスワードの設定方法

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「CyberTrio-NX」→「CyberTrio-NX セットアップ」をクリック
CyberTrio-NX のプロパティが表示されます。
- 2 「パスワードの設定」タブをクリック
- 3 「パスワードを設定する」にチェックし、パスワードを入力する
- 4 パスワードの確認のためにもう一度同じパスワードを入力する

5 設定を有効にするために「OK」ボタンをクリック

- ✓ **チェック!!** 入力したパスワードは忘れないようにしてください。万一パスワードをお忘れになった場合には、以下のパスワードを入力し、上位モードへ移行した後、パスワードを再設定し直してください。

緊急用パスワード: 71709981

ベーシックモードの利用範囲

ベーシックモードでは以下の点を制約しています。
これらの機能を使う場合はアドバンスモードに切り換えてお使いください。

- コントロールパネルの以下の機能
 - ・ネットワーク
 - ・モデム
 - ・マルチメディア
 - ・サウンド
 - ・システムの「デバイスマネージャ」「ハードウェア環境」タブ
 - ・プリンタで「プリンタの削除」
- レジストリエディタやシステムエディタの使用
- CyberWarner-NXを使用時および起動時は「警告あり」のモードでの起動となる（起動後は「警告なし」に変更可能）。

カスタムモードの利用範囲

カスタムモードは以下の点を制約しています。

- ・スタートメニューから選べるのは「Windowsの終了」「ヘルプ」「プログラム」だけです。
- ・マウスの右クリックは動作しません。

削除

CyberTrio-NX はベーシックモード、カスタムモードからは削除できません。

削除する前に、アドバンスモードに変更してください。

次の手順で CyberTrio-NX を削除します。

- 1 「削除の準備」の手順1～4を実行 (P.103)
- 2 「セットアップと削除」の一覧から「CyberTrio-NX」をクリック
(反転表示)して「追加と削除」ボタンをクリック
- 3 「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に
削除しますか?」のメッセージが表示されたら、「はい」ボタン
をクリック
削除がはじまります。
- 4 「CyberTrio-NX アンインストール」が表示されたら「OK」ボタン
をクリック
自動的に再起動します。

再追加

- MA33D/M の場合

- 1 「プロダクトの選択」の手順1～9を実行 (P.103)
- 2 「プロダクトの選択」で「CyberTrio-NX」をクリック(反転表示)
し、「OK」ボタンをクリック
- 3 「CyberTrio-NX セットアップへようこそ」が表示されたら、「次へ
ボタンをクリック
「インストール先の選択」が表示されます。
- 4 インストール先を変更する場合は、「参照」ボタンをクリックし、イ
ンストール先のディレクトリを選択する
- 5 「次へ」ボタンをクリック

6 「インストール」が表示されたら「OK」ボタンをクリック
自動的に再起動します。

- MA30D/M、MA23D/M の場合

1 「プロダクトの選択」の手順1～9を実行(P.103)

2 「プロダクトの選択」で「CyberTrio-NX」をクリック(反転表示)
し、「OK」ボタンをクリック

3 「CyberTrio-NX」が表示されたら、「OK」ボタンをクリック
「Select Destination Directory」が表示されます。

4 インストール先を変更する場合は、「Destination Directory」に
インストール先を入力する

5 「OK」ボタンをクリック

6 「Install」が表示されたら「OK」ボタンをクリック
自動的に再起動します。

CyberWarner-NX

概要

Windows 95の動作に影響を与えてしまうファイルを監視し、ユーザが操作中に削除または変更しようすると警告のダイアログを表示します。
また、ログファイルを採取して保守時に使用することができます。

✓ **チェック!!** 購入時の状態では本アプリケーションは起動されていません。

CyberWarner-NX を起動 / 常駐させる方法

- 1 「スタート」ボタン → 「設定」 → 「コントロールパネル」から「CyberWarner-NX」アイコンをダブルクリック
- 2 「スタートアップ」タブの「開始」ボタンをクリック
- 3 常駐させる場合は「オプション」 → 「起動時に CyberWarner-NX を実行する」のチェックボックスにチェックをつける
- 4 「OK」ボタンをクリック

CyberWarner-NX を終了する方法

- 1 タスクバーに表示されている「CyberWarner-NX」アイコン  をクリック
- 2 「終了」をクリック
- 3 「CyberWarner-NX の終了」で「はい」ボタンをクリック

ログファイルの表示

ログ対象ファイルに対して操作した場合、その操作内容がLogViewerに保存されます。

1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」から「CyberWarner-NX」をダブルクリック

2 「一般」タブの「参照」ボタンをクリック

ログビューフが表示されます。

ログビューフの上のリストに表示されている項目の説明は下記の通りです。

データ: 記録した日時を表示
 オブジェクト: ログを取得する対象ファイルを絶対パスで表示
 オーナー: 操作を行ったときに使用したアプリケーション名を表示
 メモ: 操作の状態、および、簡単な説明を表示。操作の状態は、下記のどちらかになります。

- (1) ユーザ操作
- (2) アプリケーション操作

上のリストでデータを選択すると、下のリストのフィールド名に表示される項目に対するコンテンツは下記の通りです。

管理者: 「ファイル」と表示
 復元する: バックアップファイルが使用可能かどうかを表示
 復元されました: ファイルが保守モードでの復元ボタンで、復元されたかどうかを表示
 1- 復元されました
 0- 復元されていません
 日付: 記録した日時を表示
 ソース: ログを取得する対象ファイルを絶対パスで表示
 バックアップ: バックアップファイルが存在すれば、絶対パスで表示
 オーナー: 操作を行ったときに使用したアプリケーション名を表示
 オペレーション: 変更 / 削除等、操作の種類を表示
 メモ: 操作の状態、および、簡単な説明を表示。上のリストの、メモと同様

 **チェック!!** 採取されたログファイルは保守モードでのみ操作可能です。保守モードはNECの担当員から指示があったときに使用してください。通常はご使用になれません。

ログ対象ファイルの説明

• Critical File

以下のファイル进行操作(移動・削除・修正・名前の変更)した場合、操作の確認画面が表示されます。

¥autoexec.bat

¥config.sys

¥msdos.sys

¥Windows¥command¥ * . *

¥Windows¥system¥ * .dll

¥Windows¥system¥ * .vxd

• Non Critical File

以下のファイル进行操作(移動・削除・修正・名前の変更)した場合、操作の警告画面が表示され、操作しようとしたファイルが自動的に復旧(元の状態に戻る)されます。

¥command.com

¥io.sys

¥Windows¥win.com

¥Windows¥notepad.exe

¥Windows¥regedit.exe

¥Windows¥explorer.exe

¥Windows¥system¥vmm32¥ * . *

¥Windows¥command.com

¥Windows¥himem.sys

¥Windows¥system¥sysedit.exe

¥Windows¥system¥iosubsys¥ * . *

¥Windows¥rundll.exe

¥Windows¥rundll32.exe

¥Windows¥progman.exe

¥Windows¥control.exe

¥Windows¥winfile.exe

¥Windows¥taskman.exe

¥Windows¥aztpnp.exe

¥Windows¥winsock.dll

¥Windows¥system.dat

¥Windows¥user.dat

- Special

以下のファイル进行操作(移動・削除・修正・名前の変更)した場合、操作の確認画面が表示されます。また、他のアプリケーションをインストールした場合に以下のファイルに修正が加わると自動的に修正前の状態がログファイルに保存されます。

¥Windows¥win.ini

¥Windows¥system.ini

✓ **チェック!!** ・全角文字ファイルは監視の対象になりません。

・監視対象ファイルは変更できません。

削除

✓ **チェック!!** CyberTrio-NX がインストールされている場合は、アドバンスモードにて CyberWarner-NX の削除を行ってください。

- MA33D/M の場合

- 1 CyberWarner-NX を常駐させている場合はタスクバーの右下にある「CyberWarner-NX」 をクリックし、「終了」をクリック
- 2 「CyberWarner-NX の終了」が表示されたら「はい」ボタンをクリック
- 3 「削除の準備」の手順 1 ~ 4 を実行 (P.103)
- 4 「セットアップと削除」の一覧から「CyberWarner-NX」をクリック (反転表示) して「追加と削除」ボタンをクリック
- 5 「選択したアプリケーションとそのコンポーネントを完全に削除しますか」と表示されたら「はい」ボタンをクリック
- 6 「アンインストールを有効にするために再起動する必要があります。」と表示されたら「OK」ボタンをクリック
Windows が再起動します。

- MA30D/M、MA23D/M の場合

- 1 CyberWarner-NX を常駐させている場合はタスクバーにある「CyberWarner-NX」 をクリックし、「終了」をクリック
- 2 「CyberWarner-NXの終了」が表示されたら「はい」ボタンをクリック
- 3 「削除の準備」の手順1～4を実行(P.103)
- 4 「セットアップと削除」の一覧から「CyberWarner-NX」をクリック(反転表示)して「追加と削除」ボタンをクリック
- 5 「Remove CyberWarner-NX from your system?」と表示されたら「Yes」ボタンをクリック
- 6 「This system must be restarted to complete the installation.」と表示されたら「OK」ボタンをクリック
Windows が再起動します。

再追加

 **チェック!!** CyberTrio-NX がインストールされている場合は、アドバンスモードにて CyberWarner-NX の再追加を行ってください。

- MA33D/M の場合

- 1 「プロダクトの選択」の手順1～9を実行(P.103)
- 2 「プロダクトの選択」で「CyberWarner-NX」をクリック(反転表示)し、「OK」ボタンをクリック
CyberWarner-NX のインストーラが起動します。
- 3 「CyberWarner-NX セットアップへようこそ!」と表示されたら、「次へ」ボタンをクリック
「インストール先の選択」が表示されます。
- 4 インストール先を変更する場合は、「参照」ボタンをクリックして、インストール先のディレクトリの選択を行う

- 5 「OK」ボタンをクリック
- 6 インストール先のフォルダがすでに存在する場合はメッセージが表示されるので「はい」ボタンをクリック
- 7 「次へ」ボタンをクリック
- 8 「セットアップへようこそ!」と表示されたら「次へ」ボタンをクリック
- 9 「インストールを有効にするために再起動する必要があります。」と表示されたら「OK」ボタンをクリック

 **チェック!** 再追加すると、本機起動時に「CyberWarner-NX」が実行する設定になります。

- MA30D/M、MA23D/M の場合

- 1 「プロダクトの選択」の手順1～9を実行(P.103)
- 2 「プロダクトの選択」で「CyberWarner-NX」をクリック(反転表示)し、「OK」ボタンをクリック
CyberWarner-NX のインストーラが起動します。
- 3 「OK」ボタンをクリック
「Select Destination Directory」が表示されます。
- 4 インストール先を変更する場合は、「Destination Directory」にインストール先を入力する
- 5 「OK」ボタンをクリック
- 6 インストール先のフォルダがすでに存在する場合はメッセージが表示されるので「Yes」ボタンをクリック
- 7 「Installation has completed successfully.」と表示されたら「OK」ボタンをクリック

 **チェック!** 再追加すると、本機起動時に「CyberWarner-NX」が実行する設定になります。



AOL

概要

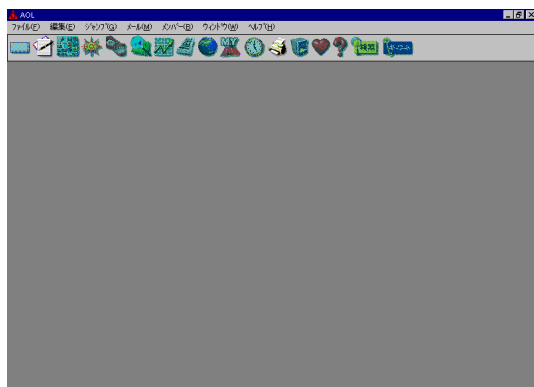
「アメリカ・オンライン」プロバイダーへの接続アプリケーションです。
登録後1カ月の間、最初の50時間はすべてのサービスを無料で利用(試用)することができます(1998年1月現在)。
試用が終わって、退会する場合は電話で通知します。TEL(03)5331-7400

- ☑ **チェック!!** ・50時間または1ヶ月が過ぎると自動的に正会員に登録されますので、ご注意ください。
- ・AOLは購入時の状態ではインストールされていません。AOLを使用する場合は「追加」の手順を参照してAOLをインストールしてください。
 - ・LAN経由で接続する場合は、ネットワーク管理者にご相談の上、TCP/IPを組み込んでから、AOLをインストールしてください。

参照 ▶ AOLへの入会方法や使い方 → 『AOLハンドブック』

起動方法

- 1** 「スタート」ボタン → 「プログラム」 → 「AOL」の「AOLの世界へようこそ!」をクリック



「AOL」の追加

「AOL」のセットアップを説明します。

✓チェック!! LAN経由で接続する場合は、ネットワーク管理者にご相談の上、TCP/IPを組み込んでからインストールを開始してください。

- 1** 本機添付の「アプリケーションCD-ROM」をCD-ROMドライブにセットする
- 2** デスクトップ上の「AOL へのご招待」アイコンをダブルクリック
AOL の紹介画面が表示されます。
しばらくすると「次へ」ボタンが表示されますので、次々と「次へ」ボタンをクリックしていき、画面の内容を読んでいってください。「次へ」ボタンを数回クリックすると、「AOLアクセスソフトのインストール手順」が表示されます。
- 3** 「インストール開始」ボタンをクリック
「AOL セットアッププログラムへようこそ」が表示されます。
- 4** 「開始」ボタンをクリック

✓チェック!! 「モデムが見つかりませんでした」と表示された場合、画面の指示に従ってください。

- 5 表示された画面で「インストール」ボタンをクリック
インストールが始まります。
途中で「AOL のショートカットを作成します」ウインドウが表示されます。
- 6 「OK」ボタンをクリック
「お疲れさまでした。」と表示されます。
- 7 「OK」ボタンをクリック
- 8 「AOL のインストールが完了しました」と表示された場合は、「再起動」ボタンをクリック

「AOL」の削除

- 1 「削除の準備」の手順 1 ~ 4 を実行 (P.103)
- 2 「セットアップと削除」の一覧から「AOL」をクリック(反転表示)
して「追加と削除」ボタンをクリック
「AOL for Windows アンインストーラー」が表示されます。
- 3 AOLが複数インストールされている場合は「標準モード」のチェックマークを外し、「OK」ボタンをクリック
複数インストールされている場合は、画面の指示に従ってください。
- 4 「アンインストールするAOLのディレクトリ」の表示で「OK」ボタンをクリック
削除が始まります。
- 5 「AOLの削除は正常に終了しました」というメッセージが表示されたら「OK」ボタンをクリック
- 6 再起動を促すメッセージが表示されたら「再起動」ボタンをクリック

「AOL へのご招待」の削除

- 1 「削除の準備」の手順 1 ~ 4 を実行 (P.103)
 - 2 「セットアップと削除」の一覧から「AOL へのご招待」をクリックし(反転表示)して「追加と削除」ボタンをクリック
 - 3 「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリック
- ✔ チェック!! 「共有ファイルを削除しますか」と表示されたら「すべていいえ」ボタンをクリックしてください。
- 4 「アンインストールが完了しました」で「OK」ボタンをクリック

「AOL へのご招待」の再追加

- 1 「プロダクトの選択」の手順 1 ~ 9 を実行 (P.103)
- 2 「プロダクトの選択」で「AOL へのご招待」をクリック(反転表示)し「OK」ボタンをクリック
- 3 「ようこそ」で「次へ」ボタンをクリック
- 4 「インストール先の選択」で「次へ」ボタンをクリック
インストールが始まります。

✔ チェック!! 「読み取り専用のファイルの検出」ウィンドウが表示されたら「いいえ」ボタンをクリック

- 5 「セットアップが完了しました。」と表示されたら「OK」ボタンをクリック



NIFTY MANAGER for Windows95

概要

パソコン通信の「NIFTY SERVE」が利用できます。

- ✔ **チェック!!** NIFTY SERVE サインアップ、NIFTY MANAGER は、購入時の状態ではインストールされていません。これらをお使いになる場合は「追加」の手順を参照してNIFTY MANAGER をインストールしてください。

参照▶ NIFTY SERVE への入会方法 → 『ニフティサーブ イントロバック』

起動方法

「NIFTY SERVE サインアップ」の起動

- 1 「スタート」ボタン → 「プログラム」 → 「NIFTY MANAGER」の「NIFTY SERVE サインアップ」をクリック
NIFTY SERVE サインアップのウィンドウが表示されます。

「NIFTY MANAGER」の起動

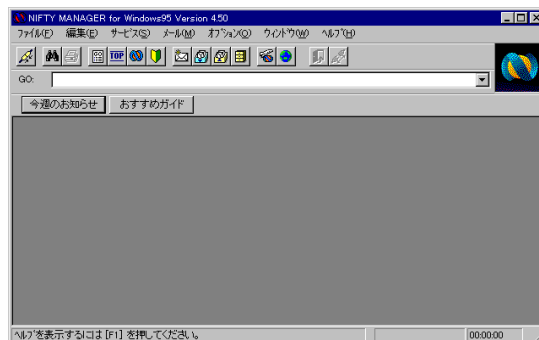
- 1 「スタート」ボタン → 「プログラム」 → 「NIFTY MANAGER」の「NIFTY MANAGER」をクリック
NIFTY MANAGER のウィンドウが表示されます。

主画面

NIFTY SERVE サインアップの初期ウィンドウ



NIFTY MANAGER の初期ウィンドウ



- 1 「プロダクトの選択」の手順1～9を実行(P.103)
- 2 「プロダクトの選択」で「NIFTY MANAGER for Windows 95 Ver.4.50」をクリック(反転表示)し「OK」ボタンをクリック
- 3 「ようこそ」と表示されたら「次へ」ボタンをクリック
- 4 利用規約が表示されます。よくお読みになり、同意する場合は「はい」ボタンをクリック
- 5 「インストール先の選択」で「次へ」ボタンをクリック
- 6 「情報を引き継ぎますか?」と表示されたら「いいえ」ボタンをクリック
インストールが始まります。
- 7 「デスクトップにNIFTY MANAGER for Windows 95のショートカットを置きますか?」と表示されます。デスクトップにショートカットを作成する場合は「はい」ボタンを、作成しない場合は「いいえ」ボタンをクリック

 **チェック!!** ・「コントロールパネル」の「アプリケーションの追加と削除」の一覧に「Data Access Objects(DAO)3.5」が追加されますが、削除しないでください。DAOを削除すると、他のアプリケーションでヘルプを使用できなくなる場合があります。

- ・「データベースが正しく変換されませんでした」と表示された場合は、画面の指示に従い、インストール後「スタート」ボタン→「プログラム」→「NIFTY MANAGER」に登録されている「データ変換プログラム」を起動してください。

- 8 「README ファイルを読みますか?」と表示されます。読む場合は「はい」ボタンを、読まない場合は「いいえ」ボタンをクリック
- 9 「セットアップが完了しました」と表示されたら「OK」ボタンをクリック

- 10 「Hyper ROADに接続するための、ダイヤルアップネットワークの設定を行いますか?」と表示されたら「いいえ」ボタンをクリック
- 11 「再起動しますか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリック

削除

- 1 「削除の準備」の手順 1 ~ 4 を実行 (P.103)
- 2 「セットアップと削除」の一覧から「NIFTY MANAGER for Windows 95 Ver4.50」をクリック (反転表示) して「追加と削除」ボタンをクリック
- 3 「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリック
削除が始まります。
- 4 削除を開始して間もなく共有ファイルの削除を確認する画面が表示されるので「すべていいえ」ボタンをクリック
- 5 「アンインストールが完了しました。」と表示されたら「OK」ボタンをクリック

Timer-NX

概要

Timer-NX には以下の機能があります。

1. タイマー機能により、指定した時刻に本機の電源をオンにし、アプリケーションを起動することができます。
2. リング機能により、電話やFAX 受信時に本機の電源をオンにし、アプリケーションを起動することができます。
3. タイマー/リング機能とも、終了時刻を指定すると自動的に電源を切ることができます。
4. オフタイマ機能により、本機の電源を指定した時刻に切る(またはサスペンドする)ことができます。
5. リング設定時には、DMITool のリモートパワーオン機能により、LAN 接続の他のコンピュータから本機の電源を入れることができます。

タイマー機能

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Timer-NX」をクリック
「Timer-NX」画面が表示されます。



2 曜日を指定

「Timer-NX」の「曜日指定」欄で曜日をクリックします。毎日のときは「毎日」をクリックします。指定した曜日は黄色で表示されます。

3 タイマプログラムの番号を指定

タイマプログラムとは、予定表のようなものです。ユーザーが作成したこの予定表(タイマプログラム)にしたがって「Timer-NX」は動作します。タイマプログラムは、ひとつの曜日に3つまで指定することができます。

4 起動するアプリケーションを指定

起動するアプリケーションを「Timer-NX」の「実行ファイル」メニューで指定します。メニューに起動したいアプリケーションが無い場合はメニューの一番下の「任意指定」をクリックし、アプリケーションを指定します。

5 「電源オン」と「電源オフ」の時刻を指定

「Timer-NX」の「電源オン」ボタンをクリック

「電源オン」ボタンが赤色の枠線で囲まれ、「現在時刻」の右に時計のアイコンが表示され、タイマーが設定されたことを表します。

自動的に電源をONしたい時刻を設定

数字の上を左クリックすると時刻表示が1ずつ大きくなり、右クリックすると1ずつ小さくなります。

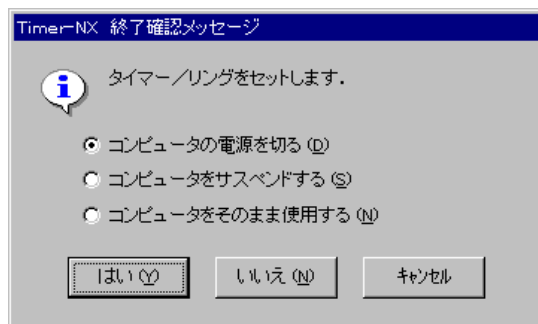
「電源オフ」ボタンをクリック

「電源オフ」ボタンが赤色の枠線で囲まれます。

「電源オフ」する時刻を設定

時刻の設定のしかたは、手順と同じです。

6 各項目の指定が終了したら、「OK」ボタンをクリック 次の画面が表示されます。



● オプション

・コンピュータの電源を切る

「Timer-NX」を終了して、Windowsを終了した後、本機の電源を切ります。

・コンピュータをサスペンドする

「Timer-NX」を終了して、本機をサスペンド状態にします。

・コンピュータをそのまま使用する

「Timer-NX」のみを終了して、本機はそのまま使うことができます。

7 オプションを選んで「はい」ボタンをクリック

タイマプログラムの設定が有効になります。

「いいえ」をクリックすると、設定を廃棄して「Timer-NX」を終了します。

「キャンセル」をクリックすると、設定画面に戻ります。

✓ チェック!! タイマー機能を利用するときの注意

(1) タイマプログラムで「電源オン」/「電源オフ」を設定するときの注意

タイマプログラムで電源を入れると、指定した時刻の本機の状態によって次のようになります。

・ 本機の電源が切れている場合

タイマプログラムで指定した時刻に本機の電源が入り、指定されたアプリケーションを起動します

・ 本機の電源が入っている場合

タイマプログラムで指定した時刻に、指定されたアプリケーションプログラムを起動します。

- ・ 本機がサスペンド状態の場合
タイマプログラムで指定した時刻に本機をレジュームし、指定されたアプリケーションを起動します。

タイマプログラムでの「電源オフ」は、タイマプログラムの「電源オン」機能が働いたときの本機の状態に戻す機能です。必ずしも本機の電源を切るわけではなく、次のようになります。

- ・ 本機の電源が切れていた場合
アプリケーションを終了し、本機の電源を切ります。
- ・ 本機の電源が入っている場合
本機の電源は入ったままになります。アプリケーションも終了しません。
- ・ 本機がサスペンド状態の場合
本機をサスペンドします。アプリケーションは終了しません。

(2) タイマプログラムで指定できる時刻

タイマプログラムでは2日間にまたがる設定が可能です。

たとえば、当日の23:00に電源を入れ、翌日の3:00に電源を切る場合は、次のように設定します。

「電源オン」23:00

「電源オフ」27:00 ← 翌日の午前3時を表します。

この設定では、最大次の設定が可能です。

「電源オン」00:00

「電源オフ」47:59 ← 翌日の午後11時59分を表します。

(3) その他のご注意

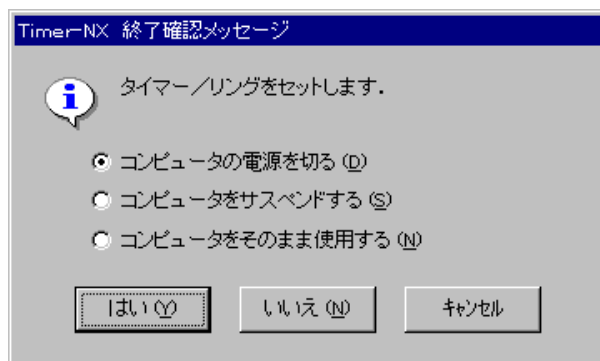
- ・ タイマ設定を行う場合は、Windowsパスワードの設定やネットワークの設定を行わないでください。Windowsパスワードやネットワークが設定されていると、指定したアプリケーションの自動起動は実行できません。リングによって自動で電源を入れる場合も同じです。
- ・ タイマ設定を行っても、本体の電源ケーブルがACコンセントに接続されていないときや停電時は、タイマで電源を入れることはできません。ただし、もう一度電源を入れ、Windowsを起動すると、タイマは再設定されます。
- ・ 電源を切る時刻を指定しない場合は、自動的に電源が入っても、自動的に電源を切ることはできません。
- ・ 自動的に電源を切らない場合は、「電源オフ」ボタンをクリックせずに、ボタンが上がった状態にしてください。
- ・ タイマで指定した時刻とほぼ同じ時刻に、手操作で電源を入れた場合には、タイマ起動と判断される場合があります(2~3分の誤差があります)
- ・ 電源オフの時間から、次の電源オンの時間は5分以上あけてください。

リング機能

自動電源 ON リングでは、電話 / FAX 受信時の自動電源 ON の設定 / 解除と、そのときに起動するアプリケーションや終了時間を指定できます。また、リング設定時には、DMITOOlによるリモートパワーオン機能がご利用になれます。

- 1 「スタート」ボタン → 「プログラム」 → 「Timer-NX」をクリック
Timer-NX が起動します。
- 2 起動するアプリケーションを指定
起動するアプリケーションを「Timer-NX」の左下の「実行ファイル」ボタンで指定します。
- 3 電話の絵のボタンをクリック
電話が黄色く表示されます。
- 4 「OFF」ボタンをクリック
「自動電源断の設定」ウィンドウが表示されます。
10 分間隔で終了時間を設定します。自動的に電源を入れた後、設定した時間が経過すると電源を切ります。
「通信ポートを監視する」をチェックすると、アプリケーションでFAXモデムボード(PK-UG-X001)の通信ポートが使われているかどうかチェックし、使われていない場合のみ、電源を切ります。
- 5 各項目の指定が終了したら、「OK」ボタンをクリック
「Timer-NX」ウィンドウに戻ります。

6 「OK」ボタンをクリック 次の画面が表示されます。



● オプション

・ コンピュータの電源を切る

「Timer-NX」を終了して、Windowsを終了した後、本機の電源を切ります。

・ コンピュータをサスペンドする

「Timer-NX」を終了して、本機をサスペンド状態にします。

・ コンピュータをそのまま使用する

「Timer-NX」のみを終了して、本機はそのまま使うことができます。

7 オプションを選んで「はい」ボタンをクリック

タイマプログラムの設定が有効になります。

「いいえ」ボタンをクリックすると、設定を廃棄して「Timer-NX」を終了します。

「キャンセル」ボタンをクリックすると、設定画面に戻ります。

✓ チェック!! リング機能を使用するときの注意

- ・ 電話やFAXによる電源オン/オフの機能をご利用になる場合には、別売りのFAX モデムボードセット (PK-UG-X001) が必要です。ただし、この場合、FAXモデムボードによる電源オン/オフの機能と、内蔵のLANボードによるリモートパワーオン機能はどちらか一方しか使用できません。
- ・ DMITOOLによるリモートパワーオン機能については、本機内蔵のLANボードによりご利用になれます。詳細についてはDMITOOLの説明をご覧ください

い。また、リモートパワーオン機能で電源がオンになった場合には、リングで設定したアプリケーションは起動しません。

- ・DMIToolによるリモートパワーオン機能をご利用になる場合には、起動するアプリケーションの設定は不要です。リングボタン（電話の絵のボタン）のみ設定してください。
- ・Timer-NX では、リング機能でレジュームまたは電源 ON した後、一定時間が経過すると自動的にサスペンドまたは電源を切る設定を行うことができますが、通信中にサスペンドしないようにサスペンドするまでの時間を十分に長く設定してください。通信中にサスペンドした場合、回線が接続されたままになります（電話機の受話器をあげた状態と同様です）。このため、長時間パソコンを離れる場合には、自動でサスペンドする設定にはしないでください。
- ・リング機能は、本機の電源が切れている状態、またはサスペンド状態のときに動作します。本機の電源が入っているときには、動作しません。
- ・通信が終了しても、自動着信指定されたFAXソフトなど、通信ポートを使用し続けるアプリケーションを使用する場合、「通信ポートを監視する」を設定すると、いつまでも自動でサスペンド（または電源を切る）されません。このようなアプリケーションソフトを利用してサスペンド（または電源を切る）機能を利用する場合には、「通信ポートを監視する」を設定しないようにしてください。
- ・リングのセット後、サスペンドした場合は、すぐに本機が動作状態に移行できるように一部の電源が入った状態で待機しています。
- ・リングのセット後、本機の電源を切った場合は、Windows の起動に時間がかかりますが、サスペンドした場合より、消費電力をより節約できます。

オフタイマ機能

自動電源 OFF タイマーを使うと、指定した時刻に本機の電源を切ることができます。

- 1 「スタート」ボタン → 「プログラム」 → 「Timer-NX」をクリック
Timer-NX が起動します。
- 2 「オフタイマ」ボタンをクリック
OffTimer 画面が表示されます。
- 3 画面の数字上をマウスでクリックして、時刻設定を行う
数字上を左クリックすると時刻表示が1 ずつ大きくなり、右クリックすると1 ずつ小さくなります。表示時間は24 時間モードです。

- 4 「OK」ボタンを左クリック
「OffTimer 終了確認メッセージ」ウインドウが表示されます。

✓チェック!! 「キャンセル」ボタンをクリックすると、タイマーが解除されます。

- 5 電源を切るか、サスペンド状態にするかを選ぶ

- 6 「はい」ボタンをクリック

✓チェック!! 「いいえ」ボタンをクリックすると、設定が解除されます。

✓チェック!! オフタイマ機能を利用するときの注意

- (1) 自動電源 OFF が行われた場合、電源が切れず、メッセージが表示される場合があります。その場合はメッセージに従って処理を終了させ、Windowsを終了させてください。
- (2) タイマー設定を行っても、以下の場合はタイマーによる自動電源OFF は起こりません。
 - ・無条件に終了できないアプリケーションが起動されていた場合
 - ・OffTimer を終了させてしまった場合

削除

- 1 「削除の準備」の手順 1 ~ 4 を実行 (P.103)
- 2 「セットアップと削除」の一覧から「Timer-NX」をクリック(反転表示)して「追加と削除」ボタンをクリック
- 3 「Timer-NX とそのすべてのコンポーネントを削除しますか?」のメッセージが表示されたら「はい」ボタンをクリック
削除が始まります。

✓チェック!! 削除中、Timer-NX が使用している共有ファイルの削除確認メッセージが表示される場合があります。これらの共有ファイルが他のアプリケーションでも、使用されている場合は、「保存」ボタンをクリックしてください。
使用されていない場合は「削除」ボタンをクリックしてください。使用されているか不明な場合は「保存」ボタンをクリックしてください。

- 4 「削除されました」と表示されたら「OK」ボタンをクリック

再追加

- 1** 「プロダクトの選択」の手順 1 ~ 9 を実行 (P.103)
- 2** 「プロダクトの選択」で「Timer-NX」をクリック (反転表示) して、「OK」ボタンをクリック
- 3** 「Timer-NXのセットアップを始めます。」のメッセージが表示されたら「OK」ボタンをクリック
- 4** 「セットアップを開始するには大きなボタンをクリックしてください。」と表示されたらパソコンの絵が描かれているボタンをクリック
インストールが始まります。
- 5** 「Timer-NX のセットアップが完了しました。」と表示されたら、「OK」ボタンをクリック

プレーヤ-NX

概要

音楽CD(オーディオCD)、ビデオCD、カラオケCD、フォトCDを再生表示します。

- ✓ **チェック!!** プレーヤ-NXは、購入時の状態ではインストールされていません。プレーヤ-NXをお使いになる場合は「追加」の手順を参照してプレーヤ-NXをインストールしてください

対応するCD

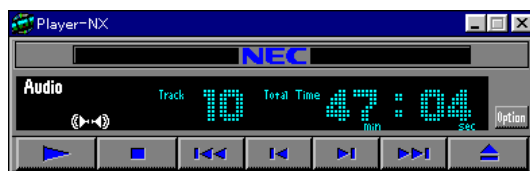
音楽CD(オーディオCD)、ビデオCD(Ver1.1) / カラオケCD(Ver1.1)、ビデオCD(Ver2.0)、フォトCD、フォトCD ポートフォリオ

起動方法

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」→「マルチメディア」の「プレーヤ-NX(CDプレーヤ)」をクリック
プレーヤ-NXのウィンドウが表示されます。

主画面

音楽CD(オーディオ)の場合



CD の場合



フォトCD の場合



追加

- 1 「プロダクトの選択」の手順 1 ~ 9 を実行 (P.103)
- 2 「プロダクトの選択」で「プレーヤ-NX」をクリック (反転表示) し、「OK」ボタンをクリック
- 3 「ようこそ! プレーヤ-NX の世界へ」で「次へ」ボタンをクリック
- 4 「Folder Selection」で「次へ」ボタンをクリック
インストールが始まります。
- 5 「プレーヤ-NX は正しくインストールされました。」と表示されたら
「OK」ボタンをクリック

削除

- 1 「削除の準備」の手順 1 ~ 4 を実行 (P.103)
 - 2 「セットアップと削除」の一覧から「プレーヤ-NX」をクリック(反転表示)して「追加と削除」ボタンをクリック
 - 3 「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリック
削除が始まります。
- ✔ チェック!! 「共有ファイルを削除しますか?」と表示された場合は「すべていいえ」ボタンをクリックしてください。
- 4 「アンインストールが完了しました」と表示されたら「OK」ボタンをクリック



英語モードフォントを使用する

日本語モードフォントのままで、海外製 Windows 95 アプリケーションを Windows 95 で利用する場合、著作権(©)や登録商標(®)(\)が正しく表示されません。そのため、使用するフォントの一部を英語モードフォントに切り替えて正しく表示する必要があります。また、その逆に英語モードフォントのままで、日本語版 Windows 95 アプリケーションを Windows 95 で利用する場合も、正しく表示されない文字があります。

それぞれのモードでの表示状態については、次の通りです。

	海外製 Windows 95 アプリケーションを使用	日本語版 Windows 95 アプリケーションを使用
日本語モードフォント	「©」→「㊦」、「®」→「㊤」、 「\」→「¥」	正しく表示される
英語モードフォント	正しく表示される	「㊦」→「©」、「㊤」→「®」、 「¥」→「\」

英語モードへの切り替え

使用するフォントを日本語モードフォントから英語モードフォントに切り替えます。

- 1 CD-ROM ドライブに本機添付の「アプリケーション CD-ROM」をセットする
- 2 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリック
- 3 「フォント」をダブルクリック
「Fonts」ウィンドウが表示されます。
- 4 「ファイル」→「新しいフォントのインストール」をクリック
「フォントの追加」画面が表示されます。
- 5 「ドライブ」に CD-ROM ドライブ(通常は「Q:」)を指定し、
「フォルダ」で「usfont」フォルダをダブルクリック

- 6 「フォントの一覧」のリストボックスに、
「EnglishModeFixedSys(Set#6)」「EnglishModeSystem
(Set#6)」「EnglishModeTerminal(Set#6)」が表示されることを
確認してから、「すべて選択」ボタンをクリックした後、「OK」ボ
タンをクリック
「Fonts」フォルダ内に英語モードフォントが追加され、英語モードフォ
ントに切り替わります。

✓ **チェック!!** 使用しているフォントが英語モードフォントのままで、日本語版Windows 95ア
プリケーションをWindows 95で利用すると、「ㇿ」、「ヨ」、「ㇾ」が正しく表示されな
くなります。この場合、英語モードフォントを日本語モードフォントに切り替えてく
ださい。

日本語モードフォントへの切り替え

- 1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリック
「Fonts」ウィンドウが表示されます。
- 2 「フォント」をダブルクリック
- 3 「フォント」フォルダ内の「EnglishModeFixedSys(Set#6)」「EnglishModeSystem(Set#6)」「EnglishModeTerminal
(Set#6)」「(実際には名前が短く表示されることもあります)」を選択
し、「ファイル」の「削除」を選ぶ
- 4 「これらのフォントを削除してもよろしいですか?」というメッセージ
が表示されたら、「はい」ボタンをクリック
英語モードフォントが削除され、日本語モードフォントに切り替わります。

✓ **チェック!!** 使用しているフォントが日本語モードフォントのままで、海外版Windows 95ア
プリケーションをWindows 95で利用すると、著作権(©)や登録商標(®)が正
しく表示されなくなります。この場合、日本語モードフォントを英語モードフォ
ントに切り替えてください。

付 録

この章の内容

Windows 95 で MS-DOS モードを利用する	194
Windows NT 4.0 を利用する	199
機能一覧	210
割り込みレベル一覧	213
DMA チャンネルの割り当て	214
本機のお手入れ	215
索引	218



Windows 95 で MS-DOS モード を利用する

Windows 95 の MS-DOS モードを利用するときの注意事項を説明しています。

MS-DOS モードを利用する

MS-DOS モードを利用すると、MS-DOS で起動したときと同じような環境で本機を使うことができます。

本機を MS-DOS モードで再起動する

MS-DOS モードを利用するには、次のように操作します。

- 1 「スタート」ボタン→「Windows の終了」をクリック
- 2 「MS-DOS モードで再起動する」をクリックして、「OK」ボタンをクリック
本機が MS-DOS モードで再起動します。

MS-DOS モードを終了する

- 1 コマンドプロンプトの画面から、次のように入力
EXIT【Enter】
Windows 95 が再起動します。



MS-DOS モードと MS-DOS プロンプトの違い

MS-DOS を利用するには、「MS-DOS モード」と「MS-DOS プロンプト」とがあります。

「MS-DOS モード」は、MS-DOS で起動したときと同じような環境になるため、他のアプリケーションと一緒に使うことはできません。

「MS-DOS プロンプト」は、MS-DOS を Windows 95 上でマルチタスクのアプリケーションとして使用できるようにしたものです。

「MS-DOS プロンプト」を利用するには、次のように操作します。

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「MS-DOS プロンプト」をクリック
「MS-DOS プロンプト」ウインドウが表示されます。
なお、コマンドやアプリケーションによっては、「MS-DOS モード」もしくは「MS-DOS プロンプト」からは使用できないものもあります。

CD-ROM ドライバ(本機内蔵 CD-ROM ドライブ)

本機は、工場出荷時の状態では、MS-DOS モードで CD-ROM ドライブを使用することはできません。MS-DOS モードで本機内蔵の CD-ROM ドライブを使用する場合は、次の手順が必要です。

現在の MS-DOS 設定を使う場合

現在の MS-DOS 設定を使う場合、MS-DOS モード上で CD-ROM ドライブを使用するには、次の手順で行ってください。

- 1 「スタート」ボタン→「Windows の終了」をクリック
- 2 「MS-DOS モードで再起動する」を選択して、「OK」ボタンをクリック
本機が MS-DOS モードで再起動します。
- 3 コマンドプロンプトの画面から次のように入力する
SETCD【Enter】
CD-ROM ドライバの設定方法に関する説明が表示されます。
- 4 コマンドプロンプトの画面から次のように入力します
EXIT【Enter】
Windows 95 が再起動します。
- 5 手順3で画面に表示された指示に従って、CONFIG.SYSに次の内容のいずれかを追加し、接続されているCD-ROMドライブに対応したCD-ROM ドライバを登録する
Windows 95 がインストールされているドライブおよびフォルダをC:¥WINDOWS とします。

・追加する内容 1

DEVICE=C:¥WINDOWS¥COMMAND¥NECCD.SYS /D:
MSCD001

・追加する内容 2

DEVICE=C:¥WINDOWS¥COMMAND¥NECCDDRV.SYS
DEVICE=C:¥WINDOWS¥COMMAND¥NECCD.SYS /D:
MSCD001

6 CONFIG.SYS に次の内容を追加する

・追加する内容

lastdrive=Z

7 DOSSTART.BAT に次の内容を追加する

CD-ROM を割り当てるドライブを Q ドライブとします。

・追加する内容

C:¥WINDOWS¥COMMAND¥MSCDEX /D:MSCD001 /L:Q

CONFIG.SYS や DOSSTART.BAT は「メモ帳」など、テキストデータを扱うことができるソフトウェアで編集します。

8 「スタート」ボタン→「Windows の終了」をクリック

9 「再起動する」を選択して、「OK」ボタンをクリック 本機を再起動します。

10 「スタート」ボタン→「Windows の終了」をクリック

11 「MS-DOS モードで再起動する」を選択して、「OK」ボタンをクリック MS-DOS モードが起動します。

新しい MS-DOS 設定を指定する場合

新しい MS-DOS 設定を指定する場合、MS-DOS モード上で CD-ROM ドライブを使用するには、次の手順で行ってください。

1 「スタート」ボタン→「Windows の終了」をクリック

- 2 「MS-DOS モードで再起動する」を選び、「OK」ボタンをクリック
本機が MS-DOS モードで再起動します。
- 3 コマンドプロンプトの画面から次のように入力する
SETCD【Enter】
CD-ROM ドライバの設定方法に関する説明が表示されます。
- 4 コマンドプロンプトの画面から次のように入力します
EXIT【Enter】
Windows 95 が再起動します。
- 5 「エクスプローラ」を起動する
(「スタート」ボタン→「プログラム」→「エクスプローラ」)
「エクスプローラ」ウィンドウが表示されます。
- 6 新しい MS-DOS 設定を指定したいプログラムをクリック
プログラム名が反転表示されます。
- 7 「エクスプローラ」の「ファイル」メニューから「プロパティ」をクリック
「プロパティ」ウィンドウが表示されます。
- 8 「プログラム」タグをクリックして、「詳細設定」ボタンをクリック
「プログラムの詳細設定」ウィンドウが表示されます。
- 9 「MS-DOS モード」をクリックして、「新しい MS-DOS 設定を指定する」チェックボックスにチェックをつける
CONFIG.SYS と AUTOEXEC.BAT の内容が編集できるようになります。
- 10 CONFIG.SYS のリストボックスに、手順 3 で画面に表示された指示に従って、次の内容のいずれかを追加する
Windows 95 がインストールされているドライブおよびフォルダを
C:¥WINDOWS とします。
・追加する内容 1
DEVICE=C:¥WINDOWS¥COMMAND¥NECCD.SYS /D:
MSCD001

・追加する内容 2

DEVICE=C:¥WINDOWS¥COMMAND¥NECCDDRV.SYS

DEVICE=C:¥WINDOWS¥COMMAND¥NECCD.SYS /D:
MSCD001

11 CONFIG.SYS のリストボックスに、次の内容を追加する

・追加する内容

lastdrive=Z

12 AUTOEXEC.BAT のリストボックスに、次の内容を追加する
CD-ROM を割り当てたドライブを Q とします。

・追加する内容

C:¥WINDOWS¥COMMAND¥MSCDEX /D:MSCD001 /L:Q

13 「OK」ボタンをクリック

「プログラムの詳細設定」ウィンドウが閉じます。

14 「OK」ボタンをクリック

「プロパティ」ウィンドウが閉じます。

15 「エクスプローラ」で新しい MS-DOS 設定を指定したプログラム
をダブルクリック

MS-DOS モードが起動します。

Windows NT 4.0 を利用する

MA33D / M で別売の Windows NT Workstation 4.0 や Windows NT Server 4.0(以下、Windows NT 4.0)を利用する場合のセットアップ手順およびアップグレード手順について説明します。

MA30D/M、MA23D/M をご利用の場合は、別売の「Microsoft® Windows NT® Version 4.0 アップグレード用差分モジュール B」(PS-NX8014YA-C1)が必要です。セットアップ手順およびアップグレード手順については添付の説明書をご覧ください。

ここでの説明では次のようなドライブ構成を想定しています。これと異なるドライブ構成で利用する場合は読み替えてください。

Windows 95 がインストールされているドライブ

: Cドライブ

フロッピーディスクドライブ

: Aドライブ

Windows NT 4.0 をセットアップする前に

次の手順で、本機にWindows NT 4.0をセットアップし、アップグレードを行います。

✓ **チェック!!** 必ず、ここに書いてある手順通りにセットアップ、アップグレードを行ってください。

- ・「Windows NT 4.0 アップデートディスク」の作成
- ・システム設定の変更
- ・Windows NT 4.0 のセットアップ
- ・ドライバのアップデート
- ・内蔵アクセラレータ対応ドライバのセットアップ
- ・内蔵サウンド対応ドライバのセットアップ
- ・BIOS セットアップユーティリティのセットアップ

セットアップを開始する前に、次のことを確認してください。

- ・フロッピーディスクの用意

あらかじめ、フロッピーディスクを4枚用意してください。なお、次のことに注意してください。

- ・1.44 M バイトでフォーマットしておくこと
- ・フォーマット時にシステムの転送は行わないこと
- ・それぞれ「システム修復ディスク」「Windows NT 4.0 アップデートディスク 1」「Windows NT 4.0 アップデートディスク 2」「Windows NT 4.0 用 BIOS セットアップユーティリティ」と書いたラベルを貼っておくこと。
- ・README.TXT を読む
最初の手順で作成する「Windows NT 4.0 アップデートディスク 1」のルートディレクトリにある「README.TXT」には、マニュアルに記載されていない補足事項が書かれています。セットアップを行う前に必ずお読みください。
- ・ドライバのインストール
ドライバのインストールを行う場合は、アドミニストレータの権限を持ったユーザーが行ってください。

Windows NT 4.0 のセットアップとアップグレード

「Windows NT 4.0 アップデートディスク 1、2 」、 「Windows NT 4.0 用 BIOS セットアップユーティリティ」の作成

次の手順で、「Windows NT 4.0 アップデートディスク 」、 「Windows NT 4.0 用 BIOS セットアップユーティリティ」を作成します。

- 1** 内蔵ハードディスクから Windows 95 を起動する
- 2** MS-DOS プロンプトを起動する
(「スタート」ボタン→「プログラム」→「MS-DOS プロンプト」)
- 3** 「Windows NT 4.0 アップデートディスク 1」をフロッピーディスクドライブにセットする
あらかじめ用意しておいたフロッピーディスクのうち、「Windows NT 4.0 アップデートディスク 1」というラベルを貼ったものです。
- 4** フロッピーディスクにファイルをコピーする
コマンドプロンプトから次のように入力します。
(CDNTUP のあとのフロッピーディスクドライブ名にコロン「:」をつけないこと)
C:【Enter】

CD ¥NT40【Enter】
CDNTUP A【Enter】

あとは画面の指示に従って「アップデートディスク1」「アップデートディスク2」「BIOS セットアップユーティリティ」の作成を行ってください。

システム設定の変更

BIOS セットアップメニューで、次のようにシステム設定を変更してください。

 **チェック!!** この操作は、Windows NT 4.0 を利用する場合のみ行ってください。

- 1 本機の電源を入れる
- 2 「NEC」のロゴの表示画面で、【F2】を押す
- 3 【→】を押して、BIOS セットアップメニューを起動する
- 4 メインメニューで次のように設定する
 - ・プライマリマスタ
 - タイプ : ユーザ
 - UltraDMA モード : 使用しない
- 5 詳細メニューで、次のように設定する
 - ・プラグ&プレイ OS : いいえ
 - ・周辺機器の設定
 - シリアルポートA : 使用する
 - シリアルポートB : 使用する
 - パラレルポート : 使用する
- 6 省電力管理メニューで次のように設定する
 - 入力装置によるレジューム : オフ
- 7 「変更を保存して終了する」でBIOS セットアップメニューを終了させて、本機の電源を切る

Windows NT 4.0 のセットアップ

Windows NT 4.0 添付のマニュアルをご覧ください、次の手順でセットアップを行ってください。

ただし、次のことに注意してください。

- Windows NT 4.0 のセットアップが正常に終了したら、次の「ドライバのアップデート」の手順に進むこと。

- 1 「Windows NT 4.0 Setup Disk 1」をフロッピーディスクドライブにセットして本機の電源を入れる
- 2 画面の指示にしたがってセットアップを行う
セットアップの途中で、「キーボードの種類の選択」ウインドウが表示されます。
- 3 106 日本語キーボードを選択する(【半角 / 全角】を押す)
「コンピュータには次のハードウェアとソフトウェアがあります。」と表示されます。
- 4 【↑】で「キーボード:」の「106 日本語キーボード」を選んで、【Enter】を押す
「インストールするキーボードの種類を変更します。」と表示されます。
- 5 【↓】で「その他(ハードウェアメーカー提供のディスクが必要)」を選んで、【Enter】を押す
「次のラベルの付いたディスクをドライブ A: に挿入してください。」と表示されます。
- 6 フロッピーディスクドライブに「Windows NT 4.0 アップデートディスク1」をセットし【Enter】を押す
「ハードウェアメーカーから提供されたキーボードをインストールします。」と表示されます。
- 7 「USB Keyboard with Mouse (USB 109 日本語キーボード (JIS 配列))」が選ばれていることを確認して、【Enter】を押す
「コンピュータには次のハードウェアとソフトウェアがあります。」のウインドウに戻ります。
- 8 「キーボード」が「USB Keyboard with Mouse (USB 109 日本語キーボード (JIS 配列))」になっていることを確認し、【Enter】を押す

9 画面の指示に従ってセットアップを続ける
「次のラベルの付いたディスクをドライブA:に挿入してください。
USB Keyboard with Mouse Driver Disk」と表示された場合は、
「Windows NT 4.0 アップデートディスク1」をフロッピーディスクドライブ
にセットして【Enter】を押してください。

10 ファイルのコピー終了後、画面の指示に従いドライブよりフロッ
ピーディスク、CD-ROM を取り出して、コンピュータを再起動
これで、Windows NT 4.0 のテキストセットアップは終了しました。続い
てグラフィックセットアップを行います。グラフィックセットアップでは、内蔵
LAN を組み込む手順を説明します。

11 再起動するとCD-ROM の挿入要求のメッセージが表示されるの
で、「Windows NT CD-ROM Disk 1」をCD-ROM ドライブに
セットして「OK」ボタンをクリック

12 グラフィックセットアップでは、次の設定を行う
これら設定の詳しい内容については、Windows NT 4.0のマニュアル
をご覧ください。

 **チェック!!** Workstation と Server では、設定が異なります。

- ・セットアップ方法の選択
- ・個人情報の入力
- ・サーバーの種類の選択 (Server のみ)
- ・管理者アカウントのパスワードの設定
- ・システム修復ディスク作成の選択
- ・インストールするファイルの選択

13 次にネットワークのインストールを行う。ネットワークに参加させる
方法を、「ネットワークに参加する」→「ネットワークに接続」を選
択して「次へ」ボタンをクリック

14 Server の場合はInternet Information Serverをインストールす
るかどうかを選んで、「次へ」ボタンをクリック

15 ネットワークアダプタの検索画面が表示されるので、「一覧から選
択」をクリック

- 16** ネットワークアダプタの選択画面で、「ディスク使用」をクリック
- 17** フロッピーディスクの挿入画面が表示されるので、「Windows NT 4.0アップデートディスク1」をフロッピーディスクドライブにセットして、次のように入力して、「OK」ボタンをクリック
A:¥E100B
- 18** OEM オプションの選択画面が表示されるので、リストから「NEC PK-UG-X006 or compatible Fast Ethernet Adapter」を選んで、「OK」ボタンをクリック
- 19** ネットワークアダプタの検索画面に、「NEC PK-UG-X006 or compatible Fast Ethernet Adapter」が表示されていることを確認して、「次へ」ボタンをクリック
内蔵 LAN アダプタのセットアップ中に、「PCI コンフィグレーション情報」または、「PCI Configuration Notification」というメッセージが表示される場合があります。「OK」ボタンをクリックして先に進んでください。
- 20** 次のネットワークアダプタの設定を行う
- ・ネットワークプロトコルの選択
 - ・ネットワークサービスの選択
 - ・ネットワークの設定の確認
 - ・ネットワークに必要なファイルのコピー
 - ・NEC PK-UG-X006 or compatible Fast Ethernet Adapter の設定
 - ・ネットワークバインドの調整
 - ・ワークグループまたはドメインの参加

これで、グラフィックセットアップの内蔵LANを組み込む手順が終了しました。
後は画面の指示に従ってセットアップを行ってください。

ドライバのアップデート

本機の機能を有効に使うために、次の手順でWindows NT 4.0のドライバをアップデートします。

- 1** コマンドプロンプトを起動する
(「スタート」ボタン→「プログラム」→「コマンドプロンプト」)

- 2 「Windows NT 4.0 アップデートディスク 2」をフロッピーディスクドライブにセットする
- 3 アップデートを実行する
コマンドプロンプトから次のように入力します。
A:【Enter】
CD ¥【Enter】
UPDATE【Enter】
- 4 次のウィンドウが表示されたら、内容をよく読んで「OK」をクリック
ファイルのコピーが開始されます。



- 5 次のウィンドウが表示されたら、「Windows NTに戻る」ボタンをクリック



- 6 フロッピーディスクドライブから「Windows NT 4.0 アップデートディスク 2」を取り出し、Windows NT 4.0 を再起動する
以上でドライバのアップデートは完了です。

内蔵アクセラレータ対応ドライバのセットアップ

本機内蔵アクセラレータを利用するため、次の手順でドライバをセットアップします。

 **チェック!!** ドライバをセットアップする前に Microsoft Windows NT 4.0 アップデートサービス「Service Pack 3」をインストールしておいてください。

- 1** Windows NT 4.0 を起動する
- 2** 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリック
- 3** 「画面」をダブルクリック
- 4** 「ディスプレイの設定」タブをクリック
- 5** 「ディスプレイの種類」をクリック
- 6** 「変更」をクリック
- 7** 「ディスク使用」をクリック
ドライバの入ったフロッピーディスクをセットするよう指示されます。
- 8** 「Windows NT 4.0 アップデートディスク2」をフロッピーディスクドライブにセットする
- 9** 「フロッピーディスクからインストール」ウィンドウで次のように入力して、「OK」をクリック
A:¥RIVA 128
- 10** 「ディスプレイ」のリストから次のものを選び、「OK」をクリック
「NVidia RIVA 128」
- 11** ドライバを組み込み確認のメッセージが表示されるので「はい」をクリック
- 12** ドライバ組み込み結果が表示されるので「OK」をクリック
- 13** 「閉じる」をクリック
- 14** 「閉じる」をクリック

- 15** 再起動を促すメッセージが表示されたら、フロッピーディスクドライブからフロッピーディスクを取り出し、「はい」をクリック
自動的にWindows NT 4.0 が再起動されます。
以上で内蔵アクセラレータ対応ドライバのセットアップは完了です。

内蔵サウンド対応ドライバのセットアップ

本体内蔵サウンドボードを利用するため、次の手順でドライバをセットアップします。

- 1** 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリック
- 2** 「マルチメディア」をダブルクリック
- 3** 「デバイス」タブをクリック
- 4** 「追加」をクリック
- 5** ドライバの一覧から「一覧にない、または更新されたドライバ」をクリックして、「OK」をクリック
- 6** ドライバのインストール画面になるので、「Windows NT 4.0 アップデートディスク2」をフロッピーディスクドライブにセットする
- 7** 次のようにフロッピーディスクドライブ名とディレクトリ名を指定して、「OK」をクリック
A:¥OAK
- 8** ドライバの一覧から次のものを選んで、「OK」をクリック
「OAK TelAudia Adapter」
- 9** 再起動を促すメッセージが表示されたら、フロッピーディスクドライブから「Windows NT 4.0 アップデートディスク2」を取り出して、「再起動する」をクリック
自動的にWindows NT が再起動されます。
以上でサウンドドライバのセットアップは完了です。

BIOS セットアップユーティリティのセットアップ

BIOS セットアップユーティリティを利用するため、次の手順でセットアップします。

- 1 「Windows NT 4.0用BIOSセットアップユーティリティ」をフロッピーディスクドライブにセットする
- 2 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」をクリック
- 3 「ファイル名を指定して実行」ウィンドウで次のように入力して、「OK」をクリック
A:SETUP
インストール画面が表示されます。
- 4 「ようこそ」ウィンドウで「次へ」をクリック
「インストール先の選択」ウィンドウが表示されます。
- 5 「次へ」をクリック
「ファイルコピーの開始」ウィンドウが表示されます。
- 6 「次へ」をクリック
「セットアップの完了」ウィンドウが表示されます。
- 7 フロッピーディスクを取り出して、「終了」をクリック
以上で BIOS セットアップユーティリティのセットアップは完了です。

 **チェック!!** Windows NT 4.0 用の BIOS セットアップユーティリティの起動方法は次の通りです。

「スタート」ボタン→「プログラム」→「BIOSセットアップユーティリティ」をクリック。

Windows NT 4.0 アップデートサービス Service Pack 3 の利用

本機で Microsoft Windows NT 4.0 アップデートサービス「Service Pack 3」(以下Service Pack 3)を利用する場合は、必ず次の手順で行ってください。

- 1 Service Pack 3 の「README.TXT」を読む

2 Service Pack 3 のインストールを行う

3 本機の再起動後、ドライバの再アップデートを行う

この項目の「Windows NT 4.0 のセットアップとアップグレード」にある「ドライバのアップデート」の手順を行ってください。

- ✓**チェック!!** ファイルのコピーの途中で、「コピー先には、コピー元より新しいファイルが存在します。上書きしますか?」のメッセージが表示された場合は、「すべて上書きしない」を選んでください。

本機で Windows NT 4.0 を利用するときの注意

- ・ 本機に添付されている Windows NT 4.0 のドライバは、本機専用です。他機種では使用しないでください。
- ・ Windows NT 4.0 で接続できる USB 機器は、NEC 製のキーボードおよび 14.1 インチ液晶ディスプレイ(F14T2)の HUB です。
- ・ Windows NT 4.0 実行中にキーボードの抜き差しはしないでください。
- ・ サスペンド/レジュームで問題が発生する場合は、サスペンド/レジューム機能を無効にしてください。
BIOSセットアップユーティリティの「省電力の設定」(P.93)で次のように設定します。

「パワーマネージメント」	: 使用しない
「設定方法」	: ユーザー設定
「自動スリープ制御」	: 使用しない
「HDD モータ制御」	: 使用しない
「スリープボタン」	: 使用しない

機能一覧

型番の読み方と機能仕様

PC-MA □□ DM □□□□□□

CPU のクロック周波数

33 :333MHz 30 :300MHz 23 :233MHz

ディスプレイタイプ

5 :15 インチ CRT ディスプレイ(DV15A1)

7 :17 インチ CRT ディスプレイ(DV17B1)

H :14.1 インチ液晶ディスプレイ(F14T2)

X :14.1 インチ液晶ディスプレイ(F14T1)

Z :ディスプレイなし

インストールソフトウェアタイプ

A :Windows 95 のみ

F :Windows 95 + 一太郎 Office8

G :Windows 95 + Word & Excel

H :Windows 95 + 一太郎 8 & 1-2-3 97

ハードウェア種別1(5インチベイに標準実装されているファイルの種類他)

A :CD-ROM ドライブ

ハードウェア種別2(メモリ容量他)

A :32MB B:64MB C:96MB

ハードディスク容量

4 :約 4GB(= 1 のときは、4.3GB)

管理番号

上記 ~ の一部の変更により、型番の変更で表現できない場合のために使用しています。

1、2、3 と増えていきます。



チェック!

~ は、今後数字・記号が増えることがあります。

この場合は、通常『補足ガイド』が添付されていますので、『箱の中身を確認してください』を確認の上、本書と併せてお読みください。

また、上記 ~ のすべての組合せが実現できているわけではありません。

仕様一覧

MA33D/M、MA30D/M、MA23D/M 本体機能仕様

型番・型名の□のところは、「型番の読み方と機能仕様」をご覧ください。
ディスプレイ、インストールソフトウェア、メモリは、ご使用のモデルによって異なります。

型番	PC-MA33DM□□A□41	PC-MA30DM□□A□41	PC-MA23DM□□A□41	
型名	MA33D/M□model□A□41	MA30D/M□model□A□41	MA23D/M□model□A□41	
C P U	Pentium® プロセッサ クロック333MHz キャッシュメモリ32KB、セカンドキャッシュメモリ512KB			
メモリ	BIOS ROM	256KB (Flash ROM)		
	メインRAM	標準 32MB/64MB(SDRAM - DIMM)ECC対応 最大384MB、DIMMSロット×3(空きスロットはモデル構成により異なります)		
	ビデオRAM	2MB(SGRAM)、最大4MB アクセラレータ表示用		
表示機能	ウィンドウアクセラレータ	SGS THOMSON Microelectronics社製RIVA128搭載(ビデオアクセラレーション機能搭載)		
	グラフィック表示	640 × 480ドット 最大1,677万色 800 × 600ドット 最大1,677万色 1,024 × 768ドット 最大32,768色(ビデオRAM4MB時は、最大1,677万色) 1,280 × 1,024ドット 最大256色(ビデオRAM4MB時は、最大32,768色)		
	サウンド機能	オークテクノロジ社製OTI 610搭載 PCM録音再生機能内蔵(ステレオ、量子化8ビット/16ビット、サンプリングレート11.025KHz/22.05KHz/44.1KHz/48KHz)、マイク入力(モノラル、ミキシング)ライン入出力(ステレオ、ミキシング)端子付き、全二重対応(モノラル、量子化8ビット時)、モノラルスピーカ内蔵		
キーボード	JIS標準配列(英数、かな)、109キーレイアウト、テンキー、12ファンクションキー、Windowsキー、アプリケーションキー、マウスインタフェース(ミニDIN 6ピン)、セ/レートタイプ、USBインタフェースにより本体接続			
補助記憶装置	フロッピーディスクドライブ	3.5インチフロッピーディスクドライブ1台内蔵(3モード対応)		
	ハードディスクドライブ	内蔵(4.3GB)SMART機能対応、UltraATA対応		
	CD-ROMドライブ	内蔵 最大24倍速(平均17倍速)		
	ファイルベイ	6[3.5インチベイ×1(フロッピーディスクドライブ標準実装)] [内蔵3.5インチベイ×2(そのうち1スロットはハードディスクドライブ標準実装)] [5インチベイ×3(そのうち1スロットはCD-ROMドライブ標準実装)]		
PCIスロット	5[フルサイズ×4、ハーフサイズ×1(LANボード標準実装)]			
インターフェイス	ディスプレイ	アナログRGBセ/レート信号出力(75Ωアナログインタフェース)ミニD-sub15ピン		
	サウンド関連	入 力	マイク入力:モノラル、供給電源2.5V、マイク出力インピーダンス600Ω、マイク感度-48dB ライン入力:ステレオ、入力インピーダンス10KΩ、入力レベル最大2Vrms、ゲイン-6dB	
		出 力	ヘッドホン出力:ステレオ、出力レベル最大500mVrms(負荷インピーダンス33Ω) ライン出力:ステレオ、出力レベル最大1Vrms(負荷インピーダンス47KΩ)	
	マウス	キーボードに装備		
	パラレル	D-sub25ピン		
	シリアル	コネクタ1	最大115,200bps D-sub9ピン、外付FAXモデムによる自動電源操作機能あり	
		コネクタ2	最大115,200bps D-sub9ピン	
	LAN	100BASE-TX、10BASE-T対応 リモートパワーオン機能あり		
	USB	2(本体正面×1、本体背面×1)		
	カレンダー時計	電池によるバックアップ		
運用管理	障害管理機能	SMART機能、温度監視、電圧監視、CPU・電源ファン監視、ECC機能		
	セキュリティ機能	スーパーバイザーパスワード、ユーザーパスワード、セキュリティロック、I/Oロック、ルーフカバーオープン検知		
	マネジメント機能	DMITool、pcANYWHERE 32 EXをプリインストール		
環境条件	電 源	AC100V ±10%、50/60Hz、ソフトウェアパワーOFF		
消費電力	本体標準構成時	約61W(最大約230W)	約75W(最大約250W)	約67W(最大約240W)
消費電力	サスペンドモード時	約30W以下	約30W以下	約30W以下
外形寸法	本 体	210(W)×447(D)×450(H)mm		
外形寸法	キーボード	471(W)×178(D)×39(H)mm		
重量	本 体	約17.0Kg		
	キーボード	約1.1Kg		

内蔵 LAN 機能仕様

項目	規格概要
ネットワーク形態	スター型ネットワーク
伝送速度	100BASE-TX使用時：100Mbps 10BASE-T使用時：10Mbps
伝送路	100BASE-TX使用時：UTPカテゴリ5 10BASE-T使用時：UTPカテゴリ3、4、5
信号伝送方式	ベースバンド伝送方式
メディアアクセス制御方式	CSMA/CD方式
ステーション台数	最大1024台/ネットワーク
ステーション間距離/ ネットワーク経路長	100BASE-TX：最大約200m/ステーション間 10BASE-TX：最大約500m/ステーション間 最大100m/セグメント

リピータの台数など、条件によって異なります。



割り込みレベル一覧

割り込みコントローラは周辺機器からの要求を受け入れ、プロセッサに割り込み要求を発行し、割り込み優先順位を決め、プロセッサがどの割り込みルーチンを実行するかを決めるための方向づけをします。割り込みコントローラには優先順位割り当てモードがあり、システム動作中はいつでも再設定できます。

出荷時の割り込みレベルは、次のとおりです。割り込みを変更する方法については、「PART3 システム設定」(P.83)をご覧ください。

割り込み優先順位	割り込みデバイス
IRQ00	カウンタ / タイマ
IRQ01	キーボード
IRQ02	カスケード
IRQ03	(空き)
IRQ04	シリアルポート (A)
IRQ05	サウンド
IRQ06	フロッピーディスク
IRQ07	パラレルポート
IRQ08	リアルタイムクロック
IRQ09	USB
IRQ10	LAN
IRQ11	グラフィック
IRQ12	マウス
IRQ13	数値演算コプロセッサ
IRQ14	プライマリ IDE
IRQ15	セカンダリ IDE



DMA チャンネルの割り当て

出荷時の DMA チャンネルの割り当ては次の通りです。

DMA	データ長	システムリソース
0	8または16ビット	(空)
1	8または16ビット	(空)
2	8または16ビット	フロッピーディスク
3	8または16ビット	(空)
4		予約 (カスケードチャンネル)
5	16ビット	(空)
6	16ビット	(空)
7	16ビット	(空)

本機のお手入れ

本機のお手入れは、それぞれ次の要領で行ってください。

⚠ 注意



感電注意

- お手入れの前には、本機の電源を切って電源ケーブルのプラグをACコンセントから抜いてください。
感電の原因になります。



発火注意

- 電源ケーブルのプラグにほこりがたまったままの状態、本機を使用しないでください。
電源ケーブルのプラグにほこりがたまったまま長い間清掃しないと、プラグのピンの間で放電（トラッキング現象）が起こり、火災の原因となります。

パソコン本体

布でふいてください。

汚れがひどいときは、水か洗剤を布に含ませ、よくしぼってから、ふき取ってください。

パソコンの内部

長時間使うと、ほこりがたまるので、定期的に清掃してください。パソコン内部の清掃については、ご購入元、NECに相談してください。

NECのお問い合わせ先 → 「NEC PCあんしんサポートガイド」

ディスプレイ

布でふいてください。

汚れがひどいときは、水か洗剤を布に含ませ、よくしぼってから、ふき取ってください。

キーボード

布でふいてください。

汚れがひどいときは、水か洗剤を布に含ませ、よくしぼってから、ふき取ってください。

キーのすきまからゴミが入ったときは、掃除機などで吸い出します。
ゴミが取れないときは、ご購入元、NECに相談してください。

マウス

布でふいてください。

汚れがひどいときは、水か洗剤を布に含ませ、よくしぼってから、ふき取ってください。

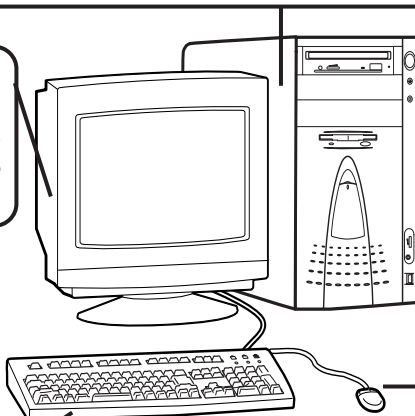
マウスの内部

マウスポインタの動きが悪いときは、ボールとローラーもクリーニングしてください。

→ 「マウスのクリーニング」(次ページ)

電源ケーブル

電源ケーブルのプラグを長時間ACコンセントに接続したままにすると、プラグにほこりがたまることがあります。



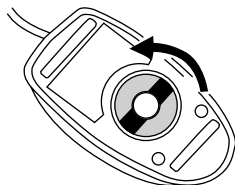
✓チェック!! ・水や中性洗剤は、絶対にパソコン本体やキーボードに直接かけないでください。故障の原因になります。

・シンナーやベンジンなどの揮発性の有機溶剤や化学ぞうきんは、使用しないでください。本体の外装をいためたり、故障の原因となったりします。

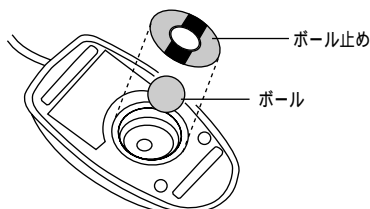
マウスのクリーニング

マウス内部のローラーやボールが汚れると、マウスポインタの動きが悪くなります。とくに汚れがたまりやすいので、定期的にクリーニングしてください。ローラーだけクリーニングするときは、4～6の手順は省略してもかまいません。

- 1 本機の電源を切り、マウスのケーブルをキーボードからはずす
- 2 マウスの裏側のボール止めを、下図の矢印の方向に回転させる



- 3 ボール止めを取りはずし、ボールを取り出す

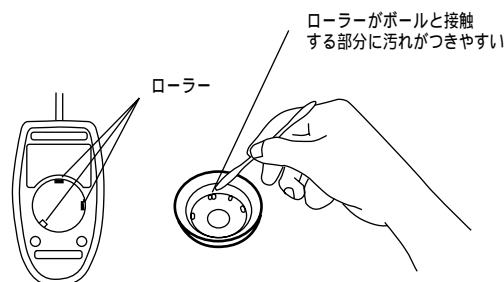


- 4 ボールを中性洗剤で洗い、汚れを落とす
- 5 水で中性洗剤を洗い落とす

6 布で水分をふき取り、風通しの良いところで十分に乾燥させる

7 マウス内部のローラーの汚れを、水分を含ませた綿棒でこすり落とします

汚れが落ちないときは、柔らかい歯ブラシなどで汚れを取ります(このとき、歯ブラシに水やはみがき粉などをつけないでください)。



8 ボールをマウスに戻す

9 ボール止めを取り付け、手順2と逆の方向に回して固定する

- ✓ **チェック!!** ・クリーニング中に、マウス内部にゴミが入らないように注意してください。
- ・クリーニングの際にマウスから取り出した部品は、なくさないようにしてください。
- ・水や中性洗剤は、絶対にマウスに直接かけないでください。故障の原因となります。
- ・シンナーやベンジンなどの有機溶剤は、使用しないでください。マウスの外装をいためたり、故障の原因となったりします。
- ・ローラの汚れを取る場合には、絶対に金属ブラシやカッター、ヤスリなどのような硬いものは使用しないでください。ローラに傷が付き、故障の原因となります。



索引

ページ太字:語句、作業のあるページを指します。

ページ細字 :図や文章に出てくるページを指します。

英数字

- 1-2-3 97 120
- 100BASE-TX 39
- 100BASE-TX/10BASE-T 用コネクタ 5, 6
- 109 キーレイアウト 18
- 10BASE-T 39
- 3.5 インチフロッピーディスクドライブ 2, 3
- 5 インチベイ 2, 4, 69
- AC 電源コネクタ 5, 6
- AOL 170
- ATOK11 22
- BIGLOBE Walker 136
- BIOS セットアップユーティリティ 84
- Caps Lock 20
- Caps Lock ランプ 19
- CD トレイジェクトボタン 2, 4
- CD-ROM 36
- CD-ROM アクセスランプ 2, 4
- CD-ROM ドライブ 2, 4, 36
- CyberTrio-NX 160
- CyberWarner-NX 164
- CPU の取り付け 79
- CPU の取り外し 76
- DMA チャンネルの割り当て 214
- DMI 152
- DMITool 43, 152
- DMTF 152
- DV15A1 26
- DV17B1 26
- ECC 機能 42
- Excel 97 112
- F14T1 26
- F14T2 26
- FAX モデムによる電源の自動操作 16
- FDD 90
- HDD モータ制御 93
- I/O ロック 87
- IDE デバイス 89
- IE4.0 関連製品 131
- Internet Explorer 124
- Kensington 7
- LAN 39
- Masty Data Backup 158
- Microsoft Chat 2.0 131
- Microsoft NetMeeting 135
- Microsoft NetShow プレーヤー 131
- MIF ブラウザ 154
- MPEG ファイル 149
- MS-IME97 21

NEC Soft MPEG1.0	149
NIFTY MANAGER for Windows 95	174
NIFTY SERVE サインアップ	174
Num Lock	20
Num Lock ランプ	19
N キーロールオーバー	23
Outlook Express	134
Outlook 97	112
PC-VAN ナビゲータ	138
pcANYWHERE32 EX	156
PCI スロット	8
PCI ボードの取り付け	62
PK-CA101	7
PK-CA102	7
PK-UG-M004	26
PK-UG-M005	59
PK-UG-M006	59
PK-UG-M007	59
PS-NX8014YA-C1	199
PS-NX9217-C1	43
Real Player 4.0	132
RS-232C 変換アダプタ	7
S.M.A.R.T	42
Scroll Lock	20
Scroll Lock ランプ	19
Timer-NX	178
USB コネクタ	6
VirusScan	141
VRAM	26

Windows キー	19, 20
Word 97	112
WWW Extension	152

あ行

アース端子	5, 8
アドバンスモード	143, 160
アナログRGB 出力コネクタ	5, 7
アプリケーションキー	19, 20
一太郎 Office8	106
インサートキー	19
ウィルス	141
ウィンドウアクセラレータ	26, 211
運用管理機能	41, 211
英語モードフォント	190
液晶ディスプレイ	26
エスケープキー	19
遠隔操作・保守機能	43
エンターキー	19
エンドキー	20
オフタイマ機能	178
オルトキー	19

か行

カーソル移動キー	20
解像度	26
書き込み禁止	35
角度調整	18
カスタムモード	160, 161
カタカナひらがな / ローマ字キー	19

型番の読み方	210
カバーセンサ	5, 8, 41
キーボード	18, 91
キーロールオーバー	23
起動順位	94
キャプスロック / 英数キー	19
コントロールキー	19
コンピュータウィルス	141

さ行

サウンド機能	38
サスペンド	12
資源管理・状態監視機能	43
システムデバイス	92
システムビューア	153
自動スリープ制御	93
シフトキー	19
ジャンパ	98
障害管理機能	42, 211
状態監視	43, 152
省電力	93
シリアルコネクタ	5, 7
シリアルポート	90
スーパーバイザーパスワード	95
スキップセクタ	32
スクロールロックキー	19
スタビライザ	2, 5
ストラップスイッチ	98
スペースキー	19
スリープ	94

スリープボタン	2, 4, 94
スリープランプ	2, 4
セキュリティ	41, 86
セキュリティロック	5, 7
増設 RAM サブボード	58
増設 RAM サブボードの取り付け	60
増設 RAM サブボードの取り外し	59
増設 VRAM	26

た行

タイマー	15
タブキー	19
通信	90
通風孔	5, 8
ディスプレイ	26
ディスプレイセットモデル	26
デバイス	89
デリートキー	19
電源	9
電源スイッチ	2, 3
電源ランプ	2, 3
盗難防止	7
ドライブ番号	29

な行

内蔵 3.5 インチベイ	66
内蔵 LAN 機能仕様	212
内蔵機器 (増設)	52
ニューメリックロックキー	20
ネットワークの設定	39

は行

ハードディスクアクセスランプ	2, 3
ハードディスクドライブ	29
ハードディスクドライブの増設	66
ポケット	42
パスワード	84, 95
パスワードの解除	98
バックアップ	158
バックスペースキー	19
パラレルコネクタ	5, 7
パラレルポート	91
パワーマネージメント	93
半角 / 全角 / 漢字キー	19
表示色	26
ファイルベイ	2, 4
ファイルベイ用内蔵機器の増設	65
ファイルベイカバー	2, 5
ファイルベイカバーの取り外し	56
ファンクションキー	19
フォーマット	34
不良セクタ	32
プリンタインタフェース変換アダプタ	7
プリントスクリーンキー	19
プレーヤ -NX	187
フロッピーディスクアクセスランプ	2, 3
フロッピーディスクイジェクトボタン	2, 3

フロッピーディスクドライブ	33
フロントマスク	2, 5
ページアップキー	20
ページダウンキー	20
ベーシックモード	160, 161
ヘルプ	44
変換キー	19
ポーズ / ブレークキー	19
ホームキー	20
ボリュームコントロール	38
本体機能仕様	211

ま行

マイクロセーバーセキュリティシステム	7
マイクロホン端子	5
マウス	24
無変換キー	19

や行

ユーザーパスワード	96
-----------	----

ら行

ライトプロテクト	35
ライトプロテクトノッチ	35
ライン出力端子	6
ライン入力端子	6
リムーバブルメディアデバイス	94
リモートパワーオン機能	16, 42
リモート電源制御	152

リンクケーブルの接続	39
リング機能	182
レジューム	12 , 94

わ行

割り込みレベル一覧	213
-----------------	-----



活用ガイド

PC98-**NX** SERIES

Mate **NX**

MA33D/M, MA30D/M, MA23D/M
(Windows 95 インストール)



このマニュアルはエコマーク認定の再生紙を使用しています。

808-877675-016-A2

二版 1998年1月

NEC

P